

於テ、其當事者ノ全キ能力カラ見タラ極メテ不公平ナモノテアリ得ル(註二二)。其ハ社會政  
策上ニモ痛マシキ結果ヲ生スル。此稅中テモ特ニ受取書ノ稅ノ如キハ、稅ノ仕組ニヨリテ  
ハ多少人の事情考慮カ出來ルヤウテモアルカ(註二三)、此トテモ唯、奢侈重課カ或度マテ行  
ハレ得ル位ニ過キス、又我國ノ稅法ナトノ如クテハ全ク其サヘモ行ハレナイ。

(註二二) すとのつつハ、資本交通稅、手形印紙稅等ニテ、此ニ於ケル各箇ノ物體カ擔稅者ノ全體ノ租稅力ニ何等ノ  
標準ヲ與ヘスト爲シ、ちすかハ、從率稅ニテハ貧民ニモ富者ニモ同一率トスルノヲ不公平トストイフ。尙拙著參  
照<sup>31)</sup>

(註二三) ぼぶそんハ、財産取引ノ上ノ印紙稅ノ働キカ大ナ不正ヲ犯スコトナル。其ハ財産ヲ借金ニヨリ又ハ濟  
崩ニヨリテ買フ場合テアル。一人カ五百磅ノ家屋ヲ自金五十磅ノミニテ、殘リヲ借金ニテ買ツタトキニ、其ノ全キ  
代價ヲ自金ニテ拂ツタモノト同額ノ十磅ノ稅ヲ納メルコトハ頗ル困難テアルト例示シテ居ル<sup>32)</sup>

(註二四) もるハ、消費稅中ニテ使用稅カ納稅者ノ人の事情ヲ一層多ク考慮スルヲ例トスルノニ、固有ノ消費稅テハ  
物的關係カムシロ前面ニ現ハレル。此ト類似ノ事カ交通稅ニモアル。此中テモ、受取書印紙稅ハ純然タル交通稅ヨ  
リモ一層多ク、人的隨件事情ニ力ヲ入レルトイフテ居ル<sup>33)</sup>

(ろ) 轉嫁關係ヨリ弱者ノ負擔ニ歸スルコト——双務的交通行為ニツキ例之、賣買ニテモ  
貸借ニテモ此稅カ課セラレタトキニ、負擔カ兎角、兩當事者中ノ弱者ニ歸スル傾カアル  
(註二四)。賣手カ足元ヲ見ラルル場合ハ彼ノ負擔トナリ、買手カ足元ヲ見ラルル場合ハ買手

31) Strutz, Grundlehren des Steuerrechts. S. 62. Tyszka, a. a. O. S. 95. 要論、284. 研究四卷、133.  
32) Hobson, l. c. p. 125.  
33) Moll, Steuervereinfachung und Steuergerechtigkeit. S. 12.

ノ負擔トナル。貸借ノ場合ニハムシロ多ク借手カ弱者トシテ負擔スルコトトナラウ。斯ク  
シテ能力ノ大ナモノカ却ツテ負擔ヲ免レテ、其小イ方カ之ヲ負フトイフ不公平ヲ生スル。  
其ハ社會政策上ニモ甚タシキ不良ナ結果トナル。特ニ其轉嫁ニ關シ當事者ノ或モノヲ利シ  
他ノモノヲ不利トスル度合カ場合ニヨリ稅額以上トモナリ一層ノ不公平ヲモ生シ得ル(註二  
五)。

(註二四) 拙著參照。尙ホ好景氣ノ時ニハ賣手カ強者トナリ、不景氣ノ場合ニハ反對トナル傾カアル。ソレカラ勞働  
者ハ取引稅ノ負擔ヲ雇主又ハ企業者ニ轉嫁シ得ルタラウトノ說モアルカ、其ハ必スシモ常ニ行ハレナイテアラウ<sup>34)</sup>  
(註二五) こんばーハ、取引稅カ必然ニ價格ノ上ニ轉嫁ヲ生スルテアラウ。ソシテ此特別原因カラ生スル價格ノ引上  
カ(物ノ價格ヲ騰貴セシムル普通ノ他ノ事由ト離レテ)、各ノ移轉ニ、國庫ノ利益ニ於テ取立テラルル稅額タケニ制  
限セラレストイフ<sup>35)</sup>

(は) 當事者ノ何レニモ人的能力ヲ缺クニ拘ハラズ負擔セシメラルルコト——此稅ノ極端  
ニ不都合ナル場合ハ、當事者ノ何レニモ能力ヲ缺クニ拘ラス、單ニ物的事實ヲ押サヘテ課  
稅サルル場合テアル。當事者ノ双方トモニ困ツタ事情ニアルコトカアル。例之、賣手ハ金  
ニ詰ツテ賣リ、買手モ義理ニ絡マレテ借金シテ無理ヲシテ買フトイフコトカアリ、借手ハ  
困リ買イタ揚句ニ借金ヲ爲シ、或ハ借金ヲ返ス爲メニ借金ヲ爲シ、貸手ハ義理ニ絡マレテ

34) 拙著、要論、284. 研究四卷、137. 196. Mayr, a. a. O. S. 52. Terhalle, a. a. O. S. 56.  
35) Combat, l. c. p. 15.



無理ニ工面ヲシテ貸ストイフコトカアル。此ノ如キ場合ニハ、當事者ノ間ニ、強弱トイフ經濟上ノ關係ハナク、ムシロ道義的勢力カ働クカラシテ、其中ノ何人カ稅ヲ擔フカハ指摘スルコト困難テアリ、ムシロ双方ニテ擔フト假定シテモ良イカ、何レノ當事者カ之ヲ擔フトシテモ、眞ノ人的能力ハ缺ケテ居ル。其ニモ拘ラス此稅ヲ課スルノハ非常ニ不當ナ事テアルトシナケレハナラヌ(註二六)。

(註二六) ほぼそんなカ、此稅カ惡イ場合ニハ、支拂ノ眞ノ能力ナキ人カラ横奪スルコトトイフノハ此場合ニ最良ク當ル。すとのつつか、有價證券稅ニツイテ、資本ヲ缺乏スル者ヲ、其資本不足ノ満足ノ爲メニ課稅スルノハ無意義タトイフノモ一部ハ此場合ニ當ル。<sup>36)</sup>

(B) 課稅物件又ハ課稅標準ヨリ見テ

(い) 稅源ニ遠キモノヲ課稅物件又ハ課稅標準トスルコト——此印紙稅ハ所得又ハ純益トイフカ如キ稅源又ハ稅源ニ近イモノヲ課稅物件又ハ標準トセスシテ、單ナル交通事實又ハ交通價格ヲ其物件又ハ標準トスルノテ、ツマリ稅源ニ遠イモノヲ採テ居ルノテ、公平ニハ遠カルコトトナル(註二七)。此交通事實又ハ價格タケテハ、其ニ利益又ハ所得アリタルヤ不明テアリ又ハ未決狀態ニアリトシナケレハナラヌ(註二八)。結局、利益ノアツタノモ其ノナ

36) Hobson, l. c. p. 126. Strutz, a. a. O. S. 95.

カツタノモ、其ノ大カツタノモ小カツタノモ皆一樣ニ課スルトイフコトニナル。營業ニ關スルタケニテモ、其純益ニ課スルノト異リ、全ク粗ナル營業課稅ニ外ナラヌコトニナル(註二九)。尤モ此營業ニハ其純益ヲ見出スコトカ困難タトイフ事カアリ、斯カル外形標準ニ依ルモ己ムヲ得ストイフコトハアル(註三〇)。

(註二七) もるカ、國民經濟的交通ニ於ケル物財ノ給付能力ハ其價值ニ現ハルトイフノハ、<sup>37)</sup> 物的能力テアツテ人的能力テハナイ。

(註二八) べらふえるですハ、買手カ時價ニテ或物ヲ買ツテモ其購買ノ瞬間ニハ富ヲ増サナイ。將來其物ノ値上リシタトキ初メテ致富カ生スル。賣手カ物ヲ過去ニ於テ一層安く買入レ又ハ生産シテ居ツタ場合ニノミ致富スル。——タカラ交通稅ハ財産稅トモ見ラルト爲シ、えーべるひハ、受取書稅ニツキ、此受取書カ必スシモ特ニ租稅能力アル營利ヲ示サヌト爲シ、爲替稅ニツキテハ此カ何ノ源カラ拂ハルルカヲ定メル能ハスト爲シ、おすかるまいヤハ、取引稅カ損益ニ考慮セスシテ取引ヲ課スルコトヲ難ス。尙拙著參照<sup>38)</sup>

(註二九) てあはるれハ、取引稅ヲ以テ想定セラルル最粗ナル租稅形式ト爲シ、もるハ、商品取引印紙稅ハ往々ニシテ租ナル營業稅トシテ働クト爲シ、こんらーどハ、交通稅カ收益稅ノ概括的手續ノ凡ヘテノ弱點ヲ擔フトイフ<sup>39)</sup>

(註三〇) もるハ、規則正シキ商人的簿記ノ存在セス又ハ非難ナク行ハレタル登記所ナキ場合ニハ、帳簿ヲ備へ又ハ其他收益ヲ非難ナク確知セシムル同種經營ニ於ケル取引トノ比較ナシニハ、實際收益ヲ、多少ノ精密ニテ見積ルコトハ可能テナイトイフ<sup>40)</sup>

(ろ) 全ク能力ナキカ如キ課稅物件ヲ捕捉スル嫌アルコト——此稅ニ此ノ如キ場合ノ生

37) Moll, a. a. O. S. 21.  
38) Bela Földes, a. a. O. S. 363, Eheberg, a. a. O. S. 384. 386. Hirschfeld, Die Warenumsatzsteuer. S. 3. 研究四卷、133. 136.  
39) Terhalle, a. a. O. S. 56. Moll, a. a. O. S. 12. Conrad, a. a. O. S. 278.  
40) Moll, a. a. O. S. 17.



シ得ルコトハ前ニモ一言セル通りテアル(註三一)。

(註三一) 第一段(B)参照。

(は) 物件捕捉ノ度数ノ多少カ能力ニ係ラサルコト——同一價值アル物件ニツキ同一期間内ニ、數回賣買等ノ行ハレル場合ト、一回行ハレル場合ト、全ク行ハレナカツタ場合トヲ比シ、第一ノ場合ハ第二ノ場合ノ數倍ノ課税ヲ爲シ而シテ第三ノ場合ニ無税トスルノカ果シテ公平トイヒ得ルヤ。凡ヘテ此取引ニハ利益カ伴フトシテモ、第一ノ場合ハ第二ノ場合ニ比シテ其取引ノ度数タケ多クノ倍數ノ利益ヲ收メルトハ限ラヌ。數回ノ場合ノ方カ一回ノ場合ヨリモ全利益ノ少イコトモアリ得ルシ、又賣買セストモ値上リノ利益ヲ受クルトイフコトモアル(註三二)。特ニ其度数ノ多イコトカ必要品ニ生シ、奢侈品ニ於テ却ツテ度数ノ少イトイフヤウナ不都合モ生シ得ル(註三三)。此ハ此税カ機會税テアル以上ハ避クヘカラストモイハレルカ、齊シク物税中ニ就イテモ、此點ニ於テ地租ナトノヤウナモノニモ劣ル譯テアル。

(註三二) ずたんぶハ、賣上税ニツイテ、物カ營業用ノ爲メニ買ハレルトキハ、價格中ニ二度以上モ入込ムト難シ、おすかるまいヤハ、消費者ニ違スルマテニ要スル取引ノ度数次第テ、精製品ニテハ、取引税率ノ數倍カ課セラル

ルコトトナルト難シテ居リ、ふいつしあーモ、取引税ニヨリ商品カ終局ニテ異リタル高サニテ負擔セシメラルコトヲ不公平トス。尙拙者参照<sup>41)</sup>

(註三三) 特ニ綿織物ノ如キハ實際、澤山ノ手ヲ經テ消費者ニ達シテ居ル。其事自身カ或ハ經濟上好マシカラサル事ナノカモ知レナイカ、少クトモ事實トシテ歴史的ニ發達シタ處テハサウテアル。

(に) 物件相互ノ關係上公平課税トナリ難キコト——此税ニ於テ色々ノ物件ヲ並ヘ其間ニ或度マテ異ツタ税ヲ定メルカ、其カ果シテ關係的ニ適切ナリヤ權衡ヲ得テ居ルカ何ウカハ疑ハシク、之ヲ適切ナラシムルコトハ全ク不可能ニ近イ。<sup>42)</sup>

(ほ) 同一性質ノ物件ヲ文書ニ依ルト否トノミニテ區別スルコト——此税ニテハ文書ニ依ラヌ以上課シヤウカナイ。然ルトキハ同一物件テモ文書ニ依ルトキハ課セラレ、之ニ依ラサルトキハ課セラレストイフノ不公平ヲ生スルヲ免レナイ(註三四)。

(註三四) べらふえるですハ、此カ通例唯證書ニヨルモノノミニ課セラレ、差別的ニシ響スト難ス。尤モくらんらえひたーハ、此税ヲ以テ、國家カ箇人ノ私權ヲ保護シ此ニ法律上ノ效力ヲ與フルコトニ對スル報償トスレハ此事ハ當然テアツラ別ニ不公平ノコトハナイトイフテ居ル。尙拙者参照<sup>43)</sup>

(C) 税率ヨリ見テ——前記ノ公平上ノ缺點ハツマリ此税カ物税テアリ機會税テアル爲メノ缺點テ、此ハ此税ノ最重大ナル缺點ニ相違ナイノタ。カ其ハカリテナクシテ税率ノ上カラ

41) Stamp, l. c. p. 79. Hirschfeld, a. a. O. S. 3. Fischer, a. a. O. S. 144. 研究四卷、135.

42) 拙著、研究四卷、137. 188.

43) Bela Földes, a. a. O. S. 418. Kleinwächter, a. a. O. S. 287. 研究四卷、137.



シテモ此税ヲ不公平ナラシムル。何レカ一方タケナレハ尙忍フヘキタカ、此ノ不公平ノ加ハルニ至ツテ愈々以テ此税ノ公平上ノ缺點カ致命的ノモノトナラサルヲ得ヌ。今日、此税ニテハ可ナリ多クノ物件ニツキ定額又ハ確定率カ行ハレテ居ル。比例又ハ歩合率ナノモアルカ、今度政府ハ之ヲ改メテ定額率カ階級率カニシヤウトイフ。元來税率トシテハ出來レハ人的能力ニ累進トナルノカ理想テアルカ、此税ニテハ人的能力ニ接シ得ヌコトハ上來イフ如クテ、精々比例又ハ歩合ニヨリテ物的能力ヲ課税スル外ナイノテアルカ、其カ課税便宜上カラ面倒タトシテ、確定率カ階級率カニ改メラルトイフノハ遺憾テアル。階級率ハ公平ニ於テ確定率ニハ優ルケレトモ、尙ホ不満足ノモノテハアル。マシテ確定率ニ至ツテハ非常ナ不公平テアルトシナケレハナラヌ(註三五)。例之、受取書、手形ノ如キモノニ於テ金高拾圓ノモ百萬圓ノモ齊シク三錢トイフノテハ何トシテモ大ナ不公平テナケレハナラヌ。此税ハツマリ前者ニテハ其ニ現ハレタ物的(人的テナク)能力ノ一千分ノ三テアルノニ、後者ニテハ物的能力ノ一億分ノ三トイフコトニナル。此税ハ此レタケテモ到底存立ノ理由ヲ保チ得ヌ。尤モ強キテ之ヲ辯護スレハ、此カ税率カ輕イカラ恕スヘシトイフコトテアルカ(註三六)、如何ニ税率カ輕イニモセヨ、不公平ハ不公平テ、之ヲ何トシテモ除ク譯ニ

ハ往カナイ。或ハ此ハ税率ノ定メ方ニヨルノタカラ改メタラ良イテハナイカ、別ニ税其モノノ缺點テハナイノテハナイカトモイヘルカ、實ハ此税率ハ此税ノ隨伴的現象テ、避クヘカラスニ此税ニ伴フモノテアリ、此税ヲ實行シテ見ルト、比例サヘ不便テアリ、況ヤ累進ヲヤテアリ、定額率カ階級率カノ外ナイモノテアル。政府ノ改稅案カ之ニ向フタノモ成程ト思ハルル。然ルトキハ又實ハ此税カ一步々々其死地ニ進入シツツアルモノトモイフヘキテアル。

(註三五) 21-22頁のひハ、受取書ニツキ之ヲ説キ、べらふにるですハ、手形税ニツキ段階的ニ上ル所ノ税率ノミカ正

當トナリ得トイフテ居ル。尙拙著參照<sup>44)</sup>

(註三六) ぼぶそんハ、印紙税ヲ課スル唯一ノ辯明ハ、此カ通例、移轉スル全價值ノ一小部ヲ成ストイフコトテアツ

タトイフ<sup>45)</sup>

(三) 道義上——此税ニハ遁脱ノ誘惑又ハ危險カ大ク、爲メニ社會道義ヲ不良トスル<sup>46)</sup>。此ハ多クノ税ニ共通ナ缺點テハアルカ、兎モ角此税モノ一ノ缺點タルヲ失ハヌ。

## 結 論

以上要之、印紙税ノ長所ノ重點ハ收入ト便宜トニアル。而カモ其等モ今トナリテハ格別

44) Eheberg, a. a. O. S. 385. Bela Pöldes, a. a. O. S. 417. 要論、282

-3. 研究四卷 138. 189.

45) Hobson, . c. p. 125.

46) 拙著、研究四卷、198.



大ナ價值ヲ有タナイ。公平課稅上或意義ノ存スルコトハ爭ハレヌカ、此ニ至リテハアマリニ力弱キモノテアル。ムシロ此稅ノ缺點タル國民經濟上道義上ノ理由ノ方カ一層重大テアリ、特ニ公平課稅上社會政策上ノ缺點ニ至ツテハ此稅ノ致命的ノ重傷テアル。此ヲ考フルトキニ、此稅ハ經濟ノ全ク幼稚ナ時代ニハ全ク問題トナラス、漸ク經濟交通ノ或度ノ發達ト共ニ、便利ナル收入源トシテ利用サルルコトトナリ、ソシテ夫ノ佛國ノ如ク租稅ニツキ公平ヨリモ便宜ニ重キヲ置ク傾アル處テハ尙長ク重要ヲ維持スルテハアラウカ、公平ニ重キヲ置クヘシトスル最進歩シタル租稅理想ヲモツ國テハ、ソシテ經濟上ノ發達ノ高度ニ進ミテ經濟交通ノ障害ヲ最多ク嫌フ所ノ國テハ、ムシロ此稅ヲ廢棄スルコトニ決意スヘキテアラウ(註三七)。テ賢明ニシテ勇氣アル政治家カ、起ツテ之ヲ斷行スルノハ遠イ先ノコトテハアルマイト思フ。

(註三七) おすかるまいやーハ、取引稅ヲ以テ最悪シキ稅トイヒ得ト爲シ、ほぶそんハ、印紙稅ノ大部分ハ、最早、科學的ナル財政體系中ニ場處ヲ有タサル、即興的集金ノ過去ノ偶然ノ方法ノ厄介ナル遺物タト爲シ、げあるつふハ、入ハ取引稅法ノ效果ヲ見テ、立法及行政カ多角的任務ノ前ニ立チ、單簡ニハ之ヲ解決シ能ハサルコトヲ認メナケレハナラヌ。タカラシテおるぐべるんはるどカ、此稅ヲ止メルヨリ外ナシトイフタノモ無理テハナイトイヒ、じにせんモ、流通證券及其他ノ商業上ノ證券ノ印紙稅ハ非常時ニノミ理由ツケラルトイフテ居ル<sup>47)</sup>

47) Hirschfeld, a. a. O. S. 3. Hobson, l. c. p. 126. Gerloff, Steuerwirtschaft und Sozialismus, S. 51-2. Jensen, l. c. p. 309.

尤モ此稅カ、ソシテニ簡單ニ廢止サルヘキモノテナイトイフ見方モアル。例之、こんばーハ、取引稅ハ最早ク開ケタル文明ト共ニ消失スヘキ運命ヲ有ツタ一時的ノ制度ノ一テハナイトイフテ居リ、ちすかモ、從率稅(廣ク)カ根本的ニ不公平トイフコトカ明カトナツタニモ拘ラス、何レノ國モ從率稅ノ徵收ヲ斷念シナカツタトイフテ居ル。古イコトテハアルカ、佛國ニハ嘗テ單一印紙稅サヘモ唱ヘラレタルコトカアル<sup>48)</sup>

48) Combat, l. c. p. 13. Tyszka, a. a. O. S. 232. Seligman, Essays in taxation, 10 ed. p. 66-7.



## 第九編 廣告稅論

## 緒言

現代ハ廣告ノ世ノ中テアル。營利生活ニ於テハ勿論ノコト、人事關係ニツイテモ、政治、學藝、思想、宗教ナトニサヘモ廣告カ利用セラレ、其カ色々ノ形ヲ取ツテ行ハレル。其ハ社會生活ノ裡ニハ避クヘカラサル現象テモアリ、又必要ニシテ有益ナモノテモアリ得ル。タタ此間ニ全體上、望マシカラス有害無益ナモノカ少カラスアツテ、廣告統制トイフコトニハ、モット、國家カ意ヲ用キナケレハナルマイト思フカ、實ハ此ニツイテノ研究カ我國ニハマタ極メテ乏シイ。其事ハ暫ラク措キ、此カーノ課稅物件トシテ選ンテモ良クハナイカトイフ事ハ私ノ豫テヨリ考ヘテ居ル所テ、嘗テ之ニツキ若干ノ意見ヲ發表シタクトモアル所タカ、<sup>1)</sup>當時未タ人ノ注意ヲ引ク所トナラナカッタ。併シ其後、段々ト色々ノ文書ヲ披見シテ居ツテ、アノ時ニハ未タ氣付カナカッタ論點ヲモ發見シタシ、アノ時トハ違ツタ立法例ヲモ見出シタニ因ツテ、今之ヲ纏メテ見タナラハ、或ハ我邦ノ實際家ノ參考ニ

1) 拙著、財政問題中、廣告稅と廣告官營。

モナリ、我邦ニ於テ之ニツイテノ文献ノ乏シイ處ヘノ一ノ貢獻トモナラウカト思フテ、此文ヲ作ル。

## 第一段 廣告稅ノ本體

## 其一 廣告稅ノ歴史及構造

(一) 歴史——廣告稅ノ批評ヲスル前ニ、先以テ廣告稅トハ何ンナモノカ、實例トシテ何ンナ風ニ作ラレテ居ルカ、何ンナ沿革ヲ持ツタモノカトイフコトヲ調ヘテ見ナケレハナラス。單ニ抽象的ニ之ヲ取扱ツテハ無意味ニナル。其レテ先ツ以テ其歴史カラ述ヘルカ、此ハ實ハ新聞稅ト關係カアツテ、廣告稅トハイフテモ實ハ新聞ニ對スル稅トモイヘル場合カアルノタカラ、單ナル廣告稅ノミナラス、新聞稅ノ沿革ヲモ併セテ述ヘテ見ル。

(A) 廣告稅ノ歴史——(イ) 獨逸テハ、特ニ普魯西ニテ古クハ一七二七年以來、廣告獨占カ存在シ、官立通信局カ設ケラレ、官報カ發行サレ、廣告強制ヲ行ヒ、賣却、賃貸、貨物ノ凡ヘテノ廣告ヲ此ニ出サシメタ。ソシテ此カー一八五〇年マテ續イタ。<sup>2)</sup>其後、廣告稅カ出來、一八二二年、一八五二年、一八六一年ノ法律ニヨツテ行ハレ、其レテハ有料ニテ廣告ヲ掲

2) Garr, Die Inseratensteuer. S. 2-3.



載スル新聞カ印紙稅ヲ課セラレタ。更ラニ特別ナル廣告稅カ一八四九年以來、はんぶるひニ、一八五二年來、ぶれめんニ、一八五四年來、りゆべつくニ行ハレタ。併シ此等凡ヘテノ廣告稅ハ、一八七四年ノ帝國出版法ニヨリテ、一旦印刷物稅ト共ニ廢止スルコトニナツタ。其後一九〇九年ニ、獨逸帝國ニ於テ廣告稅ヲ提案シタケレトモ、議會ノ否決スル所トナリ終ツタ。然ルニ又々一九一九年ニ現ハレ一九二二年ニ改正サレタル取引稅法ニ附帶シテ、獨逸ニ廣告稅カ採用セラレルコトナリ、併シ此モ永クハ續カス、一九二六年ノ取引稅法テハ其廣告稅ヲ更ラニ廢止シテ居ルヤウタ。<sup>6)</sup>英國ニテハ、新聞紙廣告カ一七一一年(二?)年ヨリ一八五五(又ハ二?)年マテ課稅セラレ、<sup>7)</sup>は佛國ニテハ一八五二年及一八六六年ノ法律ニヨリテ張札稅カ行ハレ、幾多ノ變更ヲ經テ今日マテ續イテ居ル。<sup>8)</sup>に(イ)國ニテハ一八五〇年ノ法律ニヨリテ廣告稅カ出來タカ、一八七四年ニ廢止ニ歸シタ。<sup>9)</sup>に(イ)米國ニテモ嘗テ一八六四年ノ法律ニヨリテ廣告料收入ニ課稅シタコトカアリ、紐育ニテ一八六五年ノ第一四半季ニ五十萬弗ノ收入ヲ生シタトイフコトタ。<sup>10)</sup>に(イ)其他、廣告稅實例ハ、白耳義、伊太利、葡萄牙、西班牙、せるびあ、土耳其ナトニアル。<sup>11)</sup>

(B) 新聞稅——(イ)ハ獨逸テハ、普魯西ニ於テ一八一〇年ニ現ハレ、一八二二年ニ改正サ

3) Garr, ebenda. S. 3. Conrad, Fw. 9 Aufl. S. 306.  
 4) Garr, ebenda. Conrad, ebenda.  
 5) Garr, ebenda. S. 3-4. Conrad, ebenda.  
 6) Conrad, ebenda. Heckel, Fw. II. S. 244. 拙著、財政問題、692.  
 7) Conrad, ebenda.  
 8) Boethke und Arlt, Handbuch des Steuerrechts. 1926. S. 897 ff.  
 9) Garr, a. a. O. S. 9. Heckel, a. a. O. S. 245. Roscher, Fw. 5 Aufl. II. S. 132. 10) Wagner, Fw. III. S. 555.  
 11) Garr, a. a. O. S. 4-5. Heckel, a. a. O. S. 244-5. Stein, Fw. 5 Aufl. II-II. S. 372.  
 12) Elkan, Die Preussische Zeitungssteuer. S. 68. Roscher, a. a. O. S. 132. 13) Conrad, a. a. O. S. 306. Heckel, a. a. O. S. 245.

レ、一八四八年ニ廢止サレタ。一八五二年又現ハレ、一八六一年ニ修正サレ、更ニ一八七四年ニ至ツテ廢止セラレタ。<sup>14)</sup>英國テハ一七一年ヨリ一八五五年マテノ間、此カ行ハレ、<sup>15)</sup>は佛國ニテモ一八五二年法ニヨリテ此カ行ハレタ。<sup>16)</sup>に(イ)其他、和蘭ニテモ一八五二年ニ之ヲ設ケ、白耳義モ一八五二年ニ之ヲ有ツタ。瑞西ニテハ一八四八年ニ、舊來ノ新聞稅ヲ廢止シタ。<sup>17)</sup>

(二) 構造——廣告稅ヲ課スルトシテ、其構造ニツイテ最大ナ問題ハ新聞雜誌ノ廣告ヲ課稅物件(註二)トスルカ否カテアル。此點ニツキ、私ハ後ニイフヤウナ譯テ之ヲ除クカ良カラウト思フカ、兎モ角、現行又ハ最近ノ立法例ニテ之ヲ調ヘルト、佛國ハ之ヲ除外シテ居リ、獨逸ハ之ヲ捕捉シテ居ル。今下ニ獨佛二國ノ此稅ノ構造ヲ述ヘテ、此稅構造ノ模型ヲ示サ

(註一) がるハ、廣告ヲ二大別シテ(1)新聞雜誌及其他ノ定期刊行物並ニ有價ニテ掲載セラレタル附録廣告ト(2)公ノ揭示(張札、廣告板、光線廣告)トニ分ケテ居リ、<sup>18)</sup>其レテ盡キテ居ルヤウテモアル、實ハ此外ニモ色々ノ方法カアツテ、問題トナル。即チ、新聞雜誌上及其附録上ノ廣告(廣告ヲ目的トスル新聞雜誌カアリ、記事ヲ主目的トシタル新聞雜誌ニ廣告ヲ掲載スルモアル)ノ外ニ、普通ノ書籍ニ掲載スル廣告カアル。其レカラ廣告郵便又ハ其他ノ方法ニヨリテ廣告札ヲ各戸ニ配布スルモノカアリ、又ハ宣傳びらノ形テ廣告札ヲ散布スルカアル。其カ印刷物タル限

14) Elkan, a. a. O. S. 3. 4. 45. 64.  
 15) Elkan, a. a. O. S. 67. Heckel, a. a. O. S. 245.  
 16) Elkan, a. a. O. S. 68.  
 17) Elkan, a. a. O. S. 68.  
 18) Garr, a. a. O. S. 1.



リハ、其他印刷物ニ依ル廣告トモイヘハ含マルガ、之ニ類似シタたいぶらいたニ依ルモノ、謄寫版ニ依ルモノカアリ、此等モ印刷物ニ入レルヘキテアリ、又印刷物ニ限ラス、手記ニ依ルモノモ加ヘナケレハナラナイ。公ノ揭示ニ依ル廣告ハ張札ニ依ルノカ普通タカ、光線ニ依ルモノカ近頃ハ多ク行ハレ、其ニ瓦斯燈ニ依ルモノモアルカ、特ニ電光ヲ用キルモノ、活動寫眞ヲ用キルモノカ多クナツタ。張札トイフ中ニハ、廣告柱、廣告板、廣告紙カアリ、之ヲ野外、路傍、四辻、公園等、開キタル處ニ置クノミナラス、公ノ入寄リノ多キ開カサル場處（おーぶんえーあテナイ）、例之、公會堂、劇場、寄席、飲食店、停車場、汽車汽船電車内ニ置クカアル。廣告札ヲ持廻ルカ（さんどういつちまんノ如ク）アリ、呼ヒ歩クカアリ、廣告隊ヲ練リ廻ハスカアル。何レモ合メテ良イカ、商店ノ看板、商店内ノ自己揭示ハ除クヘキテアリ、ソシテ新聞雜誌書物ニヨル廣告ヲ除外スルハ、廣告郵便、廣告札ノ配布モ除カナケレハナラナイ。

(A) 佛國ノ張札及廣告稅——ハ其印紙稅中ニ存在シ、一九一〇年ノ法律ニ基キ、今日ノ稅率ハ一九二〇年ノ法律ニヨリ改メラレ一部倍加セラレ、更ラニ一部ハ一九二四年、一九二五年ノ法律ニヨリテモ高メラレ以テ今日ニ及ンテ居ルカ、其稅率ハ凡ヘテ用キラレタル面積ノ大サニヨリテ分級セラレテ居リ、左ノ六種ニ分ツテ課セラレテ居ル。

(い) 普通紙ニ於ケル印刷又ハ手記ニテ作ラレタル張札——其一回的稅ハ從來ハ面積ノ大サニ從ヒ〇・二二法、〇・二四法、〇・二六法、〇・四八法トサレ、其ヨリシテ二平方めーどるヲ超ユルトキハ、其ヲ超ヘタ各平方めーどる又ハ其端數每ニ〇・二四法ヲ加ヘルトイフ

ノテアツタカ、其カ一九二四年ノ法律ニヨツテ面積ノ大サニヨリ〇・一五、〇・三〇、〇・四五、〇・六〇等ニ引上ケラレルコトニナツタ。

(ろ) 保存力ヲ増ス爲メニ或加工ノ施サレタル張札（例之、紙ノ張札ノ硝子ニヨル保護、堅キ臺板ノ上ニ張札ヲ貼ルコト）——其稅率ハ前記第一種ノモノノ二倍トスル。

(は) 専用ノ公ノ場處、又ハ公ノ交通ニ役立つ運搬具（車等）ニ於ケル張札——其稅率ハ第二種ニ同シ。

(に) 彩色張札——稅率ハ一平方めーどる又ハ其端數每ニ二法トスル。

(ほ) 繼續的光線廣告——稅率ハ第一年間ニツキ一平方めーどる又ハ其ノ端數每ニ二十四法、第二年月以後ノ各年ニ十二法宛トスル。

上舉五種ノモノハ何レモ、張札カ五面以上ノトキハ稅率ヲ倍トス。

(へ) 間歇的光線廣告（間歇的又ハ變動的ノ平面圖、又ハ間歇的ノ光線文字又ハ光線記號ニ依ル）——此ハ一九一〇年ノ法律ニテハ一平方めーどる又ハ其端數每ニ百法ノ年稅ヲ課シタカ、一九二〇年法律ニヨリテ之ヲ改メテ、一平方めーどる又ハ其端數每ニ月稅十法（一九二四年法ニヨリテ今日ハ十二法）ト爲シ且ツ廣告面ノ數ヲ問ハヌコトトナツタ。此廣



告ハ申告スヘク、之カ消滅ノ申告アルマテノ間、月々課セラレル。

上記第五種第六種ノ廣告ハ、一九二五年法ニヨリテ、十萬以上ノ人口ヲモツ地方團體ニアルモノニハ本稅ノ倍ヲ課シ、巴里ニアルモノニハ三倍ヲ課シ、斯クシテ高メラレタル稅率ハ五十平方メートル以上ノ面積ヲ有ツ光線廣告ニハ其上ニモ倍課セラレタ。

此稅ノ免除セララルルノハ、營業ノ看板、營業所ノ内部又ハ外部ニアル揭示ニシテ專ラ此ニテ販賣スル物ヲ示スモノ、公ノ無償ノ職業紹介所カラ出ル職業及勞働ノ需供ト爲ス<sup>19)</sup>

(B) 獨逸ノ廣告稅——此ハ一九一九年ニ出テ、一九二二年ニ改正サレタル取引稅ニ附帶シテ出來タモノタカ、最近ノ一九二六年法ヲ見ルト廢止サレテ居ル<sup>20)</sup>。カ兎モ角、最近ノ試ミテハアリ、佛國ノト比シテ別ノ模型ヲ示シテ居ル。之ニ依ルト、

(い) 印刷物ニ依ル廣告、又ハ手記、たいぶらいたー刷、手圖案、手書ヨリハ以外ノ方法ニ依ルノ廣告ヲ作ルコト(新聞雜誌ノ記事面ニ入レラレタル營業紹介ニモ納稅義務カアルシ、印刷又ハ其他ノ複製ニ關スルタケテハ、出版者ニ納稅義務カアリ、其ノナイ場合ニハ、印刷者又ハ複製者ニ義務カアル)、

(ろ) 廣告ヲ置ク爲メニ地面及場處ヲ使ハセルコト(廣告柱又ハ廣告板ヲ建テルコト)

(は) 前記以外ノ方法ニ依ル廣告ヲ行フコト(例之、照明、廣告板ヲ擔ヒ廻ルコト、廣告車ヲ乘リ廻ハスコト、呼ヒ掛ケルコト)、

ト三種ノモノニ課スル。稅率ハ報償金額ノ百分五トスル。併シ新聞雜誌ニハ、特ニ之等ノモノヲ他ノモノヨリモ宥恕シ、特ニ小ナ其力大ナモノヨリモ本來ノ能力モ乏シク轉嫁モ難イコトヲモ考慮シテ、其ノ四分一年中ノ收入報償額ノ第一ノ二十萬馬克ニ百分一、次ノ二十萬馬克ニ百分一、次ノ二十萬馬克ニ百分二、次ノ二十萬馬克ニ百分二、次ノ二十萬馬克ニ百分二、次ノ二十萬馬克ニ百分三、次ノ二十萬馬克ニ百分三、其超過額ニ百分四ヲ課シ、義務者力數多ノ新聞雜誌ヲ出ストキハ、右ノ輕減ニハ各新聞雜誌ヲ獨立ト見ル<sup>21)</sup>

其二 廣告稅ノ稅質

上記ノ如キ組立ヲ有ツタ廣告稅ハ果シテ如何ナル稅種ニ屬スルカ。之ニツキ

(一) 諸家ノ見解——ハ區々テアル。(A) 或ハ之ヲ消費稅ト見ル。廣告ニハ出費ヲ伴ヒ、此ニヨリテ之ヲ爲ス者ノ能力ヲ推定シテ課スルトスルノテアル(註三)。(B) 其カラ往クト其カ特ニ廣告營業者ニ課セラルルトキニハ間接消費稅トシテ良イ。(C) 併シ之ヲ奢侈稅トスルコトハ、廣告ノ或一部ノモノニハ當ルケレトモ、全體トシテハ當ラナイ(註三)。(D) 或ハ廣告トイフ經

19) Scholz, Grundriss des französischen Steuerrechts. S. 51-2.  
20) Boethke und Arlt, a. a. O. S. 897 ff.

21) Tyszka, Fw. 2 Aufl. S. 252-3. Conrad, a. a. O. S. 263. Eheberg, Fw. 18 & 19 Aufl. S. 501-2. Eheberg, Grundriss S. 155. Strutz, Grundlehren des Steuerrechts, S. 112. Köppe, Fw. S. 105.



濟交通行為ニ課スルモノトシテ、交通稅ニ加ヘルヲ得ルシ、其ヲ採ルモノハ少クナイ(註四)  
 (E) 或ハ其ノ特ニ營業者ニ課セラルル場合ニ之ヲ一ノ營業稅ノ補完稅トシ(註五)、或ハ特別營業稅トシ、何レニシテモ一ノ收益稅トモイヒ得ル。(F) 或ハ單ナル補完稅トモセラレ得ル(註六)。

(註二) えーべるひ、けつべ、へつける等之ヲ消費稅中ニ數ヘル<sup>022)</sup>

(註三) がるモ、自動車、葉卷煙草、葡萄酒、大百貨店廣告、温泉場保養所療養所遊場等ノ廣告、家族及娛樂廣告ナトヲ見テ、之カラシテ廣告費ノ奢侈的性質ヲ決論スルノハ誤リタトイフ<sup>023)</sup>

(註四) すたいんハ、廣告稅ハ交通稅テアツテ、消費稅テハナイト明言シ、くらいんうにひたし、こんらーど亦タ之ヲ交通稅ニ入レ、がるモ同様テアリ、ソシテわぐな一モ、大柏林ノ國民的會合ノ演說ニ於テ之ヲ交通稅ト爲シ、てるぶりゆつくモ同一ノ見解ヲ探ル。ちかすハ、從率財產稅中ニ入レタカ、其ハ他ノ學者ノ交通稅ニ當ルモノテアル<sup>024)</sup>

(註五) こんらーどハ、廣告稅ヲ新開稅トスルヲ得ル。然ルトキハ此カ營業稅ノ補完稅トナリ、印刷業カラノ利益ヲ國庫ノ爲メニ引入レルコトナルトイフ<sup>025)</sup>

(註六) こんらーどハ之ヲ單ニ補完稅トスルヲ得トモイフ<sup>026)</sup>

(二) 私見——此等ノ見解中ニ就キテハ、私ハ矢張り多數ノ見ル所ニ從ヒテ之ヲ一ノ交通稅トスル。廣告トイフ交通事實ヲ捕ヘテ課スルモノト見ル。其カ消費ヲ示シ其ニ課スルノタト

22) Eheberg. Fw. S. 498 Köppe, a. a. O. S. 105. Heckel, a. a. O. S. 245.  
 23) Garr, a. a. O. S. 29.  
 24) Stein, a. a. O. S. 372. Kleinwächter, Fw. S. 284. 286. Conrad, a. a. O. S. 304-6. Garr, a. a. O. S. 28. 29. 72 Tyska, a. a. O. S. 251.  
 25) Conrad, a. a. O. S. 304.  
 26) Conrad, ebenda.

モ見ラレルカ、併シ之ニヨリテ消費スル者ヲ課スルハカリテハナク、之ニヨリテ儲ケル者ヲ稅シヤウトイフ趣旨ノ存スルコトカアリ得ルシ、消費ト利得トヲ問ハス、交通行為ヲ見テ能力ヲ推定スルモノト見ル。尤モ特定ノ具體的事例ニヨリテハ、消費稅トイフタ方カ適當ナコトモアラウシ、或ハ單ニ奢侈稅トシテ良イコトモアラウシ、或ハ特別營業稅トシテ良イコトモアラウ。ソシテ之ヲ交通稅トスルトシテ、一回的ニ取ラレス、年稅月稅トシテ取ラレルコトカアツテモ、其カ爲メニ、交通稅タル資格ヲ失フコトハナイ。

## 第二段 廣告稅ノ長短利弊

### 其一 廣告稅ノ長所

次キニ廣告稅ノ長短ヲ見ル。先ツ其長所トシテハ次ノモノヲ擧クルコトカ出來ル。

(一) 公平課稅上——廣告稅カ廣告業者ノ利益ヲ課稅シヤウトイフコトモアルカ、其ナレハ其特別ナル營業稅又ハ營業稅補完稅トシテ、其廣告收入ニ於テ何程カノ能力ヲ見テ課スルノテアリ<sup>27)</sup>。廣告ヲ出シテ貰フ者、又ハ自ラ之ヲ出ス者ノ能力ヲ見テ課ストイフコトモ少クナイカ、其レナレハ彼カ廣告ヲ出ス以上ハ、恐ラク結局ニハ此出費ヲ償フニ足ルタケノ利益

27) 拙著、財政問題、689.



ヲ得ルテアラウ。斯カル見込モナキニ之ヲ出スコトハナイテアラウ。テ此場合其利益ニ於テ能力ヲ求メル(註七)。其利益ハ勿論廣告ヲ出ストキニハマタ確實ナモノテハナク、單ニ主觀的ノ豫想上ノモノニ過キヌカモ知ラヌ<sup>30)</sup>。カ兎ニ角斯カルモノトシテ能力カ存シ、又多クハ其目的ヲ達シテ現實ニモ之ヲ生スル。少クトモ現實ニハ此出費ヲ出ス處ニ支出ノ能力カ現ハレル(註八)。即チ此廣告者ノ支出又ハ前ニイフ廣告業者ノ收入ニ現ハルルタケハ現實ノ能力テアリ、其裡ニ尙、廣告者ノ利益ノ可能性モカ一ノ能力ヲ示ス。之ヲ見テ又ハ之ヨリ推定シテ能力アリトスルノテ其處ニ課稅ノ理由ハ一應立ツ。其處ニ能力ノ不確實ナ分子モアルケレトモ、實際今日ノ社會テハ廣告カ特ニ營利ニ用キラレテ、之ヲ利用スル者ノ可ナリ多クカ給付能力ノ大ナルモノテアリ、其ヲ利用シテ益々能力ヲ大ナラシメテ居ル。廣告稅ハ之ヲ捕捉シヤウトスルノテアル(註九)。加之、此廣告ニヨリテ得ラルル利益ニハ社會ノ景氣又ハ時勢ヲ利用シテ居ル元素カアル。特ニ好景氣ニ向ヒ物價騰貴ヲ見ル際ノ如キ、營業者カ廣告ヲ巧ミニ利用スルコトニヨリ消費者ヲ誘惑スルコトカ容易テアリ、廣告者カ其出費ヲ遙ニ超ヘタルモノヲモ擱ムコトヲ得ル。其レタケニテ之ニ課スル廣告稅ハ不勞利得稅的ノ分子ヲ含ム<sup>29)</sup>。廣告ノ一部ニハ温泉場廣告、奢侈品廣告ノ如ク、奢侈的ノモノカア

28) 同上、688.

29) 同上、689-690.

リ、其レタケテハ廣告稅カ奢侈課稅ノ意味ヲモ交ユルコトニナル。何レニシテモ此等ノモノトナルト、特ニ大ナ能力カアルモノトシテ取扱ツテ良イコトニナル。人事關係ノ廣告ニハ能力ノ乏シイ、氣ノ毒ナモノモアルカ、其トテモ、其廣告費ノ支出ヲ敢テシタタケテハ、其ヲ敢テシ得ヌモノニ比シテハ、何程カノ能力ヲモツトシナケレハナラヌ。タカラシテ此稅ハ少クトモ箇々ノ能力ヲ押ヘテ課シテハ居リ、其タケニテ公平ニ適フトイフテ可イ。

(註七) こんらードハ、廣告稅ハ廣告者カラ拂ハルルコトカ出來、ソシテ其ノ廣告ニヨツテ得ヘキ利益ヲ課サウトスルコトカ出來ルトイフ<sup>30)</sup>。

(註八) エーペルヒハ、廣告稅ヲ以テ、其消費カ或所得ノ記號トシテ見ラレ得ル物ニ課スル稅トシテ居ル<sup>31)</sup>。

(註九) 獨逸ノ廣告稅法理由書中ニ、廣告ハ今日ハ主トシテ、廣告ニ使ハレタ貨幣ニヨリ大ナル利益ヲ舉ゲヤウトシ他面、其廣告行爲ノ範圍ヲ、之カラシテ期待サルル利益ノ大サニヨツテ規定スヘキ地位ニアル所ノ、資本力ノ大ナ、支拂能力ノアル人ノ範圍カラ出ルモノトアツタ<sup>32)</sup>。

(二) 財政收入上——ニハ此稅カ一ノ收入トハナリ、其モ時勢ノ進歩ト共ニ、增收スヘキ可能性ヲ有ツモノトシテ、<sup>33)</sup>良キモノトイヒ得ル。假令其ニ多大ノ收入ヲ期待シ得ストハイヘ、兎モ角何程カノ相當ノ收入ハ供シ得ルシ、假令收入ノ屈伸力カ強イモノトハイヘヌトシテ

30) Conrad, a. a. O. S. 304.

31) Eheberg, Fw. S. 498.

32) Garr, a. a. O. S. 23.

33) 拙著、財政問題 691.



モ、萬更ラ其ノ弱イモノトモイヘナイ。可ナリノカヲ有チ、必要アルトキ、少々位ノ増率ヲシタカラトイフテ收入ヲ却ツテ減少セシムルナトイフ心配ノ少キ所テアル。

(三) 國民經濟上——ニハ、廣告稅ニヨリテ廣告トイフ交通行爲ヲ抑制シ、經濟交通ヲ妨害スルモノノ如クテハアルカ、併シ恰カモ其廣告ニハ、誇大ナル、時トシテハ不正競争的ノモノモアツテ、穩健平靜ナル經濟界ヲ攪亂シ、正當ナル營業者ヲ傷ケ、人ノ消費生活ノ上ニモ浪費ヲ勸メ、損害ヲ與フルコトノ少カラヌコトカアリ、過大ニ此廣告ノ爲メニ費用ヲ入レルコトモアツテ、稅ニヨリテ或度マテ之ヲ抑制シテモ國民經濟上忍フヘキ所以ノモノカアルトスヘキテアル(註一〇)。

(註一〇) こんらーどハ、今日ハ廣告手段ガ往々ニシテ過大ナル度ニ、美ハシカラサル市場呼號的ノ方法ニテ行ハレ、其爲メ好マシカラス且ツ厄介ナルモノトナリ、實ニ不正競争トモナルコトヲ認ムヘシトイフテ居ル。尙ホ拙著參照<sup>34)</sup>

(四) 社會政策上——今日ノ社會テハ廣告カ餘リニ使ヒ過キラレテ居リ、其直接間接ノ負擔ノ爲メニ、中等階級カ苦シテ居ル。物價騰貴、生活難トイフノニモ此廣告費ノ影響シテ居ルモノカアル。廣告稅カ廣告過信ニ反省ヲ與ヘテ、之ヲ抑制スルタケニテ、中等階級ノ生

34) Conrad, a. a. O. S. 305. 財政問題 692.

活ヲ改善ストモイハレ得ル(註一一)。尤モ此ハ大シタコトテハナイ。ケレトモ一ノ觀察點トシテハ擧ケラレル。

(註一一) 例之、こーんカ嘗テ、廣告稅カ中等階級及類似ノ者ヲシテ、廣告費ノ抑壓的ナ迷信的ナ負擔ヲ免レシムルコトニヨリテ、其生活條件ヲ改良スルテアラウトイフタ<sup>35)</sup>

(五) 文化政策上——廣告ニハ文化政策上如何ハシク、望マシカラサルモノカアル。之ニ稅ヲ課スルコトニヨリテ何程カ之ヲ制スルタケノ效果ハアル。尤モ此モ亦大シタ働キハ成シ遂ケラレマイト思ハルル。

(六) 人民負擔及課稅技術上——此稅カ割合ニ樂ニ擔ハルトイフコトカアリ(註一二)、隨ヲテハ課稅技術上ニモ、取り易キモノタトイフコトニナル。尤モ其ニツキ別ニ種々面倒ナ手續キラ伴フトイフノ弱點ハアル。其點ハ後ニユツル。

(註一二) じーべるひハ、各箇ノ稅ノ壓迫ヲアマリニ感セシメナイニ、收入ヲ擧ケルトイフノ必要カ、此稅及其他ノモノヲ生シタノタトイフ。びすまるくカ、嘗ツテ、新聞印紙ニツキ此カ公衆ノ感シナイ間接稅ニ屬スル。新聞ハ此稅アルニモ拘ラス盛ニ發達スルテアラウトイフタノハ、此廣告稅ニモ或度マテ當ル<sup>36)</sup>

### 其二 廣告稅ノ短所

廣告稅ニハ上記ノ長所カアルカ、其反面ニハ色々ノ短所カアル。左ノ如シテアル。

35) Garr, a. a. O. S. 67.

36) Eheberg, Fw. S. 498. Elkan, a. a. O. S. 55.



(一) 公平課稅上——ニハ特ニ種々ノ點カラ缺點ヲモツ。

(A) 稅質上

(い) 物稅タル爲メ——此稅カーノ物稅トシテ、人稅テナイノテ、廣告ニ現ハレタケテ見テ課スルカラ、義務者其人ノ人的事情ヲ考慮セスシテ課スル。同一大ノ同種廣告テアル以上ハ、其廣告者カ貧乏人テアラウカ富者テアラウカ、同タケノ稅ヲ取ル。略ホ同一能力ノ人テモ、出シタ廣告ノ大サノ如何ニヨリ異ツタ稅ヲ課セラレルコトニモナル(註一三)。此ハ此稅ニ限ラス、物稅ニ共通ナ弱點タカラ恕スヘキモノテハアルカ、併シ嚴格ニイフテ一ノ缺點タルコトハ免レナイ。

(註一三) がるハ、失職者ノ繰返シタル廣告ニ依ル求職廣告ト、富者カ田舎ノ邸宅ノ賃貸ニツイテノ、小サナ一回的ノ廣告トヲ比シテ此稅ノ不公平ヲ説キ、ろつしあーモ、此ニ價値標準カ用キラレス、或仕事ヲ求ムル駁者ト、或土地ヲ賣ラントスル王侯トヲ同高サニ課スルコトカ不公平タカラ、此稅ハ輕クシテ置カナクテハナラヌトイフ<sup>37)</sup>

(ろ) 交通事實ニ依ル稅タルカ爲メ——此稅カーノ交通稅ニ止マルカラシテ、此カ據ル所ノ事實ハ單ニ利益ノ可能性ヲ示メスニ止マリ、或ハ其利益ヲ舉クル準備行爲ニ止マリテ(註一四)、果シテ其カラ利益ノ舉ケラルルヤ否ヤハ分ラス、或ハ全ク舉ケラレナイテ終ルカ

37) Garr, a. a. O. S. 30, Roscher, a. a. O. S. 132.

モ知レヌシ、其利益カ舉ケラレルトシテモ、其カ廣告ノ大サニ相應シテ大ナルヲ得ルヤハ分ラス、大イ廣告カ小イ利益シカ舉ケス、小イ廣告カ却ツテ大イ利益ヲ舉ケルカモ知レナイ。又廣告ニヨリテ得ラルル利益カアマリニ小クシテ、之ニ課スルノ氣ノ毒テアルトイフコトモアリ、人事廣告ノ如キニハ其ニ能力アリトシテ課稅スヘキヤサハ疑アルモノモアル(註一五)。廣告ニ出費シタ處ニ確實ナル能力カアルト見ルトモイフカ(註一六)、仔細ニ考ヘルト、其トテ廣告者ノ自力ニ依ツタトハ限ラス、借リタ金テ之ヲ支出シタニ過キス、即チ將來ノ利益ヲ夢見テ、實ハ不確ナモノヲ當テニシテ他人ノ力ヲ以テ行フタニ過キヌトイフコトモアル。何レニシテモ能力ニ相應セス負擔トナリ、能力ナキ處ニ課セラレル可能性ヲモツ。或ハ此廣告稅ニツキ、廣告者ヲ見スシテ、廣告業者、新聞廣告ノ場合ニハ新聞社カ廣告收入ヲ舉クルノタカラ、其ヲ目當テニ課スルトイフ趣旨テモアリ得ル。然ルトキハ其處ニ現實ノ收入、隨ツテ利益カアリ、其タカラ確カナ能力ヲ捕捉シテ居ルヤウタカ、其廣告料收入ノアリタル事實タケテハ、マダ其利益ハ必スシモ確カニハ推定サレナイ。彼等ノ事業カ全體上缺損ナノカモ知レナイ。又其收入ノ大小ト利益ノ大小トカ必スシモ並行モシナイ。或ハ彼カ廣告者ニ轉嫁スルタラウトモイフカ、此トテ需供ノ關係次第テハ出來ナイコ



トモアル。ソシテ彼新聞社ノ負擔トシテ而カモ其ニ利益ナキニモ拘ラス擔フコトカアリ得ル(註一七)。彼カ廣告稅ニヨリテ特別ノ負擔ヲ爲ストキニ、茲ニ彼カ他ノ營業ヨリモ特別ニ不利トセラルルコトニ於ケル不公平モ訴ヘラレル(註一八)。而カモ此ニツキ同シク新聞社中テモ、大新聞社ニハ有利トナリ、小新聞社ニハ不利トナル可能性多キニ於テ、一層ノ不公平トイフコトモアル(註一九)。或ハ此カ廣告者ニ轉嫁サレ得タトシテモ、其レタケニ於テハ、兎角、大ナ營業者タル、新聞社カラ見テ大顧客タルモノニハ轉嫁セラレスシテ、小サナ營業者ニ轉嫁スルトイフヤウナ不公平モ生スル可能性カナイテハナイ。何レニシテモ色々ノ不公平カ伴フ。

(註一四) くらいんうえひたーハ、廣告ハ或法律行爲ヲ結フノ要求テハナクテ、唯々其準備行爲ニ過キストイフカ、タカラシテ廣告ハ出テモ、其カラ何等ノ實ヲモ結ハス、無利得ニ終ルコトカアリ、少クトモ費用ヲ償ハヌコトカアルヘキテアル。

(註一五) がるハ、家族廣告ニツイテイヘハ、廣告ノ頗ル多クノ形式及場合ニ於テ、廣告ニ費サレタル額カ、廣告者ノ所得ト鈞合ハヌトイフコトヲ見出ス。又、繰返サレタル廣告ニヨリテ地位ヲ求メントスル失職者ハ、其廣告ノ課稅ニヨリテ其所得ニ過度ニ課セラルルコトナルトイフ。<sup>38)</sup>

(註一六) えーべるひハ、廣告稅等ノ物體ニ現ハルル支出カ、租稅力大ナル所得ヲ示シ、隨フテ此稅カ他ノ消費稅ノ補完トシテ相當シタモノナルコトヲ否マシメストイフ。<sup>40)</sup>

38) Kleinwächter, a. a. O. S. 284.

39) Garr, a. a. O. S. 30.

40) Eheberg, Fw. S. 498.

(註一七) がるハ、此稅ニヨリ兎角、第一位ニ新聞カ損失ヲ被ルトイフテ居ル。<sup>41)</sup>

(註一八) こんらーどハ、新聞社、又ハ廣告ヲ媒介シ、廣告ヲ掲ケル書物ヲ出ス營業ヲ、他ノ營業ヨリモ一層重ク課稅スルコトハ理由ナシトイフ。<sup>42)</sup>

(註一九) 夙ニろつしあーカ、恰モ新シキ基礎薄弱ナル、隨テマタ租稅能力ノ乏シキ廣告業カ最困ルコトヲ注意シタカ、こんらーどモ、轉嫁カ行ハルルヤ否ヤハ市場ノ事情ニカカリ各箇ノ場合ニ頗ル異ツテ現ハルル。未タ少數ノ讀者シカ有タヌ、新シク設ケラレタ新聞ハ租稅ヲ拂フノミナラス擔フコトニモナルノニ、古キ、廣ク讀マレタ新聞ハ、廣告料ノ相當ノ引上ニヨリテモ唯小ナ損害ヲ受クルノミニテ足り、確ニ不利テハナイトイフ。がるモ、同様ノ趣旨ノコトヲ述ヘ、特ニ經濟上ニ弱キ企業者カ租稅ニヨリテ其存在ヲ困難トセラルルコトヲモ附ケ加ヘテ居ル。尙ホ拙著參照。<sup>43)</sup>

(B) 課稅物件上

(い) 其性質上——營業者ノ利用スル廣告ニツイテイフモ同等ノ能力アル營業者カ必スシモ同等ニ之ヲ利用シナイ。或種ノ營業者ハ廣告ヲ盛ニ利用セサルヲ得ヌノニ、他ノモノハ之ニ代ルヘキ無稅ナ別ナ方法ニテ目的ヲ達ストイフコトカアル。即チ同シヤウナ人々ノ範圍ニテモ普遍シテ用キラレス、其ニ課スル稅カ彼等ノ間ニ不公平トモナルノ外ナシトイフコトカアル(註二〇)。

(註二〇) こんらーどハ、新聞社カラ稅カ廣告者ニ轉嫁サルトキニ、商品目錄ヲ利用スルコト少クシテ、廣告ニヨ

41) Garr, a. a. O.S. 67.

42) Conrad, a. a. O. S. 305.

43) Roscher, a. a. O. S. 132. Conrad, a. a. O. S. 305. Gasr, a. a. O. S. 34. 67. 68. 財政問題, 687. 688.



リテ公衆ノ注意ヲ引クコトヲ要スル營業(小賣テハ少數ノ商人ト接觸セスシテ、直接消費者ノ大ナル塊ト交渉スル故)ニ重課スルコトハ全ク不當テアルトイフ<sup>44)</sup>

(ろ)其選擇上——稅法テハ凡ヘテノ廣告ヲ課稅スルトイフコトハ、社會政策上、文化政策上、政略上等カラシテモ、或ハ技術上カラシテモ困難テ、自ラ或モノヲ除外シ、他ノモノニ課スル外ナイコトニナル。然ルトキハ營業者其他ノモノハ、此カラ除外サレタル廣告方法ヲ選ンテ之ヲ行フコトナリ、茲ニ或廣告ヲ利用シ隨フテ其稅ヲ負フモノト然ラサルモノトノ間ニ不公平ヲ生スルコトニナル<sup>45)</sup>

(C)課稅標準及稅率上——此廣告ニ課稅スルトシテ、一々ノ廣告ニ存スル價值ヲ適當ニ評定シテ課スルコトハ難ク(註二二)、隨フテ極メテ大雜把ナ分類ヲシテ、其々ニ定額ノ稅ヲ課シ、又ハ階級率ヲ課スル位ニ止マルノカ例テアル。然ルトキハ其レニ存スル能力ニ非常ニ不公平ナルモノトナル(註二二)。或ハ廣告ノ報償金額ニ對シテノ歩合率ヲ課シタ例カ前ニモ述ヘタ通り獨逸ニアルケレトモ、此方法ニヨルトキニ技術上色々ノ面倒ニ遭遇スルノミナラス、斯カル廣告者ニ對シテノ間接ナル課稅方法其モノモ、公平ノ見地カラ宜シクナイ。技術上不都合ナノミテナク、負擔上モ不公平テモアル。此點、前論文ニ印紙稅ニツイテイ

44) Conrad, a. a. O. S. 305.  
45) 拙著、財政問題、692.

フタノト類似シテ居ル。

(註二二) さいんハ、廣告稅ハ不良テアル。此カ各ノ合理的標準ヲ缺クカラト爲シ、他ノ處テ、廣告ノ特段ナル課稅ハ不良タ。課稅物件(廣告ノ内容及價值)カ同一ノ單位ニ歸セラレルコトカ出來ナイカラトモイフテ居ル<sup>46)</sup>

(註二二) 一八七四年ニ奧國政府カ廣告稅ノ廢止ヲ決シタトキニ、其理由ハ、此稅ヲ正當ナル基礎ノ上ニ調整スルコトノ困難トイフコトアツタ。即チ各ノ廣告ニツキ價格ノ區別ナク、同一稅ヲ要求スル確定印紙ハ不公正及不合理トセラレ、併シ、記入價格ノ歩合ニ依ル稅ノ測定ハ實行難、實行不可能トシテ排斥セラレタ<sup>47)</sup>

(二)財政收入上——ニハ其收入ノ左シテ大ナモノテナイトイフコト(註二三)、屈伸力ノ大ナモノテモナイトイフコトヲ缺點トスル。自然增收ハ望ミ得ルケレトモ、時ニ景氣ノ如何ニヨリテハ減收スルコトモアラウシ、増減、意ノ如クニナラストイフコトヲモ免レナイ。

(註二三) 例之、佛國ノ張札及廣告稅收入ハ一九二三年ニ一、五〇四、〇〇〇法、一九二四年一四、四四八、〇〇〇法、一九二五年一七、〇〇〇、〇〇〇法テアル<sup>48)</sup>

(三)國民經濟上——ニハ、元來、廣告ナルモノハ近代經濟ノ如ク廣キ區域ニ亘リテノ交通ヲ前提トスルニ於テ其經營上缺クヘカラサルモノテアリ、營業者ハ之ニヨリテ能ク其販路ヲ擴張スルコトカ出來(註二四)、獨リ其レタケテハナク、營業者カ其必要トスル物ヲ知ル上ニモ、公衆カ其生活上ノ所要品ノ所在ヲ知ル上ニモ必要ナルモノトシナケレハナラヌ(註二五)。

46) Stein, a. a. O. S. 369. 372.  
47) Garr, a. a. O. S. 69.  
48) Scholz, a. a. O. S. 50.



此廣告ノ中ニ有害無益ノモノモ交ツテハ居ルカ、去リトテ大體ニ於テハ有益ナルモノテアル以上、多少ノ弊ハ忍受シナケレハナラヌシ、良好ナル廣告ト不良ナル廣告トノ區別カ困難テモアリ、隨フテ不良ナル廣告アルノ故ニ之ヲ抑制シヤウトシテ加フル所ノ課稅カ、良好ナル廣告ヲ壓迫スルコトニ於ケル不利ヲモ考ヘナケレハナラヌ(註二六)。此等ノ點カラフト、此稅ハ望マシカラヌモノトシナケレハナラヌ。尤モ此點ハ左マテ強イ非難テハナイ。廣告ニ多少ノ稅ガカケラレタカラトイフテ、此廣告カ止メラレテシマウトイフホトニハナルマシク、唯々其大サヲ縮メルノ度ニ止マツテ、能ク其使命ヲ果タスコトトナルテモアラウカラ、左マテ有益良好ナル廣告ノ爲メニ、此稅ヲ強ク排斥スルニハ及ハヌ。ムシロ此稅カ廣告ノ合理的ノ發達ヲ進メルコトニモナルテアラウ。

(註二四) こんらーどハ、廣告ハ、多クノ特ニ商業的營業テハ、今日、販路ヲ擴張スルノニ避クヘカラサル手段ニ屬ストイフテ居ル。<sup>49)</sup>

(註二五) こんらーどハ、公衆ハ廣告ニヨリテ、凡ヘテノ種類ノ商品ニツキテ新シク存在スルモノ、如何ナル商店カ新シキ使用品ヲ大ナル選擇ニ於テ供スルカ、如何ナル新シキ取引カ開カレタルカ等ヲ知ルノ利益ヲモツトイフ。<sup>50)</sup>

(註二六) こんらーどハ、正當ナル廣告ト、不要ナル又ハ全ク不當ナル廣告トノ區別カ、課稅テハ行ハル能ハストイフコト、並ニ、廣告ノ減少ノ爲メノ壓迫カ必要ナル方便ニモ加ヘラレ、缺クヘカラサル營業ヲモ妨ケナケレハナラ

49) Conrad, a. a. O. S. 304.

50) Conrad, a. a. O. S. 304-5.

ヌトイフコトヲ知ラナケレハナラヌトイフテ居ル。<sup>51)</sup>

(四) 社會政策上——廣告ニ稅ヲ課シタ方カ良イトモイヒ得ルコトハ前ニ述ベタ所ノ如シテアルカ、併シ特ニ職業紹介ニ關スルモノヤ、家事關係ノモノヤニハ、之ニ課稅スルノ氣ノ毒ナルモノカ少クナク、社會政策上否定スルヲ至當トスル(註二七)。テ廣告稅ヲ採用スルトシテモ此等ノモノタケハ免除スルヲ可トスル。

(註二七) こんらーどハ、職業ヲ求ムルモノ並ニ助手ヲ求ムル者ノ廣告ノ如キハ、何人モ之ヲ困難ナラシメヤウトハシナイテアラウシ、家族廣告モ特別ノ宥恕ノ必要テナイコトハ稀テアラウトイフテ居ル。<sup>52)</sup>

(五) 文化政策上——カライフテ、廣告カ一面ニ若干ノ弊害ヲ伴フニセヨ、全體上ニハ有意義ノモノテアル。人ハ廣告ヲ廣ク見ルコトニヨリテ一般ノ人心ノ向フ所ヲ知ルコトヲ得ル。廣告カ社會ニ惡風潮ヲ普及ストモイフカ、社會カ廣告ヲ導キツツモアル。社會カ純良テアレハ惡イ廣告ハ存立シ得ナイ。惡イ廣告カ蔓ルトスレハ、其ハ其當時ノ社會ノ不良ノニ因ル。社會ヲ指導スヘキ地位ニアルモノハ別ニ良ク之ヲ監視シテ指導ノ任務ヲ果タサナケレハナラヌ。吾人ハ又廣告ニヨリテ如何ナル新シキ著書カ出タカ、如何ナル發明發見カ出タカ、何處ニ講演會カアリ、何處ニ音樂會カアルカトイフコトヲ知ルコトカ出來ル。テ私

51) Conrad, a. a. O. S. 305.

52) Conrad, a. a. O. S. 305.



ハ此廣告カ現代ノ社會ノ縮圖ノヤウニモ思フ。此世ノ中カラシテ、廣告ヲ取去ツタトシタラ、如何ニ吾々ハ物足ラナサヲ感スルテアラウカ。然ルニ廣告稅ハ此廣告ヲ多少トモ抑制スル。文化ノ上カラハ遺憾トシナケレハナラヌ(註二八)。ソシテ特ニ今日テハ新聞雜誌トイフモノカ此廣告ノ一大部分ヲ擔ヒ、而カモ別ニ文化上意義アル仕事ヲ爲シツツアルトイフノニ、之カ廣告ニモ課スルトシテ、彼等カ其維持ノ爲メニ購讀料ト相並ンテ又ハ時トシテ一層重要ナリトシテ居ル廣告料收入ノ上ニ損害ヲ受クルコトトナツテ、其自身ノ存立ヲモ失フニ至ルモノヲ生スルトイフコトモ亦遺憾ナリトシナケレハナラヌ(註二九)。彼等カ此廣告稅ヲ廣告主ニ轉嫁シ得レハ良イカ、其ハ時ノ市況ニヨル所テ、不可能ノ事カ少カラヌシ、且ツ又轉嫁關係ニ於テ大新聞ニハ有利トナルカ、小新聞ニハ不利トナリ、新聞ノ獨占傾向ヲ助成スルトイフニ於テモ此稅ニ疑問ヲイタカナケレハナラヌ(註三〇)。特ニ其課稅スヘキ廣告トハ、獨リ明白ナル其レノミテナク、記事欄ニ於ケル紹介ニテモ廣告ノ實アルモノハ課稅シナケレハナラヌコトトナルカ、然ルトキハ新聞カ或書物ノ内容ヲ紹介シタカラトテ此モノノ廣告トセラレ、新聞カ或發明ヲ紹介シタカラトテ其モ廣告トセラレ、或地方ノ漫遊記ノヤウナモノモ廣告トセラレル事ニナル(註三一)。其テハアマリニ酷テモアリ、繁

雜ニ堪ヘナイコトニモナル。サリトテ之ヲ放任シテハ脫稅サルル危險アリトイフコトニナリ、此種ノ廣告ハ課稅技術上、特ニ厄介テアル。タカラシテ新聞ノ重要カラ考ヘ、課稅技術上カラ考ヘ、併セテ後ニイフ政略上カラ考ヘテ、新聞雜誌ノ廣告タケハ免稅トスルノカ選ムヘシトナル。然ルトキハ又廣告中ニツキ或モノヲ課シ他ノモノヲ免スルコトニ於イテノ不公平ヲ避クルヲ得ヌ(註三二)。或ハ右ノ事情ヲ斟酌シテ、新聞等ノ廣告ニ輕イ稅率ヲ適用シ、小新聞ニ大新聞ヨリモ一層輕イ稅率ヲ適用シテ、之カ課稅ヲ併セ行フノカ一策カモ知レナイ(註三三)。

(註二八) こんらどハ、書物、美術品等、音樂會、劇場等ニツキ此意味ノコトヲイフテ居ル<sup>53)</sup>

(註二九) ちすかハ、吾人ノ新聞雜誌ハ通例、購讀料ニヨリテ維持セラレス、廣告收入ニヨリテ維持セラレル。此カ租稅ニヨリテ高クセラレルトキニ、購讀料ノ引上カ恕スヘカラサルモノテアル。廣告稅ハ多クノ場合、讀者ニ轉嫁セラレ、讀物ヲ高價ナラシメル。此カ今日ノ如ク物質的享樂カ前面ニ現ハレ、國民ヲ精神的ニ導ク必要ナルノ時期ニハ特ニ悲シムヘキモノテアルト爲シ、がるモ、新聞出版者カ廣告稅ノ爲メニ編輯部ノ費用ヲ節減スルコトニ餘儀ナクサルルノ點カラ、國民教育上、有害トナルトイフ非難アリト爲シ、えるかんハ、何レノ新聞モ購讀料ニヨリテ維持サルル能ハス。ムシロ其存立及利益ヲ特ニ廣告收入ニ置クトイフテ居ル<sup>54)</sup>

尙、諸多ノ學者ハ右ノ廣告稅ノ外、新聞稅ニ反對ノ意ヲ表明シテ居ル。例之、しえふれーハ、教化、書物、教育ノ通常ノ材料ハ絶對ニ免稅スヘキモノタト爲シ。すたいんモ、新聞稅ハ凡ヘテノ消費稅中ノ最不合理ナモノタト爲

53) Conrad, a. a. O. S. 305.

54) Tyska, a. a. O. S. 254-5. Garr, a. a. O. S. 34. Elkan, a. a. O. S. 27.



シ、わるかーモ、新聞稅ヲ排斥スヘキモノトイヒ、べらふえるですモ、新聞稅ヲ許スヘカラサルモノト爲シ、くら  
いんうえひたーハ、意見發表ノ自由カ到ル處ニ國家ノ根本原則上與ヘラルル今日ニ於テハ、新聞稅ハ到ル處ニ廢止  
セラレタトイフテ居ル<sup>55)</sup>

(註三〇) 前註一九參照。

(註三一) がるハ、新聞ノ民衆衛生記事中新シキ藥ノ指示カ廣告トサレ得ルコトナリ、風景ノ美ハシキ山岳地方  
又ハ海水浴場ノ刺戟ヲ詩歌、寫眞ニ記載シテモ、此ニ記者ノ偉大ナル能力カ潜ミ、宿屋會社ノ宣傳カ隠レルコトト  
ナルカトイフテ居ル<sup>56)</sup>

(註三二) 前出、廣告稅短所ノ(一)(B)參照。

(註三三) 前出、第一段其一、獨逸ノ廣告稅參照。尙ホ、こんらーどハ、稅力大新聞ヨリモ小新聞ヲ一層多ク傷ケル  
コトトナル、隨フテ大ナルモノノ一層重キ課稅力正當タト爲シ、すとのつハ獨逸立法者ノ趣旨此ニアリトイフ<sup>57)</sup>

(六) 課稅技術及人民負擔上——此稅ハ當局者ニトリ面倒テアリ、人民ニトリテモ厄介テアル  
(註三四) 收入又ハ報償金額ニ對シ歩合率ヲ課スルトキニ特ニ然リテアル(註三五)。其レニ新聞  
雜誌ノ廣告ヲモ課スルトキニハ、明ナル廣告ノ外、記事ニ於ケル廣告ヲモ課スルトシテ其  
ヲ廣告ト見ルヤ否ヤヲ區別スルコトカ困難テアリ(註三六)、外國ヨリ來ル新聞雜誌ノ廣告ヲ  
モ見逃シテハ脫稅サルル危險カアルカラ之ヲモ捕捉シヨウトスレハ、其ハ大變ナ煩累トモ  
ナル(註三七)。ケレトモ若モ假令不公平テハアルニセヨ、新聞雜誌ノ廣告ヲ除外スレハ、之

55) Schäffle, Steuern. B. T. S. 265. Stein, a. a. O. S. 369. Walcker, Fw. S. 99. Bela Földes, Fw. S. 513. Kleinwächter, a. a. O. S. 262.

56) Garr, a. a. O. S. 65.

57) Conrad, a. a. O. S. 305. Strutz, a. a. O. S. 112.

カ技術上ノ困難ノ一大部分ハ除カレルシ、稅率ニツイテハ歩合率ヲ排シ、併シ確定率トイ  
フ簡單ナレトモ不公平ナルモノヲモ排シテ、中間的ナル階級率ヲ取り、廣告ノ種類、大サ  
ニヨリテ段階ツケルコトニヨリテ、或度ノ公平モ得ラレ、技術上實際上便利ナルモノトモ  
ナリ得ル(註三八)。

(註三四) がるハ、廣告稅ノ非難トシテ、此カ徵收及監督カ過大ナル人件費ヲ要セシメ、出版者ニモ堪ユヘカラサル  
厄介トナルヘシトイフ事アリト爲シ、尙別ノ處ニテ、此稅カ實ニ痛マシキ且ツ多費ナル煩累トシテ感セラるルノミ  
テナク、堪ユヘカラサル搜索トシテモ感セラるルテアラウトイフテ居ル<sup>58)</sup>

(註三五) 埃國政府カ一八七四年ニ之ヲ廢止シタトキノ理由ニ、此カアツタ<sup>59)</sup>

(註三六) 前出註三一參照。

(註三七) 假リニ我國ニテイヘハ、支那ニテ印刷シタモノテ脫稅カ多ク生シヤウ。或ハ之カ輸入ヲ禁止スルトイフコ  
トモ出來ルカ、其ハ實際行ヒ難キコトテアル。がるハ、租稅官廳ノ手テ外國新聞ノ靜ナル禁止ホト不便ナ方法ハナ  
イトイヒ、えるかんモ、新聞稅ニツキ、外國新聞ノ課稅カ複雑ナルヲ説ク<sup>60)</sup>

(註三八) がるハ、解決ハ、稅ヲ廣告收入ノ歩合ニヨラス、廣告ノ大サニ依ル一定ノ階級ニヨルコトテ行ハレ得トイフ<sup>61)</sup>

(七) 政治上——ニハ、特ニ新聞廣告ヲ課稅物件トスル爲メニ、自ラ政府ノ新聞ヘノ干涉ヲ行  
ハレシメテ反對意見ヲ抑壓シ政治上ノ濫用ヲ生スルノ弊カアル(註三九)。特ニ其ノ廣告收入  
ニ課スルコトニナレハ、各新聞ノ財政上ノ内幕ヲ政府ニ知ラシメテ一層危險テアル(註四〇)。

58) Garr, a. a. O. S. 34. 68.

59) Garr, a. a. O. S. 58.

60) Garr, a. a. O. S. 66. Elkan, a. a. O. S. 21.

61) Garr, a. a. O. S. 70.



此心配ハ全ク之ナシトイヒ得ヌ。併シ廣告稅ヲ採ルトシテモ新聞雜誌ノ分ヲ免稅トスレハ避ケルコトヲ得ル。

(註三九) がるハ、印刷物ノ課稅特ニ廣告稅カ政府ニ、新聞雜誌ヲ監督シ且ツ影響ヲ及ホスノ方法ヲ供ストイフノテ非難サルトイヒ、又別ノ處テ、新聞ニ課スル稅カ殆ント到ル處ニ、財政收入上ノ性質ヨリハムシロ抑壓的性質ノモノテアツタトイヒ、えるかんモ、新聞稅ニツイテ此點ヲ舉ケテ居ル<sup>62)</sup>

(註四〇) がるハ、出版者ニ於ケル廣告收入ヲ監督スル方法カ、政府ニ、各印刷業ノ財政上ノ地位ニ於ケル最完全ナル通觀ヲ備ヘル豊カナ機會ヲ供ストイフテ居ル<sup>63)</sup>

## 結 論

以上、要之、廣告稅ハ我國テハ比較的閑却サレテ居ル問題タカ、一ノ興味アルモノデアリ、此ニ長短利弊アツテ、一概ニ可否ヲ斷定シ難イカ、全ク採ルヘカラストイフホトノモノテハナイ。此カ一ノ交通稅トシテ、其ニ共通ナル弱點ヲ有ツ所テハアルカ、其ノ中テモ特ニ印紙稅ノヤウナ不公平至極ナ稅カ存立シ得トイフナラハ、之ト相並ンテ存立スルノ資格ハアリトシナケレハナラス。尤モ之ヲ採用スルトシテハ、ムシロ佛蘭西型ヲ採リ、新聞雜誌廣告ヲ課稅物件カラ除クノカ文化政策上技術上及政略上ニモ選ムヘシト思フ。

62) Garr, a. a. O. S. 14. 63. Elkan, a. a. O. S. 35.

63) Garr, a. a. O. S. 64.

## 第五部 消費稅

### 第十編 消費稅ノ理想トシテノ專賣

#### 緒 言

消費稅ハ概シテ公正ニ適ハヌ。能力ニ應スル負擔トナルコトカ六ツカシイ。應能カライヘハ直接稅カ勝サリ、消費稅特ニ其ノ普通ノ形式タル間接消費稅ハ能力ニ應スルニ不適當ナモノトセラレル(註一)。而カモ實際トシテハ少クトモ財政收入上ノ必要カラシテ之ヲ忍ンテ採用シナクテナラス所テアリ、就イテハ之ヲ出來ルタケ公平ナラシメ、且ツ夫ノ間接稅方法ニ伴フ其他ノ弊害ヲモ排除シ又ハ緩和スルノ方法カナイカトイフ事カ研究ヲ要スル問題トナル。即チ財政收入ノ大目的ヲモ達シ、ソシテ公平課稅ニモ適ハシメル方法ノ詮議カ必要トナル。此ノ如キ方法トシテハ由來、專賣、特ニ製造及販賣獨占カ薦メラルル所テアル。ソシテ消費稅トシテ適當ナ條件ヲ備フルホトノモノハ大ムネ此專賣ニモ適シテ居ルヤ



ウタシ、此專賣ノ行ヒ得ヌホトノ物ハ消費税トシテモ大體不適當ノヤウテアル。隨フテ消費税ノ理想ハ專賣テアリ、專賣ニヨリテ夫ノ目的ニ應シ得ラルルカ如クテアル。併シ實際果シテ然ルカヲ吟味スルコトカ理論上重要ナノミテナク、實際上ニモ重大ナ意味アルコトト思フニヨリテ、私ハ敢テ茲ニ之ヲ試ミヤウト思フ。即チ之カ爲メニ專賣ノ長短ヲ一々擧ケテ見ヤウト思フノテアル。

(註一) 後論文、消費税ニ於ケル砂糖税ノ地位ノ註(一)參照。

## 第一段 專賣ノ長所

專賣ノ長所ハ實ニ多様且ツ重大ナモノテアル。大要左ノ如シ。

### (一) 公平課税上

(A) 消費者ノ直接負擔ニ歸シ、間接税ニ於ケルカ如ク消費者ヘノ轉嫁ニツキ立法者ノ豫期ニ反スルカ如キ結果トナラサルヲ得ルコト——カ此專賣ノ第一ノ長所テアル。元來消費税ハ人ノ消費ニ現ハレタル給付能力ヲ捕捉シテ課税スルモノテ、消費者ノ負擔ニ歸着スルコ

トヲ期スルノタ。處テ其通例ノ形式タル間接課税法ニヨツテハ、先ツ生産者ニ課シ、其カ應カテ生産者カラ消費者ニ前轉セシメラルルノカ通例テアル。<sup>1)</sup> 其ノ一旦消費者ニ歸シタ負擔カ更ラニ賃金ノ騰貴ニヨツテ又生産者ニ歸セシメラルトイフヤウナ第二段ノ轉嫁モ生スルカ、其ハ暫ラク措ク(註二)トシテ、前ノ第一次ノ轉嫁タル、生産者カラ消費者ヘノ轉嫁カ、時ノ事情ニヨリテハ思フヤウニ行ハレスシテ、其生産者自身ノ負擔ニ歸シ、<sup>2)</sup> 或ハ商人、資本家、地主、家主等ニ、或ハ其勞働者ナトニモ轉嫁サルルコトカ起リ、消費者ヘハ全ク轉嫁セラレス、又ハ一部シカ轉嫁サレナイトフコトカ生スル。更ラニ或ハ此ニテ轉嫁ノ不明確トイフコトサヘモ生スルテアラウ。處カ專賣タト假令、政府ト消費者トノ間ニ元賣捌人、小賣人トイフモノカアツテモ、彼等ノ收メル利得ニハ一定ノ定マリタルモノカアリ、消費者は政府ノ指定スルタケノ潜在的ノ税ヲ擔フノ外ナイコトトナル。即チ豫定通りニ消費者ノ負擔ニ歸スルヲ得ルノテアル。<sup>4)</sup> ツマリ消費税カ普通ノ形式カラ專賣ニ變スルコトニヨリテ、間接税カラ直接税ニ變スルコトトナリ、間接税ノ如ク轉嫁ニツキテ立法者ノ期待ニ反シタル結果ヲ生セサラシムルヲ得ル。

(註二) 一旦消費者ニ歸シタル消費税ノ負擔カ更ニ賃金ノ騰貴トナツテ生産者ニ復歸スル第二段ノ轉嫁問題モアルコ

1) Tyszka, Fw. 2 Aufl. S. 294.

2) Tyszka, ebenda, S. 290.

3) 拙著、租税研究、一卷、483.

4) 同上、二卷 166. Tyszka, a. a. O. S. 290.



トハまいるノ注意スル通りテアル。<sup>5)</sup>

(B) 奢侈重課又ハ差等課税ノ趣旨ニ適應シタル消費課税ヲ爲シ得ルコト——モ亦タ專賣ノ長所テアル。元來、消費税ニ於ケル一ノ大ナ目標ハ奢侈重課デアリ、差等課税テアル。此税ニテモ消費物ノ品質ニヨリ優等品ニハ重ク、劣等品ニハ輕ク課シテ、消費者ノ能力ノ大小ニ適應センコトヲ期スルモノテアル。<sup>6)</sup> 處カ此事ハ通例ノ消費税テハ行ヒ難イモノテアル。或モノニテハ全ク之ヲ行ハス、他ノモノテハ行フテモ、不十分ニシカ行ヘナイ。例之、酒造税ヲ採ツテ見テモ清酒ハ酒精分二十三度以下ノモノタル以上ハ、優等品タルト劣等品タルトヲ問ハス、一率ニ一石四拾圓ヲ課シテ居ル。織物税テアレハ從價一割ノ税トイフカラ、優等品ハ自ラ價カ高く、劣等品ハ價ノ低キコトニヨリテ此差等課税カ或度マテ行ハレルコトニハナルカ、其カ單純ナル比例税タカラシテ、値ノ高キ優等品カ劣等品ヨリモ絶對的ニハ高イ負擔ヲ爲シテモ、相對的ニ高イ負擔ヲ爲ストイフマテニ差等課税ヲ爲シ、累進税ノ趣意ヲ以テ課スルコトハ出來ナイ。砂糖税テハ品種ニヨリテ税率ヲ階段ツケテ居ルカラ、自ラ優等品ニ高イ税トイフコトニハナルカ、其高低ノ差カ十分ニツケラレテ居ルトハイヘナイ。然ルニ專賣ヲ行フコトニナレハ、其屬スル品物ノ品質ノ間ニ澤山ノ差等ヲ

5) Mayr, Zur Theorie der indirekten Steuern. S. 25.  
6) 拙著、租税研究、二卷 156.

附シ、富者ノ消費スヘキ優等品ニハ非常ニ高イ價ヲ附シテ高イ税ヲ潜在セシメ、ソシテ貧乏人ノ消費スヘキ劣等品ニハ之ヲ非常ニ低イモノトスルコトカ出來ル。<sup>7)</sup> 此點ニ於テモ專賣ハ有ラユル消費税形式中ニ於テ優レタモノトイヒ得ル。

(二) 社會政策及教育衛生政策上

(A) 生産者ニ對スル關係ニテ——

(い) 大資本家大生産者ノ獨占的利益ヲ制限スルコト——内國間接消費税ノ存在ハ自然的ニモ大資本的の生産ヲ有利ナラシメ小資本家ヲ不利ナラシメルカ、法律人工的ニモ一定限以上ノ大規模ノ生産ノミヲ許スコトニヨリ、益々生産界ニ集中の傾向ヲ助クル所テアル。<sup>8)</sup> 處カ專賣ハ此等ヲシテ存立セシメサルコトニヨリ、間接税ノ下ニハ少數ノ大生産者ノ收メタ獨占的利益ヲ、彼等ヲシテ收メシメス、之ヲ政府ニ收メテ多數人民ニ均霑セシムルコトトナリ得ル此點カライフモ全體上良キモノトイフテ良イ。

(ろ) 小生産保護ヲ行ヒ得ルコト、——生産ヲ民間ニ任カセテ販賣ノミヲ政府獨占トスル場合ノ如キ、專賣ニ於テ大生産者ニ比シ小生産者ヲ有利ナラシメテ、後者ヲ保護スルノ政策ヲ行フコトモ出來ル。<sup>10)</sup>

7) 拙著、租税研究、二卷 165. Tyszka, a. a. O. S. 290-1. Lippert, Das Alkoholmonopol. S. 69. Lotz, Fw. S. 680. Gruntzel, Fw. S. 77. Conrad, Fw. 9 Aufl. S. 10. Eheberg, Fw. 18 & 19 Aufl. S. 425-461. 491.

8) 拙著、租税研究、二卷 139 以下。  
9) 同上、146.  
10) 同上、147.



(B) 消費者ニ對スル關係ニテ——

(い) 消費抑制——消費税トシテハ煙草、酒類カ主タル物件トナルカ、此等ノ物ノ消費ハ元來、衛生上社會上教育上、抑制ノ望マシキモノテアル<sup>11)</sup>。出來ルタケ其販賣量、販賣處、販賣時間ヲ制限シテ、國民ノ之カ消費ヲ制限シタキモノテアル。國ノ財政ノ許サヌトキハ致方モナイカ、國ノ財政カ許スナラハ之ヲ行ヒタキモノテアル。ソシテ其ニハ内國間接消費税ノ下テアルヨリハ、專賣ノ下ニ一層良ク此カ行ヒ得ル。或ハ其國ノ財政需要トノ關係ヲ考慮シテ、或度マテ此目的ヲ達スルコトカ政府專賣ニヨリ容易ニ行ハルルコトヲ得ル(註三)。

(註三) 此ニツキ拙論文参照。尙ホ、リつばーとハ、專賣ハ飲酒ニ對スル戰爭ニ於ケル重要ナ武器タト爲シ、ねーふモ、火酒專賣ハ酒毒ニ對抗スル最良方便トサレ、斯クテ此カ公共及倫理上ノ利益ノ物體トナツタトイヒ、にーべるヒモ、酒場及火酒消費ヲ制限スル社會政策上ノ目的カ專賣ニヨリテ最有效ニ行ハルルトセラルトイヒ、べらふえるですモ、專賣ニテ衛生上ノ要求ニモ注意シ、道義上ノ方向ニテモ國家カ往々ニシテ有害ナル方向ノ制限ニ有效ニ働クコトヲ得ルトイヒ、れらるんハ、露國ノ火酒專賣ニテモ、飲酒ニ對スル爭(即ち節酒獎勵)ノ爲メニ計ツタトイフテ居ル<sup>12)</sup>。

(ろ) 製品吟味——政府專賣テアレハ、夫ノ民間ニ任カサレタ場合ヨリモ一層良ク、製品

ヲ吟味シ有害品ヲ販賣セザルコトカ出來ル(註四)。又消費者ノ目ヲ掠メテ混物ヲ行ヒ品質又ハ價格詐欺ヲ行フカ如キコトノナイトイフコトカ出來ル(註五)。何レニシテモ消費者ノ衛生上又ハ經濟上ノ保護カ一層良ク專賣ニヨリ達セラレル。

(註四) 瑞西ノ火酒專賣ニテモ此衛生上ノ考慮カ行ハレテ居タトイフコトテアリ、あるぐらーぶモ、火酒ニ含ム有毒物ニ歸スヘキ有害ナル結果ヲ有效ニ除ク爲メニハ、唯タ國家獨占ニヨル精製強制ノ方法ノ外ナイトシテ居ツタ<sup>13)</sup>。

(註五) ちすか、ねーふ等、消費者ヲ價格詐欺、混物ヨリ保護スルコトヲ政府專賣ノ利益ニ數フ<sup>15)</sup>。

(は) 冗費節約——内國消費税ノ下ニハ、民業ニ於テ冗費ノ多カルヘキヲ、政府專賣ノ下ニ節シ得ルコトニヨリテモ專賣カ消費者ヲ利ストイフコトカアル。此點ハ後ニ生産政策上ノ長所ノ説明ニヨリ明ニナルテアラウ。

(に) 物價安定——詳シクイヘハ自由市場ノ下ニハ經濟界自然界ノ種々ノ原因ノ爲メニ、物價カ動搖スルシ、特ニ獨占的力ヲモツ者ノ爲メニ其カ不當ニ高騰スルコトトモナリ、又、各地自ラ不均等ノ値トモナルノカ自然ノ勢テアル。然ルニ政府專賣ノ下ニ物價ハ略ホ安定シ(註六)、而カモ國內ニ均一平等ナル價ヲ維持シ(註七)、不當ナル騰貴ヲ以テ少數生産者等カ消費者ヲ苦シムルコトモナキヲ得ル(註八)。何レニシテモ消費者トシテ專賣ヲ有利トス

13) 拙著、租稅研究、二卷 178-9. Tyszka, a. a. O. S. 291. Eheberg, a. a. O. S. 461.

14) Lotz, a. a. O. S. 669. Lippert, a. a. O. S. 1.

15) Tyszka, a. a. O. S. 291. Naef, a. a. O. S. 174.

11) 拙著、租稅研究、一卷 468-9. 479. Lippert, a. a. O. S. 68.

12) 拙著、租稅研究、二卷 174. 以下 Lippert, a. a. O. S. 75. Naef, Tabakmonopol und Biersteuer, S. 181. Eheberg, a. a. O. S. 461. Bela Földes, Fw. S. 377. Lewin, Das Branntweinmonopol in Russland, S. 11. 166.



ヘキテアル。

(註六) はるとまんハ、國家獨占ニハ、往々ニシテ材料ノ過高ナル價格動搖ヲ減少スルコト並ニ全經濟生活ノ一層大ナル安定ヲ齎ラスコトヲ期シ得ト爲ス。<sup>16)</sup>

(註七) こんらードハ、政府獨占ニヨリテ價格ノ平準ヲ生シ得ト爲シ、ねーふモ、獨占工業カ喫煙者(煙草ニツキ)ニ平等ニ良キ品物ヲ保證スト爲シ、ろつツハ、獨占贊成者ハ、消費者カ相當ノ品物ヲ到ル處ニ、同一品質同一價格ニテ得ルコトノ利益ヲ舉ケテ居ルトイウテ居ル。<sup>17)</sup>

(註八) べひとるすはいむハ、國家獨占ニヨリテ商品ノ不必要ナル騰貴ヨリ保護ストイヒ、しるらすハ、國營業カ時トシテ物價騰貴ヲ防クノ利益ヲモツトシ、だるとんモ、國營業カ私的獨占者ノ、物價ヲ不當ニ高ク維持スル力ヲ制限スル爲メノ有用ナ武器タルヲ得ト爲シ、くのーモ、私的獨占ノ結果、左ナクトモ關係物件ノ價格ノ上ルヘキトキニハ、國家獨占ノ方カムシロ労働者ノ利テアルト爲シ、はるとまんハ、ごーるとすたいんヲ引キ、私的獨占ハ通例、其持主ニ通常ノ利得ノ外ニ、獨占物ニツキ出来ルタケ高イ格外ノ利得ヲ保證スル爲メニ行ハルルニ對シ、國家ハ人ノ需要ノ重要ナル財カ獨占サルルトキニハ、其獨占ヲ取上ケテ國ノ獨占トスルノ動機ヲ有テ得トイフテ居ル。<sup>18)</sup>尤モ此價格ヲ上ケナイヤウニスルトイフコトハ政府財政上ノ必要如何ニヨリテハ行ハレナイコトタカ、併シ兎ニ角政府獨占ニヨリテ、自由時代ノ如ク少數私人ノ利益ノ爲メニスル價格引上ハナキコトヲ得ル。

(ほ) 其他——特ニ酒專賣ノ場合ニハ、我邦ノ事情ニ於テ米トイフ國民ノ生活ノ第一必要品ノ消費ヲ確保スルトイフ上ニ、專賣ヲ便トスルトイフコトカアル。<sup>19)</sup>

(C) 労働者從業者ニ對スル關係ニテ

(い) 其労働條件其他ノ待遇——カライフテ、大體ニ於テ政府專賣ニ於ケル從業者ハ民間ノ事業家ノ下ニ於ケルヨリモヨリ良キ待遇ヲ受クルヲ得ル(註九)。

(註九) ねーふハ、國家獨占カ労働者ニ、賃金ノ上騰、労働時間ノ短縮等ヲ生ストイフテ居リ、くのーハ、國家獨占ニ依リテ生スル物價ノ騰貴カ、若該國家獨占事業ニ從事スル労働者ノ地位ヲ改良スルコト(一層有利ナル労働條件、一層規律アル從業、頻繁ナル恐慌ヨリノ回避等)ニヨリ十分ニ平準サルルトキニ、國家獨占カ労働者ノ利トナルトイフ。<sup>20)</sup>

(ろ) 物價騰貴——齊シク物價騰貴ヲ生スルヲ免レストシテモ、國家獨占ノ場合ニ生スル其ハ、國ノ財政需要ノ指示スルモノニ止マルノニ、然ラサル場合ニ消費税カ私的獨占ヲ助長スル傾カアツテ、其ノ私的獨占ノ場合ニハ、所詮、政府財政ノ必要トスル消費税タケノ物價騰貴ハ免レナイカ其上ニモ、其獨占ヲ濫用シテ不當ニ價格ヲ引上クルノ傾ヲモツ(註一〇)。國家專賣ハ之ヲ避ケルヲ得ルコトニヨリテ、消費者トシテノ労働者ヲ利スルコトニナル(註一一)。

(註一〇) 前出註八參照。

(註一一) くのーハ、國家獨占ヲ止メタ結果、租税ノ採用カアツテ、其カ労働者ノ生活維持ヲ一層高メル場合ニハ、國家獨占カ労働者ノ利トナルトイフ。<sup>21)</sup>

20) Naef, a. a. O. S. 170. Cunow, a. a. O. S. 30.

21) Cunow, a. a. O. S. 29.

16) Hartmann, Das Reichs-Elektrizitätsmonopol, S. 88.

17) Conrad, a. a. O. S. 11. Naef, a. a. O. S. 174. Lotz, a. a. O. S. 629.

18) Bechtolsheim, Ein Reichsgetreidemonopol, S. 40. Shirras, Public finance, p. 421. Dalto, Public finance, p. 132. Cunow, Praktische Steuerpolitik oder Steuerdogmatik, S. 29. Hartmann, a. a. O. S. 86.

19) 拙著、租税研究、二卷 179 以下。



(D) 全社會ニ對スル關係ニ於テ——民營ノ場合ニハ事業ヨリ生スル利益カ少數ノ人々ヲ潤ホシタニ止マルノニ、之ヲ政府獨占トスルコトニヨリテ其利益ヲ全社會ノ人々ニ均霑セシメルコトカ出來(註一三)、民營ノ下ニ於ケルカ如キ政治上社會上ノ腐敗ヲ生スルトイフヤウナ弊害ヲモ避ケルコトカ出來ル(註一三)。

(註一三) たつけいハ、國家ハ國民ノ全キ利益ヲ行フ爲メニ、事實上ニ發達シタ獨占ヲ押ヘル機能ヲ有シ且ツ往々ニシテ義務ヲ有スト爲シ、べらふに於てすモ、國家獨占ト私經濟獨占トノ選擇ニツイテハ、國庫獨占カ私獨占ヨリモヨリ多ク、公益ニヨリテ行ハルヘキカ故ニ、此ニ優先ヲ與フルヲ躊躇セスト爲シ、くのーモ、國家獨占ニヨリテ、此迄、製造家、大商人、小商人ノ收メタ利得ヲ、國家ニ、其經費充足ノ爲メニ收入シテ、然ラサレハ他ノ方便ニヨラナケレハナラナカッタ方便ヲ國家ニ供スルコトトナルトイヒ、尙ホはるとまんハ、電力國營ニ關シ、電力ノ生産配給ニヨリテ生スル利得ヲ、割合ニ少數ナル資本家ノ手カラ、國家、隨フテ全體ノ幸福ニ歸スルコトカ選ムヘキタト爲シ、更ラニ工業ヲ全國ニ平等ニ分配シ、小消費者ノ希望ヲモ相當ニ考慮シテ、正當ナル利率ヲ定メ、電力ノ恩澤ヲ、事業トシテハ不利ナル地方ニ及ホスコトハ、國家ノ任務テアツテ、又國家ノ利益ニ屬スト爲ス<sup>22)</sup> ツマリ全國民ニ均霑セシムルトイフ意味ハ、財政上ニ於テモイヒ得ルシ、勤務上ニモイヒ得ル。

(註一四) 一たいんハ、獨逸鐵山所有力愈々少數人ノ手ニ急速ニ集中スルト共ニ、最重要ナル生産方便ノ唯一ノ處理カ此少數人ニ歸シテ、此國民全財産ノ管理ニツイテ國民又ハ其代表ノ責任トナラヌコトニナルトキニ、大ナル政治上社會上ノ心配アリト爲ス<sup>23)</sup>。

### (三) 生産政策上

#### (A) 生産費ノ減少

(い) 生産要素ノ利用上——政府事業テアルト、民業ニ比シテハ其信用ノ大ナル爲メニ資本ヲ一層低利ニテ利用シ得ルノハイフマテモナク、其ノ使用人ニテモ、特ニ高級者ノ如キニテハ、官營ナルカ故ニ安イ給料ニテ割合ニ良キ人ヲ雇入レ得<sup>24)</sup>トイフ便利カアル。此等ハ國ノ生産政策上ニモ有利タカ、ヤカテ消費者ニトリテモ有利テアリ、社會政策上、有利トイフコトニモナル。

(ろ) 大規模經營上——政府專賣ノ場合ニハ、民間ニ任カサレタ場合ヨリモ、大體一層大規模ナルコトヲ得テ、其點カラシテモ經費ノ割合ニ少キコトカ出來、生産政策上有利トナリ得ル(註一四)。

(註一四) くらいんうえひたーハ、國家獨占ノ收入ノ三分一(二分一テハナイトシテモ)ハ國家カ其大經營ニテ收メル所ノ生産費ノ節約ニ歸スヘキモノタト爲シ、ちすかモ、國家獨占ノ長所ハ、大規模生産トイフコトテ、之ニヨリテ供給スル物品ノ廉價ヲ生ストイヒ、ぐるんつゑるモ、國家獨占ニヨリ製造加工カ少數ノ經營ニ集中シ得ルコトトナリ、生産費ヲ減少スト爲シ、ねーふモ、煙草獨占ノ收入ノ目的カ最確カニ大經營ニヨリテ生シ得トイフ<sup>25)</sup>。

(は) 廣告費外裝費ノ節約上——消費税ノ下ニ生産者商人カ宣傳費廣告外飾費ヲ多ク使フカ、其カ廳カテ代價ニ込メテ賣ラルルコトトナル。政府專賣ニテハ之ヲ節スルコトカ出來

24) Getz, Das Branntweinmonopol als Besteuerungsform. S. 25.

25) Hartmann, a. a. O. S. 79. Getz, a. a. O. S. 26.

26) Kleinwächter, Fw. S. 238. Tyszka, a. a. O. S. 291. Gruntzel, a. a. O. S. 77. Naef, a. a. O. S. 98.

22) Taquet, Le monopole de l'alcool. p. 6. Bela Földes, a. a. O. S. 376-7. Cunow, a. a. O. S. 28. Hartmann, a. a. O. S. 77.

23) Gothein, Reichsbergbaumonopol. S. 10.



ル(註一五)。

(註一五) ぐるんつえるハ、政府專賣ノ下ニハ、經營ニ際シ、廣告費、店舗及商品ノ外飾費ヲ節スルトイフテ其利益ニ數ヘテ居ル。<sup>27)</sup>

(に) 納税資金ノ利子ノ節約上——普通ノ消費税ノ下ニハ納税者ハ納税前拂資金ノ利子タケ生産費勘定ヲ大ナラシメラレル。其タケ多クノ資金ヲ要シ、其對價ハヤカテ消費者カラ取戻スコトニナルカ、政府專賣ノ下ニハ此ノ如キモノハナイコトカ出來ル(註一六)。

(註一六) まいるハ、消費税支拂ノ實際ノ消費ニ實質的ニ近接スルコトノ進展ヨリシテ消費税技術ノ理想トシテ獨占カ現ハルトイフカ、消費ニ近ツクホト納税前拂資金ノ利子ハ少クテ済ム。

(B) 給付ノ優良——トイフコトモ大體政府專賣ニヨリテ得ラルル。其ハ此ニテ公益主義カラ出發シテ、良キ物ヲ出來ルタケ廉價ニ、且ツ全國平等ニ供スルコトヲ期スルコトカラ生スル(註一七)。

(註一七) 前出(二)(B)及(に)並ニ(D)參照。尙ホこんらードハ、政府獨占ニヨリテ價格輕易、價格平準カ生シ得ト爲シ、ろつつモ、國家獨占カ煙草消費者ニアマリ高ク賣ルコトナクシテ、全國到ル處ニ、平等ニ良キ物ヲ供スルコトナルト爲シ、はるとまんモ、國家ハ其凡ヘテノ經營ニ於テ、決シテ一般ノ上ノ考慮ヲ營利上ノ其ノ後ニ置クコトハ出來ス又置クヘキモノテナイ。電力ノ出來ルタケノ廉價及全國ヘノ平等ナル供給ノ目的ヲ實現スル爲メニハ第一位ニ國家カ薦メラレ、且ツ其能力アリトセラルト爲シ、だるとんハ、自然ノ富源ノ開發カ或場合ニ私人所有ノ下ヨリ

27) Gruntzel, a. a. O. S. 77.  
28) Mayr, a. a. O. S. 65.

モ國有ノ下ニ一層有效テアリ生産方法カ一層完費少キモノタトスル<sup>29)</sup>

(C) 外國ノ勢力ニ對シテ其國産業ノ維持——(い) 動モスレハ或産業ハ自然ニ任カストキニ外國競争ニ堪ヘスシテ自滅スル外ナイノタカ、政府專賣ノ存スルトキハ、政府カ其内國生産者ニ其引合フタケノ賠償ヲ與ヘテ其存立ヲ保證シ且ツ其產物ノ價格動搖ヨリ生スル困難ヲモ避ケシムル(註一八)。ツマリ内國市場ヲ内國産業ノ爲メニ留保シタコトニナリ(註一九)、斯クテ夫ノ不完全ニシテ時トシテハ過大トナリ又時トシテハ過小トモナル所ノ保護關稅ヨリモ一層有效ナル保護ヲ政府專賣ニヨリテ供スルコトトナル譯テアル(註二〇)。(ろ) 今一ツ其國ノ産業自身ハ自由主義ノ下ニ存立ヲ續ケルトシテモ、外國資本カ來ツテ之ヲ其努力ノ下ニ置クコトカ生シ得ル。政府カ之ヲ避ケル爲メニ專賣ヲ行ヒ得ルコトハ、我國ノ煙草專賣實施當時ノ内情ニ於テ見出シ得ル所タ。

(註一八) えーべるひハ、國家ハ善意ナル且ツ確實ナル買手トナリ、煙草栽培者カ其產物ノ適當ナル時機ニ於ケル賣却ノ心配、及私的商工業者ニ賣ル場合ノ不快ヲ避ケルヲ得ト爲シ、ろつつモ、國家獨占ハ煙草栽培者ニ、其品物ノ販路ニツキ景氣動搖ニ對スル安全ヲ保證スト爲シ、ねーふモ、煙草專賣ハ栽培者ニ確實ナル購買者及良キ價格ヲ齎ラストシ、ぐるんつえるモ、國家獨占カ特ニ小經營者ニ相當價ニ於ケル產物ノ販路ヲ保證スルト爲シ、りつぱーとハ、瑞西及露西亞ノ火酒ノ製造者ニツキテ、政府專賣カ彼等ニ良キ價ヲ保證シタトイフテ居ル。<sup>30)</sup>

29) Conrad, a. a. O. S. 11. Lotz, a. a. O. S. 680. Hartmann, a. a. O. S. 73. 82. 86. Dalton, l. c. p. 129.  
30) Eheberg, a. a. O. S. 491. Lotz, a. a. O. S. 142. Gruntzel, a. a. O. S. 76. Lippert, a. a. O. S. 70.



(註一九) ごりたいんハ、政府獨占ニヨリテ内國市場カ保護サルヲ得ト爲シ、リつばいとハ、瑞西及露西亞ノ火酒製造者ニツキ、專賣カ彼等ヲシテ世界市場狀況ノ影響ヲ受ケシメサルコトトシテ居ル。<sup>31)</sup>

(註二〇) べひとるすはいむハ、獨占(穀物ノ)ガ最完全ナル方法ニテ從來ノ穀物關稅ニ代ルトイフテ居ル。<sup>32)</sup>

(四) 生産消費調節上——ソレカラ生産政策ニモ社會政策ニモ關シテ、二ノモノノ中間ニアツテ重要ナル一ノ觀察點ハ、生産消費ノ關係ノ調和トイフコトアル。處カ今日ノ自由主義ノ下ニ、此關係ヲ保ツコトカ六ツカシク、或ハ生産過多トナリ、或ハ生産不足トナツテ、國民ノ全體ヲ動搖セシメル所タカ、若モ或物ニツキ政府專賣カ出來レハ此調節カ假令完全ニ出來ルトハイヘナイニセヨ、餘程ノ度マテ出來ル。ソシテ經濟界ノ安定ヲ得シムルヲ得ル(註二一)。此モ確ニ一ノ重大ナル利益タ。

(註二一) べらふえるですハ、生産ト消費トカ專賣ノ下ニ、反對ニ動かヌコトカ出來ル。政府專賣ニ於テ、消費ノ大サヲ容易ニ確定スルカラトイフテ居ル。<sup>33)</sup>

(五) 財政收入政策上——(A) 專賣ハ元來、割合ニ收入ノ大イノヲ通例トシ(註二二)、此點ニ於テ財政上望マシキモノテアルノミナラス、(B) 經濟界ノ發展ニヨリテ自然增收モアル所テアリ、(C) 加之、財政需要ノ生シタ場合増率ヲ計ル上ニ、普通ノ税ノ形式ニ於ケル場合ヨリモ一層使タトセラルル(註二二)。此等カライフテモ選ムベキモノタ。

31) Gothein, a. a. O. S. 66. Lippert, a. a. O. S. 70.  
32) Bechtolsheim, a. a. O. S. 43.  
33) Bela Földes, a. a. O. S. 377.

(註二二) ぐらいんうえひたハ、獨占ハ最大ノ收入ヲ收メ得ル課税形式タト爲シ、にべるひモ、專賣カ大收入ヲ期待セシムト爲シ、ぐるんつえるモ、專賣カ財政上、最大ノ收入ヲ生スト爲シ、ねいふハ、煙草專賣ノ目的ハ、煙草ノ多收ナル課税ニアリト爲シ、れういんハ、飲酒ニ對スル戰爭(專賣ニヨル)ハ國庫收入減少セシテ却ツテ増加スト爲ス。<sup>34)</sup>

(註二三) くのハ、大收入ヲ税カラ採ラウトスレハ間モナク負擔ノ限界ニ達スルカラ、結局依ルヘキモノトシテ國ノ生産及商業獨占ノ採用カ殘ルトイヒ、ちすかハ、財政上ノ困難ノ場合ニ、政府獨占カ租税ヨリモ一層容易且ツ一層公正ナル方法ニア多收ニ成形セラルト爲シ、こんらどハ、政府專賣ニヨリテ、單ナル税ニテ可能ナヨリモ一層大ナ收入ヲ一層容易ニ、一層感知少クシテ收メルノ可能カ生スト爲シ、リつばいとハ、凡ヘテノ獨占形式ニ共通ナル點ハ、租税負擔ノ大ナ引上、又ハ此稅源ノ收入増加ノ可能タトイフ。<sup>35)</sup>

(六) 課税技術上——ニモ(A) 其經營管理カ物ニヨリテ一概ニハイヘス、難易區々テアルケレトモ、概シテ六ツカシクナク、又國家ノ經營スルニ於テ特ニ容易ナノモアル(註二四)。(B) 又普通ノ消費税ノ下ニハ密輸入密造ノ多ク行ハレル所タノニ、專賣ノ下ニハ大體此カ少クテ済ムトイフコトモアル(註二五)。

(註二四) 例之、まいるハ、砂糖專賣ノ如キハ技術上ノ實行ニ於テ最小ノ困難アリト爲シ、くのハ、國ノ保險獨占(恐ラク初メニハ唯生命ト火災)又ハ石炭獨占ノ如キハ技術上、煙草獨占ヨリモ一層容易タトイフ。<sup>36)</sup>

(註二五) こんらどハ、獨占及之ニ結付キタル當該物品ニツイテノ有ラユル監督ニヨリテ租税隱匿カ一層容易ニ防カルトイフ。<sup>37)</sup>

34) Kleinwächter, a. a. O. S. 238. Eheberg, a. a. O. S. 425. 461. 491. Gruntzel, a. a. O. S. 76. Naef, a. a. O. S. 185. Lewin, a. a. O. S. 166.  
35) Cunow, a. a. O. S. 26-7. Tyska, a. a. O. S. 291. Conrad, a. a. O. S. 10. Lippert, a. a. O. S. 68.  
36) Mayr, a. a. O. S. 66. Cunow, a. a. O. S. 31.  
37) Conrad, a. a. O. S. 10.



## 第二段 專賣ノ短所

專賣ニハ上記ノ如キ長所モアルカ又短所モアル。

### (一) 官業共通ノ短所<sup>38)</sup>

#### (A) 生産政策上

(い) 民業ニ及ホス影響——或モノヲ專賣トスル爲メニ、其民業ヲ奪ヒ又ハ壓迫スルコトトナリ、隨フテハ國民ノ自立發展ノ氣風ヲ阻喪サセ(註二六)、一般ニ國運ノ發展ヲ妨クルトイフコトカアル。併シ此點ハ實ハ左マテ強イ缺點テハナイ。民業ヲ奪フトイフケレトモ或度マテハ從來自主的ニ從事シタ人々カ政府ニ仕ヘテ仕事ヲ見出スコトヲ得ルシ、其レテハ自主的テナイカラ奮發心カ足ラヌテアラウトモイフカ、民業テモ近頃ハ一般ニ集中的トナツテ大規模民業ノ下ニハ、多クノ者カ役人的ニ從事スルコトトナルノタカラ、國營トナル爲メニ、各人ノ自主心ヲ傷ケルトイフコトハ大シタモノテハアリ得ヌ。

(註二六) こんにらどハ、私營業ノ大ナル制限ハ大ナル度ニ於テ國民經濟上ノ發達ヲ妨ケ、其大ナル擴張ニ於テ企業精神ヲ不具トスル爲シ、えーべるひハ、專賣ノ利用カ、私經濟的行爲ノ壓迫、諸多ノ存立可能ノ排除ヲ意味スト爲

38) 拙著、租税研究、一卷 I 以下。Taquet, l. c. p. 3.

シ、ちすか、ろつつ、べらふゑるです、げつつ、えらす等、類似ノコトヲイフ<sup>39)</sup>

### (ろ) 官民經營上ノ弱點

(1) 不經濟的タルコト——官吏ノ仕事振リハ民間經營ノ場合ヨリモ大體、多費トナルノ傾カアル(註二七)。其レハ其手續繁雜トカ積極的責任自覺ノ缺乏トカニ因ルノテアリ、機敏ヲ缺キ物ノ賣買ニ適當ナ時機ヲ逸スルトイフコトナトニモ因ル。

(註二七) じにんせんハ、獨占公營業ハ通例、不經濟ナル徵稅者タト爲シ、げつつモ、營業ヲ行フニツイテ國家ノ經濟上ニ不能トイフコトカアルト爲シ、ぐるんつゑるモ、公營ニハ簡人的成果ノ刺戟ヲ缺クカラ、此カアマリニ厄介ニシテ多費トナルトイヒ、ちすかモ、穀物專賣ニツキ其多費ノ缺點ヲ遺憾トシ、ごーたいんモ、鑛山ノ國家獨占ニツイテ其收益ノ私營ノ場合ト同丈タリ得ルヤハ疑問タト爲シ、れういんモ、露國火酒專賣ノ最大ノ缺點ヲ其ノ經營ノ官僚的ナルコトニ認メタ<sup>40)</sup>。

(2) 品物ノ不良ナルコト——官業ニテハ兎角、姑息ニ流レ改良ヲ怠リ(註二八)、結局其供スル物カ不良テアリ、又單調ナモノトナリ終ル嫌カアル(註二九)。

(註二八) ぶあいふあーハ、政府獨占ニハ改良進歩ノ止マルトイフ缺點アリトシ、たつけーモ、國家ノ工業管理ハ不十分テアツテ、當ニ必要ナル改良及公ノ必要ニ後レルト爲シ、こんにらどハ、競争ヲ排除スルコトカ弛緩ト其日送リトニ導クト爲シ、だるとんモ、私有ノ方カ發展上、一層大ナ刺戟ヲ與フトイフ<sup>41)</sup>。

(註二九) えーべるひハ、專賣製品ニ自由工業ノ製品ヨリモ一層不良ニシテ單調ナルノ傾アリトシ、べらふゑるです

39) Conrad, a. a. O. S. 11. Eheberg, a. a. O. S. 425. 490. Tyszka, a. a. O. S. 291. Lotz, a. a. O. S. 680. Bela Földes, a. a. O. S. 376. Getz, a. a. O. S. 22. Eras, Das Branntweinmonopol, S. 9-10.  
 40) Jensen, Public finance p. 140. Getz, a. a. O. S. 24. Grunzel, a. a. O. S. 102. Tyszka, a. a. O. S. 328. Gothein, a. a. O. S. 27-8. Lewin, a. a. O. S. 151. 拙著、租税研究、一卷 505.  
 41) Pieffer, Staatseinnahmen, I. S. 182. Taquet, l. c. p. 4. Conrad, a. a. O. S. 11. Dalton l. c. p. 129. 拙著、租税研究、一卷 505.



モ、國家ハ競争ヲ逃レテ經濟上ノ機能ヲ不良ニ行ヒ、劣等品ヲ生産シ、需要ヲ充足シ、商業ニ於テ從來慣レタルヤウナ愉快ヲ供セス、價レタル親切ヲ示サス、要スルニ不完全ニ其任務ヲ果タスト爲シ、えらすハ、專賣ニテハ貧民ニハ及ヒモ附カサル若干ノ高價ナ外國品ヲ別トシテハ唯、普通ノ單純ナ火酒及混成火酒ノノミヲ供スルコトトナルト爲シ(即チ中等品ヲ缺ク)、じえんせん、ろつつ、ちすか、等、專賣品ノ不良品質ノ缺點ヲ舉ク<sup>42)</sup>

(3) 輸出入ニ關スル無力——官業テハ内地關係ハマダ何トカ行ケルケレトモ、對外輸出入ニ付テハ到底、民業ニ及ハヌ。斯クテ(a)其專賣品カ輸出品ニ屬スル場合ノ如キ政府ノ專賣ニ移サルルトキニ、到底、民業ノ場合ホトニ其輸出ヲ進メルコトハ出來ナイ。全ク不能テハナイカ、比較的不利トナルコトヲ覺悟シテ掛ラナケレハナラナイ(註三〇)。尤モ世界的ニ獨占的地位ヲモツ物ハ別テアル。(b)其力大ニ輸入ニ待ツ場合ニモ政府ノ手ニヨリテ行ハルルトキニ、民業ノトキヨリモ比較的高クツクコトニナルトイフ傾カアツテ(註三一)、其カ内地重要産業ノ原料タル場合メ如キニハ特ニ不利トイフコトニナル。尤モ此終ノ場合ニ特別廉價供給トイフ途ハ立タヌコトハナイ。

(註三〇) 二一べるひハ、一大生産力大ナル輸出ニ進ントキニハ、政府獨占ハ之ニ損害ヲ齎ラスト爲シ、べひとるすはいむモ、獨占行政ニヨリ直接實行ニ於テ、輸取出引ノ展開カ困難トナルト爲シ、たつけーハ、煙草輸出ノ爲メニ行政ノ爲シタル凡ベテノ試ハ當ニ無効テアツタトシ、ねーふハ、專賣ノ下ニ輸出力從來ノ高サヲ維持シ得ルヤ疑

42) Eheberg, a. a. O. S. 490. Bela Földes, a. a. O. S. 375-6. Eras. a. a. O. S. 8. Jensen, l. c. p. 141. Lotz, a. a. O.S. 616. Tyszka, a. a. O. S. 291.

ハシト爲ス<sup>43)</sup>  
(註三一) べひとるすはいむハ、國家ノ專賣行政ニヨリ直接外國ヨリ輸入スルトキニハ、此力大ニ困難テアル。外國ヨリノ穀物輸入ニハ非常ナル經驗ト智識ト人的營業關係トヲ要スルノニ此力國ノ機關ニハ適シナイトイヒ、ねーふモ、煙草專賣ニ於テ、外國輸入品ニツキ民業ヨリモ安ク買入レ得ルヤニ疑アリト爲ス<sup>44)</sup>

(B) 政治上

(い) 政黨勢力ノ惡用——今日ノ文明國ノ如ク政府カ政黨ニヨリテ組織サルルトキニ、政府ニ專賣事業アレハ、之ニ政黨勢力ノ及フコトニヨリテ政治ヲ腐敗セシムルトイフ恐カアル(註三二)。政治道義ノ進歩ト輿論ノ嚴重ナル監視トカ之ニ對シテ望マシイ。

(註三二) えーべるひハ、煙草獨占ニ關シ、國家ノ政治上ノ力カ彼ニ從屬スル人ノ大ナル數ニヨリテ危險ナル方法ニテ増大スルコトトナルトイフテ居リ、ろつつモ、類似ノコトヲイフカ、其ハ專賣業關係方面ノ人々ノ多數ナルヨリシテ、其ニ政府カ不當ナル選舉干涉ヲモ行フコトヲ見テ居ルノタカ、此事業ノ運用ニヨリテ政黨勢力ノ擴張ニ使フコトカ出來ルトイフコトモアル。

(ろ) 議會監督權ノ無視——專賣事業ニ於ケル値上ガ租税改正ノ如ク、議會ノ協賛ヲ要セヌ所カラシテ、專賣ノ存立カ政府ヲシテ議會ノ監督ヲ輕視シテ仕事ヲ爲サシムルコトトナルノ傾モアル(註三三)。

(註三三) ろつつ、こんらーど此點ヲ指摘 居ル<sup>46)</sup>

43) Eheberg, a. a. O. S. 462. Bechtolsheim, a. a. O. S. 28. Taquet, l. c. p. 5. Naef, a. a. O. S. 116. 拙著、租税研究、一卷 505.  
44) Bechtolsheim, a. a. O. S. 25. Naei, a. a. O. S. 114.  
45) Eheberg, a. a. O. S. 490-1. Lotz, a. a. O. S. 680.  
46) Lotz, a. a. O. S. 680. Conrad, a. a. O. S. 11.



(C) 財政上

(い) 專賣創設ニ際シ——民業ノ買收ノ爲メニ面倒カアリ又相當大ナル費用ヲ要ストイフノ厄介カアル(註三四)。尤モ此カ忍ヒ得ヌトイフホトテハナク專賣ノ設定カ全體上有利トイフコトニナレハ、之ニモ拘ラス行フタラ良イ。尤モ此ヲ行フニハ當該事業好況ノ時ヲ避ケ、多小不況ノトキヲ選ムノカ肝要タ。

(註三四) 此等ノ困難ニツキろつ、ぐるんつえる、リつばーと注意ス。<sup>47)</sup>

(ろ) 專賣經營中——ニハ專賣事業ノ固定資本ノ存立カ何ホトカ其國政府ノ信用ヲ大ナラシムトイフコトノ利益ハアルカ、併シ反面ニハ所詮、其國々債カ其專賣ヲ創始スルトキニ、其固定資本ノ額タケ多クノモノヲ増大シテ居ルテアラウカラ、之ニテ差引カレテ、特ニ舉クルニ足ルモノテハナイ。ムシロ之カ經營中、其運轉資金ノ爲メニ、公債ニ依ラナケレハナラヌタケ、其國ノ公債信用ノ他位ヲ不利ト爲シ、公債政策ノ遂行上、何程カノ支障トナル。特ニ或國ニテ公債ニツキ借換事業ヲ必要トスルノ事情ニアル場合ノ如キニ、專賣事業ヲ新ニ加フルコトハ、此政策ノ邪魔ヲ爲ストイフコトモアルヲ忘レテハナラヌ(註三五)。

三五)。

(註三五)

ゴーたいんハ、鑛山ノ國家獨占カ、高利ノ戰時債借換事業ヲ困難ナラシムルコトヲ注意ス。<sup>48)</sup>

(二) 各業ニ特有ナル短所——消費税トシテノ專賣トナルト、第一ニハ消費税ノ物體トシテ適當ナルモノタルコトヲ要スルノハ勿論テアルノニ(註三六)、其ハ現在、消費税ノ物體トシテ選マレタモノニテモ之ヲ充タス程度一様テナク、之ニ不適當ノ分子ノ大ナルモノハ專賣トシテモ拙イモノトシナケレハナラヌ。第二ニハ假令右ノ條件ニハ適ウトシテモ、物件、事業其モノノ性質上、官業トスルノニ不適當トイフコトカアル。例之、第一條件ニ現行ノ我カ消費税ハ大體之ヲ備フルトシテ、第二條件ノ程度同シテナイ。煙草ノ適當ナノハイフヲ待タストシテ、酒ニハ貯藏難カ支障トナル。織物ニモ貯藏ノ爲メノ價值減少ノ甚シキコト流行變遷、嗜好複雑ノ爲メノ取扱難、工場ヲ買收スルトシテノ、アマリ多クノ人ノ經濟ニ及ホス影響、單ナル販賣ノミヲ獨占トスルトシテアマリニ多數ノ人々ヲ相手トスルコト、其カアマリニ多クノ地方ニ分散スルコトナトニ厄介カアル。比較的無難ナノハ麥酒ト砂糖トノ專賣テアル。

(註三六) げつつハ、其物カ必需品テナク併シ一般ニ廣ク享受セラレ隨ツテ大ナ分量ニテ消費セラルル物カ獨占ニ適スルトイフ。<sup>50)</sup>

48) Gothein, a. a. O. S. 73.

49) Jensen, l. c. p. 142.

50) Getz, a. a. O. S. 26.

47) Lotz, a. a. O. S. 590. 681. Gruntzel, a. a. O. S. 77. Lippert, a. a. O. S. 72.



## 結 論

以上要之、專賣ニモ缺點モアリ、重大ナル缺點トモイフヘキモノモアルカラ、輕卒ニハ判斷シ兼ネルケレトモ、併シ長所ニ重大ナルモノモアツテ、其ガ前者ヨリモ一層重大トイヘルノタカラ、我國ニテモ之ヲ擴張シタラ良カラウト思フ。其ニヨリテ租税公正上ノ根本的要求ヲ充タシ、財政收入上ノ利ヲ收メ、社會政策、將タ教育及衛生政策ノ要求ニモ應セシムルコトカ出來ルテアラウ。斯クテ少シク詞カ強過キル嫌ハアルケレトモ、消費税ハ其理想的課税方法又バ形式ヲ專賣ニ見出ス(註三七)トイフテモ良イヤウテアル。

(註三七)

(1) まいるハ、消費税支拂カ實際ノ消費、實質的ニ接近スルノ進展カラシテ、消費課税ノ租税技術ノ理想トシテ獨占カ現ハレタト爲シ、ぶれーんハ、獨占形式ハ、間接税方法トシテハシ著ク容易、便宜、且ツ成功的ノモノト見出サレタト爲シ、ぐるんつたるモ、煙草專賣ニ關シ、獨占カ課税ノ最有效ナル方便ヲ供ストイフ<sup>51)</sup>

(2) 尤モ反對ノ見解モアル。例之、らつつハ、或物ノ製造及販賣ノ國家獨占ハ、公收入ノ重要ナル源テハナイ。又恐ラク決シテ重要ナ源トナラヌテアラウトイヒ、べらふえるてすハ、獨占ハ課税方法トシテハ唯、用心深ク且ツ例外的ニ適用ヲ見出シ得ルコト疑ナシト爲シ、えらすモ、獨占主張者ノ勝利ハ、一時的ノ其ニ止マルテアラウトイフテ居ル<sup>52)</sup>

- 51) Mayr, a. a. O. S. 65. Plehn, Public finance. 4 ed. p. 75. Gruntzel, a. a. O. S. 76.  
52) Lutz, Public finance. p. 189. Bela Földes, a. a. O. S. 376. Eras, a. a. O. S. 32.

## 第十一篇 消費税ニ於ケル砂糖税ノ地位

## 緒 言

消費税、特ニ通例行ハルル多衆民ノ消費スル箇々ノ物ニ課セラルル其ハ、本來公正ニ適フタモノテハナイ(註二)。タタ其ニ財政收入上、課税技術上等ニ重大ナル長所カアルノテ、少クトモ現代ノ國家ノ財政ニハ缺クヲ得ストセラルルノミナノテアル。既ニ此カ一般ニ國ノ財政ニ承認サルル以上ハ、其中ニ砂糖税ノアルノハ必然トモ見ユルノテアルカ、併シ又此カ或度マテ有ラユル人々、隨ツテ如何ナル貧乏人ニテモ消費セラルル、謂ハハ必要物ニ對スル税トモイヒ得ルノテ、之ヲ課スルトキニ、通例ノ消費税ニ於テ避ケ難キ不公正ヲ増長スルノテハナイカトモ見ラルル。其處テ之カ課否並ニ之ヲ課スルトシテ其高サ如何ハ一ノ問題テナケレハナラナイ。最近(大正十五年)ノ我邦ノ租税大改革ニ際シ幾多ノ必要的消費品ノ税ヲ全廢シタルニモ拘ラス、砂糖消費税タケハ其儘ニシタ。之ヲ廢シナカツタノミテナク、高サモ舊來ノ儘トシタ。此ハ當時其ヲ當然ト認メタカ爲メトイフヨリハ今少シ之ニツキ慎重ニ考究シタ上テ決シヤウトシタノテアル。タカラ此税ノ當否及其高サニ就イテ



今茲ニ研究シテ見ルノハ學問上重要ナノミテナク、時務ノ解決ニモ意義アリト信スルノ故ニ、之ヲ敢テスルモノテアル。

(註一) 消費税ノ不公正ニツイテハ諸多ノ學者之ヲ説ク。尤モ消費税カ如何ナル形ニ於ケルモノテモ然リトイフノハ酷テアツテ、其カ普通ノ形ニ於ケルモノニ對スルノ批評タルコト勿論テアル。例之、まいるハ、學問界テハ夙ニ、間接税カ富者ニ有利、貧者ニ不當ノ負擔トイフ觀念カ優越ストイヒ、くらいんうえひたーハ、間接消費税カ各個人ヲ唯頗ル不精確ニ其給付能力ニ應シテ課税スト爲シ、えーべるひモ、消費税カ一般ニイヘハ、下層階級ヲ富者階級ヨリモ一層高キ度ニ負擔セシムルコトニ疑アリ能ハスト爲シ、ちすかハ、其カ大量品ニ課セラルルタケテハ公正原則ニ適ハストイヒ、じえんせんモ、廣ク用キラルル物品ヘノ内國消費税ハ其使用者ノ所得ニ對シ累減的タト爲シ、てあはるれハ、うおるふノ言ヲ引イテ、間接税ハ勞働者ニトリテハ、租税不公正ノ化身タトイフコトカ定理トナツタトマテイフテ居ル。

實際ニテハ英國テハ消費税反對ノ考カ一般ニ強ク、今モ税ハ主トシテ直接税カラ取ルヤウニシテ居ルノハ、此輿論ヲ尊重シテ居ルカ爲メタ。歴史的ニイフト、一七七三年わるぼーるノ内國消費税案當時、之ニ對スル輿論ハ、奴隸ナク、内國消費税ナク、木靴ナキノ時代トイフコトヲ要求シタホト、消費税カ不評判テアリ、遂ニわるぼーるヲシテ、血ノ犠牲ニ於ケル税ヲ取ル大臣タルヲ欲セストイハシメタコトカアル。

### 第一段 砂糖税ノ妥當

砂糖税ハ現代ノ國ノ消費税中ニ其地位ヲ承認シ得ルモノテアル。其理由ハ左ノ通りテア

ル。先ツ以テ、

#### (一) 公平課税及社會政策上

(A) 其課税物件カ今日ノ時世テハ殆ント凡ヘテノ人ノ消費スルモノテハアルカ、必要品トイヒ得サルモノナルコトニ於テ(註二)、其存在カ認メラルル。必要品トイヒ得サル物テモ其カ極少數ノ人ニノミ需要セラレルモノテハ收入上ノ目的ヲ充タサス、随ツテ消費税トシテ價値少キモノトナルノタカ、此砂糖カ必要物テナクシテ、而カモ多クノ需要者ヲ持ツコトカ恰カモ消費税ノ物件トシテ選マルル所以テアツテ、酒、煙草ト相待ツテ消費税トシテハ缺クヲ得サルモノトセラレル(註三)。尤モ一物ノ必要ト否ト、一般的使用ニ屬スルト否トハ、各國ノ自然的ノ氣候風土ニモ係ルシ、社會的ノ風俗慣習ニモ因ルノテアツテ、一概ニハイヒ兼ネルコトタカ(註四)、文明國テハ通例砂糖ハ益々廣ク且ツ多ク消費セラレル所テアルシ、而カモ此カ酒煙草ニ比シテハ不要ノ程度ノ低イタケ(註五)、消費税ノ物件トシテ劣ル譯テハアルカ、併シ又齊シク一般的大量ノ消費品テモ鹽ヤ米穀ナトニ比シテハ遙カニ不要ノ程度カ高イタケニ(註六)、消費税ノ物件トシテ此等ヨリモヨリ多ク適當シテ居ル。鹽ヤ穀物穀粉ヤハ必要度ノ高イモノテ、之カ課税ニヨリテ下層民ノ生活ヲ苦シメ能力ニ應シタ

1) Mayr, Zur Theorie der indirekten Steuern. S. 23. Kleinwächter, Fw. S. 213. Eheberg, Fw. 18 & 19 Aufl. S. 523. Tyszk. Fw. 2 Aufl. S. 261. Jensen, Public finance. p. 181. Terhalle, Steuerlast und Steuerkraft. S. 51.  
2) Shirras, Public finance. p. 378.



課税カ出来ストイフノテ、之ヲ躊躇スル所テアルカ、砂糖ニ至リテハ之ニ含ム成分ハ他ノ食料中ニモ含有セラレテ、之ナシニテモ生活シ得ストイフホトテナク、鹽ヤ穀物テハ人カ、其ノ消費量ヲ節シ難イノタカ、砂糖ナレハ人カ其任意ニ、之カ消費量ヲ伸縮シ得ルシ、随フテ税ヲ擔フ度合ヲモ伸縮シ得ル所テアル(註七)。タカラ之ニ課税シタ爲メニ、其タケ之カ價カ高クナルトシテモ、其爲メ貧乏人ノ生活ヲ壓迫ストイフホトノコトハナイ(註八)。全ク彼等ニ不利ヲ與ヘヌトハイヘヌケレトモ、其ノ之ヲ與フル程度ノ輕イモノトハイヒ得ル。即チ之ニヨリテ此税カ承認セラルルノテアル。又此税ノ爲メニ貧乏人ノ生活ヲ壓迫シ、其勞働能率ヲモ低クスルタケテハ、或程度マテハ勞働者ノ最低賃金ヲ高ムルコトヲ得シメテ、其負擔ヲ企業者ニ、随ツテハ又消費者ニ轉嫁スルコトカ出来ルコトモアリ得ル(註九)。

(註二) (1) ぼーりゆーハ、砂糖税カ國庫ノ注意ヲ引クニ至ツタノハ、一ハ此砂糖カ絶對ニ必要ナ物品テナイコトダト爲シ、ぶあうハ、砂糖税ヲ以テ相對的ニ不要ナ物ノ税ト爲シ、こんらーどモ、今日マテハ此カ唯タ享樂方便テアツテ、必要ナル食料トハ見ルヘカラスト爲シ、えーべるひハ、砂糖ヲ以テ一般ニ消費サルルモ必要ニ屬セサル物ノ税ト爲シ、ちすかセ、砂糖税ヲ以テ、一般的ナレトモ切ニ必要タラサル生活需要ノ上ニ課スルモノト爲ス。此等ハ砂糖カ必要テナイトイフコトニ重キヲ置クモノテアル。<sup>3)</sup>

3) Beaulieu, Traité de la science des finances. 5éd. I. p. 687. Pfau, Industriepolitische Gesichtspunkte in der Besteuerung. S. 65. Conrad, Fw. 9 Aufl. S. 182. Eheberg. a. a. O. S. 424. Tyszka, a. a. O. S. 261-2.

(2) 處テ其ノ一般的ノ消費品トイフコトニ重キヲ置イ 此課税ヲ認ムルカアル。例之、けつべハ、砂糖ハ一般的ノ營養方便トシテ適當ナ租稅物件ダト爲シ、しえふれーハ、砂糖 良キ一般的ナル國民營養材料ダトハイヘ、又然ルカ故ニ有力ナ課税品テアリ、少クトモ今日ノ狀態テハ歐大陸諸國ノ斷念シ得サルモノダトイフ。<sup>4)</sup>

(註三) (1) 例之、しるらすハ、近代内國消費税ノ主タル特徴ハ葡萄酒 火酒、砂糖、煙草税ニ與ヘラレタ大ナ重要トイフコトダトマテイフ。ソシテぼーりゆーハ、消費税ヲ其效用又ハ無害ノ順序ニテ分級スレハ、最廉ムヘキハ煙草税、次キハ火酒税、次キハ珈琲税、次キハ砂糖税、次キハ鹽税、終リニ麥酒葡萄酒清涼飲料税ダトイフ。<sup>5)</sup>

(2) 處カ砂糖ニ重キヲ置カヌガアル。例之、ばすてーぶるハ、殆ント凡ヘテノ國ニテ酒精ト煙草トカ間接税收入ノ重ナルモノヲ成スト爲シ、まいんハ、砂糖ヲ以テ多少必要ナ物ト爲シ、古ヨリ及凡ヘテノ世界ニテ、酒類ト煙草トカ消費税ノ自然的主タル範圍テアツテ、大量消費ノ必要品、例之、鹽及、多少、砂糖ヘノ間接税ノ擴張ハ危險メトマテイフテ居ル。<sup>6)</sup> 併シ砂糖カ彼ノイフ如ク多少必要物ノ中ニ入レルルニセヨ、之カ穀物、鹽ホトニハ必要テナイノタカラ、之位ノモノノ課税ハソソナニ危險ナトイフニハ及フマイ。ムシロリすなーカ、享樂方便税ニ依ル民衆ノ課税ト奢侈税ニ依ル富者課税トカ帝國財政政策ノ中軸トナルテアラウトイフノカ、實際的テアリ、事態ノ真相ヲ擲ンテ居ル。砂糖税ハ此民衆税トシテ一ノ意義ヲ有ツ。

(註四) えーべるひハ、此分類(人ノ慾望満足ニ對スル課稅物件ノ地位ニヨル、即チ必要ト否ト)ハ時ト處トニヨリテ異ル。昔ニ全國民及各階級ノ風俗慣習即チ一般文化狀態ノミテナク、氣候ノ純然的事情カ或物體ノ何レニ入ルヘキカヲ決スルトイヒ、ばすてーぶるハ、租税ノ多收ナ物體(其カ一般ニ廣ク消費サルルヤ否ヤニ係ル)ハ何レノ國ニテモ同ナノテナイ。各ノ社會ノ趣味ト慣習トカ十分ニ考慮サレナクテハナラヌ。然ラサレハ收入不満足トナラウトイヒ。ぼーりゆーハ一例トシテ、英國テハ茶カ一般的飲料テアツテ、其茶ニハ又、砂糖ヲ入レナクシテハ消費サレ

4) Köppe, Fw. S. 91. Schiffe, Steuern. B. T. S. 274.  
5) Sherras, l. c. p. 377. Beaulieu, l. c. p. 707.  
6) Bastable, Public finance. 3 ed. p. 512. Mayr, a. a. O. S. 18.  
7) Lissner, Die Zukunft der Verbrauchssteuern in Deutschland. S. 56.







勿論ノコト、絶對的ニモ多ク擔ハルル傾ヲ有テ、不公平ナルモノトナラサルヲ得ヌカ、砂糖税ハ之ト趣ヲ異ニシ、假令、此ニテモ富ノ度ニ應シテ之ト並行シテ富者ヲ重ク課スルトハイヘナイニセヨ(註一三)、大體、富者カ貧者ヨリモヨリ多クヲ擔フコトトナルタケハ爭ハレナイ。其レタケニテ此税カ米鹽税ニ勝ル。又之ニツキ酒煙草税ニモ勝ルトイフコトスラアル。酒煙草タト人ニヨリテハ富者テモ全ク消費セヌトイフコトカアリ、ソシテ貧者テモ之ヲ非常ニ嗜ムトイフコトカアツテ、甚シキ不公平課税トナリ得ル(註一四)。然ルニ砂糖タト富者モ貧者モ齊シク消費シ、富者ニシテ全ク之ヲ消費セヌトイフコトハナク、貧者ハ自ラ富者ヨリモ大體ニ於テ消費量カ少ク、劣等ナ物ヲ消費スルトイフノテアツテ、恐ラク貧富ニ應スル上カライヘハ砂糖税ハ酒煙草税ニモ勝ルモノテアル。

(註一〇) (1)量ニ於テ貧者ヨリモ富者ノ砂糖消費ノ多キコトニツイテハ、例之、こんらーどハ、砂糖ハ富者ニ於テ貧者ニ於ケルヨリモ相對的ニ一層大ナ量ニテ消費セラルト爲シ、えーべるひモ、砂糖ノ消費ハ多少租稅力アル所得ヲ示メス。一家族カ一層多ク富ムニ從ツテ、平均的ニ一層多クノ消費ヲ爲ス方法ニテ然リト爲シ、ちすかモ、砂糖ハ特ニ富者階級ニ於テ廣ク用キラルル營養方便ナタケニ於テ良キ租稅物體タト爲シ、ぼーりゆーモ、凡ヘテノ消費税中ニテ砂糖税ハ概シテ擔稅者ノ財産ト最多ク釣合ヲ保ツタモノテアル。少クトモ人カ熱キ飲物ヲ用キサル佛國ノヤウナ國テハサウタトイフ。<sup>15)</sup>

15) Conrad, a. a. O. S. 182. Eheberg, a. a. O. S. 480. Tyszka, a. a. O. S. 270. Beaulieu, l. c. p. 686.

(2)實ニ於テ富者カ大體ヨリ良キモノヲ用キルコトハ事實テアツテ、之ニ應シテ我國ノ砂糖税ノ如キモ税額ヲ等差ツケテ居ルガ、此ハヤカテ應能課税ニ適ウテ居ル。ソシテ之ニツキえーべるひハ、税率ヲ物ノ品質ニヨリ分級シ、隨フテ一層價值アル物ヲ同種ノ一層價值少キモノヨリモ一層、高ク課税スルコトカ達スレハ達スルホト公平ヲ増ストイフテ居リ、くらゐんうえひたーモ、稅カ物ノ量ニヨリ、又出來レハ物ノ品質ニヨリテ測定セラルル。斯クテ富者ハ通例、貧者ヨリモ一層多ク且ツ一層良キ種類ノモノヲ消費シ、隨フテ一層多クノ稅ヲ拂フコトテ、公正原則カ行ハルコトトナルトイフテ居ル。<sup>16)</sup>

(註一一) 内務省ノ十年十一月ノ細民窟ニツイテノ調査ハ、三十圓未満ノ所得者、四十圓未満ノ者、五十圓未満ノ者、六十圓未満ノ者、七十圓未満、八十圓未満、九十圓未満、百圓未満、百二十圓未満、百五十圓未満、百五十圓以上トイフ如クニ細イ階級ヲツケテ調ヘタノタカ、此ニテハ砂糖消費ノ一世帯平均食料費ニ對スル割合カ必スシモ收入ノ額ニ隨伴セストイフ結論ニ達シタノテアルカ、併シ所得階級ヲ大ク刻ンテ大觀スレハ、富者ノ方カ良キ物ヲ且ツ多量ニ消費ストハイヘルテアラウ。

(註一二) 此點ハ私ノ古イ論文ニテ詳ク説ク所タカ、尙ホえーべるひハ、麵包及鹽ノ如キ必需品ノ稅ハ人頭稅トシテ働キ、下層社會ヲシテ富者ヨリモ絶對的ノミナラス相對的ニモヨリ高ク負擔セシムト爲シ、くらゐんうえひたーハ、富者ハ單純ナ日雇労働者ヨリモヨリ多クノ鹽ヲ消費シナイトイフテ居ル。<sup>17)</sup>

(註一三) 前出註一參照。尙ホくらゐんうえひたーハ、此ノ如キ稅(砂糖税ヲ含ム)ニヨリテ下層社會カ富者ヨリモ一層重ク負擔セシメラルト爲シ、しるらすハ、労働者ノ家計豫算ニテ、砂糖ナトノ如キ間接稅ヲ課セラレル物ヘノ消費ハ富者ノ家計豫算ニ於ケルヨリモ相對的ニ一層大イトイフテ居ル。<sup>18)</sup>

(註一四) しるらすハ巧ミニ之ヲ説明シテ居ル。曰ク、酒飲ハ必スシモ良キ納稅者テハナイ。何トナレハ彼ノ働キカ

16) Eheberg, a. a. O. S. 421. Kleinwächter, a. a. O. S. 220-1.  
 17) 拙著、穀物關稅論 167. 以下。租稅研究、第一卷、466. 以下。Eheberg, a. a. O. S. 421. Kleinwächter, a. a. O. 421. Kleinwächter, a. a. O. S. 313.  
 18) Kleinwächter a. a. O. S. 214. Shirras, l. c. p. 347.



不良テアリ、彼ノ家庭力貧乏テ彼ノ家族カ必要品ヲ買フ金ヲ有タナイトイフコトカアルカラト。<sup>19)</sup>

(C) 其課税物件タル砂糖カ消費者ノ所得ノ増減ニ應シテ、消費量ヲ増減シ調節シ得シムルモノタトイフコトニ於テモ、此税ノ存立カ承認セララルル(註一五)。此事ハ鹽ヤ米テハ六ツカシイ。酒ナトテモ一旦之カ使用ノ慣習ヲ作ルト、此事カ行ハレ惡イ。随フテ所得ノ多カツタトキニ相當テアツタ其税ノ負擔モ、所得ノ減シタトキニ過大ナル負擔トナリ終ラナクテハナラヌ。然ルニ砂糖ナレハ所得カ減スレハ消費物ノ質ヲ落シ量ヲ減シテ之ニ順應スルコトカ比較的ニ容易テアリ、此點ニテモ砂糖税カ一層多ク能力ニ應スルモノトナリ得ル。完全ニ然リトイフノテハナイカ、或度マテ然リトイフテ可イ。

(註一五) スクテエーベるひハ、立法ノ努力ハ通例、納税義務者(又ハムシロ租税指定者)ニ其消費ヲ其所得及税ノ高サニ應シテ屈伸スルヲ得シメ、随フテ其租税力ノ割合ニテ或ハ負擔ヲ免レ又ハ負擔スルヲ得シムルカ如キ物體ヲ選マウトスルニアリトイヒ、まいるモ、所得成形ノ動搖ニ最大ノ適應性ヲモツカ如キ物品ノ大量消費ノ存スル處ニ、此課税ノ最大ノ發達能力アリトイフ。<sup>20)</sup>

(二) 課税技術上

(A) 課税物件ノ生産者カ少数且ツ大規模タルヲ通例トスルコトカ、此税ヲ生産者ニ就イテ

又ハ生産者ヨリ出テ行ク處テ課スルコトヲ便ナラシメル。即チ課税ノ便宜ニ適ウ(註一六)。尤モ我邦テモ大島其他ナトニハ小サナ生産者モアルカ其モ全國ニ亘ツテ小イノカアルノテナク、或少数ノ地方ニ集中シ偏在シテ居ルノタカラ取締ハ割合ニ面倒テナイ。又可ナリ大ナ生産者モアツテ、其等ハ徵税カ最樂テアル。酒ノ生産者ノ如ク廣ク分散シ、織物ノ其ノ如ク廣ク分散シ而カモ數ノアマリニ多キモノニ比較シテハ、ムシロ取り易イモノトイフテ良イ。勿論此點ニ於テ麥酒ハ最モ好都合テアリ、砂糖ハ到底之ニ及フコトハ出來ヌカ、併シ其他ノモノニ比シテハ、ソシテハ、ソシテハ不利ナモノテハナイ。

(註一六) けつべハ、砂糖ヲ以テ少数ノ場處ニ大經營的ニ生産セラルルモノトシテ適當ナ課税物件タトシ、ちすカモ、砂糖生産カ通例大ナモノテ行ハレ、随ツテ其課税カ、詐欺ヲ行ハレシメスシテ、容易ニ實行サルルタケテモ、砂糖カ良キ課税物件タトイヒ、にべるひハ、其徵收カ一般ニ、容易且ツ確實ニ行ハルルトイフ技術上ノ長所ヲ有ツ。其ハ砂糖工場カ唯大ナル設備ニ依リテノミ行ハレ、又工場カ割合ニ少イカラトイフ。<sup>21)</sup>

(B) 物件其モノノ状態モ大量ナモノテ隱匿容易ナラス且ツ品質差等ノ鑑別モ大體色相其他ノ方法ニテ六ツカラシカラストイフコトモカ此税ヲシテ辯護セシメル(註一七)。例之、寶石ナトイフ少量貴重ナモノハ隱匿ノ容易ナ爲メニ課税物件トシテ不適當トイフコトニナル

21) Köppe, a. a. O. S. 91. Tyszka, a. a. O. S. 270. Eheberg, a. a. O. S. 481.

19) Shirras, l. c. p. 377.

20) Eheberg, a. a. O. S. 421. Mayr, a. a. O. S. 18.



カ、砂糖税ニハ勿論ソナコトハナク、ソレカラ品質ノ鑑別、差等附カライフモ、例之、織物ナトニナルト非常ニ複雑テ始末ニオヘナイ。酒ナトテモ品等ノ區別ハ決シテ簡易テハナイ。然ルニ砂糖ハ大體、其色相形體カラ差等ツケカ出來ル。此ニテモ或場合ニハ納税ニ際シ色ツケヲシテ又後ニナツテ色消シヲスルトイフコトナトカ行ハレテ不都合トイフコトハアルカ、其ハ分類方法ノ注意ニヨリテモ避クルコトカ出來ヤウ。テ階段ノ作り方ハ改メナケレハナラヌカ、ソシテ其結果モ精密ニイフテハ不公平タトイフコトモアルカ、元來カ消費税ハ他ノテモソウテアルカ、精密細微ナル公平ハ望メヌモノテアツテ、此ノ如キハ怨スルニ足ル。此ニ於テ粗雑ナカラモ或度ノ品質等差附ノ課税ノ出來ルノカ、ムシロ此税ノ長所トスヘキテアリ、其ノ粗雑ナ差等別ナレハ此ニ於テモ確カニ出來ルノテアル。

(註一七) ちすかハ、租税ハ砂糖ノ品質ニヨリテ分級サルルコトカ出來、隨フテ各人ノ經濟的給付能力ヘノ適應カ可能ナタケニ於テ、砂糖カ良キ課税物件タトイフテ居ル<sup>22)</sup>

### (三) 財政收入上

(A) 收入額ノ豊富ナルコト——ヲ此税ノ特色トスル。其ハ實ニ此物件カ一般の大量的消費品テアルノト、徵税カ比較的容易ナノトニヨルノテアル。換言スレハ物件ノ多量ニアルコ

22) Tyszka, a. a. O. S. 270.

ト、徵税費ノ多カラサルコトニ因ルノタ。實ニ此税ハ公平課税ニハ多少不完全不満足ナルコトヲ免レヌコト上ニモ注意スル所タカ(註一八)、此財政收入上多收タトイフコトカアレハコソ、今日ノ多クノ國ノ財政ノ要求ニ應スル上カラ、公平課税上ノ不満足ヲモ忍ハサルヲ得サラシムルノタ。實際ニ此税ノ選マルル主タル理由ハ實ニ此多收ニアルノテアル(註一九)。

(註一八) 前出註一三參照。

(註一九) くらいんらえひたーハ、不要ナ奢侈品ノ消費税ハ收入ノ少キコトヲ患トスル。此理由アルニヨリテ消費税ハ好シテ大量消費税(麥酒、火酒、燐寸、砂糖等)ニ課セラルトイフ<sup>23)</sup>

(B) 收入ノ自然増加ノ望ミアルコト——モ之ト相待ツテ此税ノ長所タラシメル。元來砂糖消費ハ文化ノ尺度トモイハレルホトテ、文化ノ進ムニ從ヒテ此カ消費量カ増加シ、人口増加、富ノ増加ハ益々之ヲ助ケ、其消費力量ニ於テ益々増加スルノミテナク、一層優等ナ品物カ益々廣キニ亘ル人々ニ使用サルル傾ヲモツ。斯クテ此税ノ收入カ益々増加スルコトニ於テ(註二〇)、近代國家ノ財政需要ニ適應スル。特ニ砂糖ノ人身ニ對スル關係カ一般人ニ明ニセラルルニ伴フテハ一層此ヲ助ケルテアラウ(註二一)。之ヲ夫ノ酒ノ如ク文化ノ進歩ト共

23) Kleinwächter, a. a. O. S. 213-4.

24) Herbst, a. a. O. S. 12.



ニ其消費ノ禁止又ハ少クトモ制限ノ叫ハルルモノト比スルニ於テ、其財政上ノ重サハ遙カニ大イモノトイハナケレハナラヌ。現在ノ處テハマタ酒ニ及ハヌケレトモ、將來ニテハ之ニ勝ルモノトモナラウ。尤モ時勢ノ變ハ今度ハ又、砂糖ノ人身ニ對スル重要性ヲ高調シテ、此ノ如キモノニ課税シテハナラヌトイフノ論力強クナルカモ知レナイ。併シ其レハ、餘程後ノコトテアツテ、オ互ハマタ其處マテ心配スルニハ及ハヌヤウタ。

(註二〇) ぼーリゆーハ、此税ノ長所トシテ收入ノ益々増加スルコトヲ擧ケ、こんらーどハ、砂糖消費ノ人口一人當リノ増加カ年々現ハルルノ故ニ、此カ疑モナク、良キ課税物件ト見ルヘキモノトイフ。<sup>25)</sup>

(註二一) 前出註六參照。

#### (四) 生産政策上

(A) 内國税ニテ——此税アル爲メニ國ノ當該生産及他ノ生産、並ニ販賣、更ラニハ輸出ヲ妨害スルトイフコトハ免レヌカ(註二二)、此等ノ生産政策上ノ缺點ヲ輕クシ又ハ除クコトノ必要トセラルルタケテハ、特別宥恕ノ制度ヲ設クルコトニヨリテ能ク之ヲ達シ得ル。其レテ夫ノ弊害モ左マテ大トナラスシテ濟ム。例之、特殊不利ナ生産事情ニアル地方ノ産物ニ限リ免税スルトイフコトモ出來ル(註二三)。或ハ輸出ヲ妨ケサル爲メニ課税品ノ輸出ニ戻税

25) Beaulieu, l.c. p. 687. Conrad, a. a. O. S. 181.

ヲ行フコトモ出來、或ハ輸出ヲ目的トスルモノニ初メヨリ課税セストスルコトモ出來ル(註二四)。或ハ課税サレタルモノヲ原料トスル他ノ生産ニ戻税ヲ行フコトモ出來、課税品ノ原料タルモノニ初メヨリ課税セストシ、課税サレタル原料ニテ作ラレタル物ニ其上課税セストスルコトモ出來ル(註二五)。併シ他ノ生産トイフテモ内地消費向菓子ノ製造ニ對スル戻税ハ出來ナイ。砂糖ノ課税ハヤカテ一部ハ菓子ヲ課税シヤウトスルノタカラテアル(註二六)。ツマリ菓子ノ課税ハ原料タル砂糖ノ課税ニヨリテ行ハルルノテアル。其爲メニ菓子ノ消費者ハ其負擔ノ後レルタケ、税ノミナラス其上ニ納税金額ニ對スル利子マテモ多ク擔フトイフコトニナツテ居ル(註二七)。併シ其カ大シタ特別負擔テナイカラ忍ビ得ルモノテハアル。ケレトモ事ノ真相ハ正サニ此ノ如クテ、多少不合理ナルモノハアル。

(註二二) 此點一般ニ多クノ消費税ノ弱點テ、例之、くらいんうえひたーハ、間接消費税ハ租税義務アル物體ノ生産及販路ヲ厄介トスト爲シ、にーべるひハ、消費税ハ、租税義務アル物ノ生産ヲ營ム所ノ多クノ營業分料ヲ、其賦課及必要ナル監督規定ニヨリテ厄介トシ、不安ナラシメ、自由ナル發達ヲ妨クルタケテモ、國民經濟ニトリテ危險トナリ得ルトイフ。<sup>26)</sup>

(註二三) 例之、大島ナトニ産スル黒糖、白下糖等ニ特別ノ宥恕ノ途モ立タヌコトハナイ。

(註二四) 輸出ニ際シ、前ニ課税シタル分ノ拂戻ヲ爲スヘキコトハ、くらいんうえひたー、えーべるひ等指摘ス。<sup>27)</sup> 我

26) Kleinwächter, a. a. O. S. 214. Eheberg, a. a. O. S. 523.  
27) Kleinwächter, a. a. O. S. 214. Eheberg, a. a. O. S. 481.



國ニテモ、政府ノ承認ヲ受ケ外國輸出ノ目的ニテ引取ラルル砂糖糖蜜糖水ニハ初メヨリ課税セス、輸出菓子糖菓ニ之ニ含有スル甘蔗糖百斤當リ五圓ノ下付ヲ爲ス。

(註二五) くらいんうえひたーハ、他ノ工業用等ノ使用ヲ可能ナラシムル爲メ一宥恕ヲ行フ所ト爲シ、獨逸ニテモ、生活及享樂材料外ノ生産品ノ製造用ノ砂糖ニハ免税スル<sup>28)</sup> 我國テハ、煉乳原料砂糖ニツキ砂糖税相當額ヲ下付シ、政府ノ承認ヲ受ケ砂糖糖水酒精製造ノ原料トシテ引取ラルル砂糖糖蜜ニ初メヨリ課税セス、政府ノ承認ヲ受ケ消費税ヲ課セラレタル砂糖ニテ製造スル糖水ニハ其上課税セストスル。

(註二六) まいるハ、菓子製造業ノ使用スル納稅済砂糖ニ於テ、砂糖税カ消費的消費ヘノ更轉ヲ期ストイヒ、ぶあろモ、生産的消費ニハ免税スルカ、不生産的消費ニハ重課サレナクテハナラヌトイフ<sup>29)</sup>

(註二七) はすてーぶるハ、原料品ノ税ハ、税カ永キ時ノ間、生産者ニヨリテ前貸サルルコトトナツテ、消費者ニトリ費用ノ終局的増加ハ、其前拂金ノ利子タケ大ナルノ弊アリトイヒ、しるらすモ、同意味ノコトヲイフ<sup>30)</sup>

(B) 關稅ニテ——當該砂糖生産ヲ保護スル必要アリトスル場合ニハ、別ニ外國ヨリ輸入サルヘキ物ニ關稅ヲ課スルコトニヨリテ之ヲ行フコトカ出來、內國消費税ノ內國生産ニトリテノ不利ヲ緩和スルヲ得ル。又必要トアレハ、全體ノ砂糖負擔トシテ相當ナルモノノ中ニ就キテ、內國消費税ヲ輕クシ關稅ヲ重クシテ、此目的ヲ達スルヲ得ル所テモアル。

(五) 教育及衛生上——酒煙草ノ如キニテハ其物體自身、教育上社會上衛生上有害ノモノタカラ、之ニ課税スルコトカ此弊ヲ抑ユル所以也トモイヘルカ、同時ニ其有害ナル物カラ政府

28) Kleinwächter, a. a. O. S. 215. Mirbt, Grundriss des deutschen und preussischen Steuerrechts. S. 288.

29) Mayr, a. a. O. S. 46. Pfau, a. a. O. S. 65.

30) Bastable, l. c. p. 511. Shirras, l. c. p. 346.

カ頭ヲ刎ルコトカ政府トシテ不都合タトモ非難セラルルノニ、砂糖ハ物自體此等ノ弊モナイノタカラ、惡弊抑制ノ效用モナイ代リニ、惡弊妄用トイフ誹モ受ケナイテ済ム。尤モ砂糖力健康上有益ナモノタトイフ見解カライフト(註二八)、此カ課税ハ衛生上不都合タトモイハレ得ル。

(註二八) 前出註六參照。

以上ニヨリテ砂糖税ハ其存立ヲ肯定シ得ル。多少ノ缺點ハアツテモ忍ヒ得ルモノテ、今日ノ多クノ文明國ノ實狀ニ於テハ其存在ヲ認メテ可テアル(註二九)。

(註二九) えーべるひハ、砂糖ガ課税スベキ消費物タルコト殆ンド疑フベカラズトイフテ居ル<sup>31)</sup>

## 第二段 砂糖税ノ高サ

(一) 理論——砂糖税ノ存立ハ肯定スルトシテ倍テ其高サヲ何ノ程度ニ定メルカ。此ニハ色々ノ觀察點カアルヘキタ。之ニ就キ、

(A) 税質又ハ課税物件ノ性質——ヲ考ヘルノカ第一テアル。之ヨリシテハ其必要不要ノ度ヲ考ヘテ、砂糖税ヲ以テ必要品税ト不要品税トノ中間トスルノカ適當テアル。處カ我國テ

31) Eheberg, a. a. O. S. 480.

32) 拙著、租稅研究、二卷、156-7。



ハ既ニ多數ノ必要品税ヲ廢止シタ所テアリ、殘ルハ織物税位ニ過キヌノテアルカラ、先ツ不要品税ノ模型タル酒税ト必要品税ノ遺物タル織物税トノ中間程度カ適當タトシテ大過ナイ。

(B) 財政收入政策上ノ見地——次キニハ財政收入政策上ノ見地モ考ヘナケレハナラヌ。其レハ一方ニハ當時ノ國家財政ノ必要カ之ヨリシテ多大ノ收入ヲ必要トシテ居ルカ、其必要左マテ切テナイノカトイフ事情ヲモ考ヘナケレハナラヌシ、他方ニハ假リニ其必要大且ツ切テアツタトシテモ、アマリニ高イ税率ヲ課スル爲メニ、租税ノ限度ヲ超ヘテ收入カ却ツテ減退スルホトトナツテハ不得策タトイフコトモ考ヘナケレハナラヌ。税ヲ安クシテ却ツテ收入カ増大スルトイフコトノ見込アル場合ナラハ、ムシロ却ツテ税率ヲ下ケタ方カ收入政策上カラハ得策テアル(註三〇)。此問題ニハ這邊ニツイテノ判斷カ入ルノテアル。其ニハ事情ヲ通シタ人ノ意見ニ從ハナケレハナラナイ。

(註三〇) じえんせんハ、内國消費税ニハ超ユヘカラサル税率ノ限度カアル。非常ニ高イ率ハ消費制限ニ導キ、課税品ノ不法ナル製造及販賣ニモ導クトイフテ居ルカ、埃國藏相カ一九〇六年ニ爲シタ報告ニ依ルト、關稅ノ輕減及砂糖税ノ引下ニヨリテ、内國ノ砂糖消費カ著シク増加シ、此減税率カ稅收入ノ不足ヲ生シナカッタノミテナク、反對

33) 拙著、租稅研究、182。經濟論集、第三册、141-2。

ニ、消費増加ニヨリテ補償セラレテ大ナル餘剩サヘモ生シタトイフノテアル。<sup>34)</sup>

(C) 生産政策上ノ見地

(イ) 一般經濟生活ヲ壓迫シテ不利ノ結果ヲ受ケシメサル爲メニハ、他國トノ比較上、過大テナイ程度<sup>35)</sup>ノ税ヲ課スルトイフコトモカ稅率決定上ノ注意テナケレハナラヌ。即チ此見地カラシテハ重ナル他國ノ類似税ノ高サヲ調ヘテ見ナクテハナラナイ。

(ロ) 次キニハ當該生産業、即チ此場合ニハ砂糖ノ生産業、其レハ粗糖業及精糖業ニ亘リテ其ノ保護ヲ必要トスル度合ヲ調ヘテ、或ハ或モノニハ無稅サヘモ與ヘナクテハナラヌカモ知レヌシ、或ハ砂糖ニ課セラルヘキ全負擔中、内國税ヲ低クシ、關稅ヲ高クスルノカ選ムヘキカモ知レナイ。或ハ齊シク内國税トシテモ粗糖ト精糖トノ稅率ノ差等トイフコトニツイテモ、各業ノ内狀ニ適應スルコトヲモ期シナクテハナラヌ。

(二) 實際——トシテ我國ノ砂糖税ノ高サヲ如何ニ定メルカハ六ツカシイ。前記(一)ノ(B)ト(C)ノ(ロ)トハ指摘スルコト甚タ困難テアルカ、少クトモ(一)ノ(A)ト(C)ノ(イ)トニ關スル限リニ於テハ、之ヲ指摘スルコトカ難イコトテハナイ。其處テ私ハ茲ニ之ヲ試ミル。即チ

(A) 稅質上カラ——酒税ト織物税トノ中間程度ヲ目安トシテ見ルトキハ、日本ノ現行砂糖

34) Jensen, l. c. p. 312. Herbst. a. a. O. S. 6.

35) 拙著、租稅研究、三卷 180-1。



消費税ハムシロ高キニ失スル。今少シク引下クルノカ至當トイハナケレハナラヌ。私ノ計算テハ酒造税ハ價ノ四割〇二一テアルノニ、砂糖消費税ハ三割六五七テアル。織物ノ一割(實ハ其以下テアルカ、暫ラク形式上ノ税率ニ依ルトシテモ)ト酒ノ四割トノ中間トイハ二割五分度ノモノテナクテナラヌヤウタ(註三一)。

(註三一) 酒ノ價トシテハ、本年六月中、東京ニ於ケル灘酒ノ卸値ヲ見タ。其レニヨルト飛切一、二〇〇。極上九五〇。上上八二五。上六七五。中六〇〇。次五二五。平均七九五、八〇テアル。此ハ四斗詰メ二十樽ノ値タカラ換算スルト、一石ハ九拾九圓四拾七錢五厘トナル。此ニ對シ四拾圓ノ税金ハ四割〇二一ニ當ルノテアル。之ヲ更ラニ實際ノ小賣市價カラ見タラ、税カ一層輕イモノニナルテアラウ。

砂糖ノ價ハ十五年四月東京商業會議所調、東京卸賣値、精糖百斤貳拾四圓六拾壹錢ヲ土臺トシ、第五種糖九圓ノ税ヲ以テ計算スルト三割六五七トナル(尤モ昭和二年ノ稅法制定ニテ八圓參拾五錢トナツタ)。

(B)他國トノ比較上カラ——イフト、外國ニハ我國ヨリ重キモアレハ輕キモアツテ一概ニハイヘヌカ、内國稅關稅ノ合計額カラ計算スルト、我國ノ百斤拾參圓六拾五錢ノ稅ハ、平均率ノ拾六圓五拾壹錢ヨリハ低ク、内國消費稅ノミカラ計算シテ、我國ノ九圓ノ稅ハ平均率ノ六圓參拾參錢ヨリハ高ク、關稅ノミカライヘハ我國ノ四圓六拾五錢ハ、平均率ノ拾圓拾八錢ヨリハ遙カニ低キコトヲ見出ス(註三二)。タカラ、全體トシテ我國ノカ高イトハイヘ

ヌカ、併シ内國稅ト關稅トノ關係テハ、内國稅ヲ多少低下シ、關稅ヲ多少引上クルノカ鈞合ヲ得タ課稅タトイハナクテハナラヌ。

(註三二) 私ノ計算ニ依ルト重ナル國ノ砂糖税ハ左ノ如クテアル。其ハ凡ヘテ百斤當リ圓ニ換算シタモノタ。

	内國稅	關稅	合計
日本	九、〇〇 <small>(昭和二年ノ改正ニテ八、三五)</small>	四、六五 <small>(昭和二年改正ニテ五、三〇)</small>	一三、六五 <small>(合計ハ舊時ト同シ)</small>
英國	四、三五	六、八九	一一、二四
佛國	一、二〇〇	一六、八〇	二八、八〇
獨逸	六、三〇	一、二〇〇	一八、三〇
米國	〇	一〇、五八	一〇、五八
平均	六、三三	一〇、一八	一六、五一

### 結論

以上要之、砂糖税ハ完全ナ稅テハナク、多少ノ弱點ヲモツ稅テハアルカ、大體ニ於テ公平課稅上ニモ社會政策上ニモ、財政收入上、課稅技術上、更ラニハ生産政策上ニモ教育衛生政策上ニモ辯護サレ得ルモノテアリ、存立ヲ認メテ可テアル。ソシテ其高サニツキテハ

36) Kelly's Customs tariffs of the world. 1925. Finanz Archiv. 1925. S. 452. Haas et Monteux, Les impôts en France. p. 199. Mirbt. a. a. O. S. 288.



税質上、收入政策上、生産政策上等ニ色々考慮スヘキモノカアツテ、之カ決定カ實際甚タ困難テハアルカ、少クトモ税質カライヘハ現行ノ我國税ハ稍高キニ失シテ居リ、他國トノ比較カライヘハ内國税ハムシロ高キニ過キ、關稅ハ或ハ低キニ過キテ居ルカト思フ。之レタケテ問題ヲ確立的ニ決スルハ早計タカ、大體ノ目安ハ之ニヨリテ窺知セラル、コトカ出來ヤウ（此編ヲ起草シタノハ大正十五年九月テアツタカ、昭和二年ノ税法改正ハ此通りニナツタ）。

## 第十二編 俱樂部税論

### 緒言

近頃ハ我國ニテモ生活難カ太シク、稼クニ追着ク貧乏ナシトイフ譯ニ往カス、人ハ間々働ケトモ働ケトモ貧乏ニ追ハレ通ホシ、働カウトシテモ働クニ場處ナク、一タヒ有チタル仕事モ失ハナケレハナラヌトイフコトニナリ、而カモ之ヲ救ヒ助クヘキ家族乃至親族ノ關係ハ益々稀薄トナリツツモアツテ、國及地方團體ハ之ニ代ツテ之カ救濟ノ爲メノ社會的施設ヲ行ハナケレハナラヌコトトナツテ居ル。然ルニ他方、此ノ世ノ中ニハ、有リ餘ツタ資財ヲ抱イテ、悠悠トシテ自適スル所ノ有閑階級カアリ、多少活動ハスルカ併シ其餘暇ヲ以テ有閑階級ニ準シタ娛樂及社交ヲ爲スカアル。斯クテ國又ハ地方團體トシテ、前ノ弱キ階級ヲ救濟スルト同時ニ、他方、此有力ナル階級ノ者ニ特別ノ課税ヲ爲スノカ適當テハナイカトノ感ヲ起サシムル。ソシテ其ノ有閑階級及準有閑階級ノモツ享樂ノ中ニ就キテモ、飲酒、喫煙、骨牌、織物、砂糖、珈琲、茶、狩獵ナトニハ國稅消費税（内國稅カ關稅カ）カ課



セラレ、船車、乘馬、看劇、遊興、藝妓ナトニハ地方稅カ課セラレテ居ルケレトモ、マタ俱樂部ヲ作ツテ閑潰シテ行フモノニハ課稅ヲシテ居ヌ。夫ノ有閑者準有閑者稅トシテハ、是ヲコソ課稅シタイト思ハルルノニ、之ヲ逸シテ居ルノハ遺憾テアルトセラルル。然ルニ佛國ニハ夙ニ此カ行ハレテ、或度マテ成功シテ居ルニ就イテハ、之ヲ我國ニモ移シテハ何ウカト思ハルルニ因ツテ、茲ニ之ニツイテ說述論評シテ見ルノモ無用テハアルマイ。特ニ此ニツイテノ參考文献ハ我國ニハ乏シイノテアリ、旁々以テ之カ論議ハ一層ニ意義ノアル事ヲナケレハナラス。

### 第一段 俱樂部稅ノ本體

(一) 俱樂部稅ノ先例——ハ之ヲ佛國ニ見出スコト前ニモイフ通りテアリ。佛國テハ此カ夙ニ一八七一年、敗戰後ノ財政ノ大需要ニ伴フテ採用セラレ、其ハ地方稅テハナクテ實ニ國稅トシテ採用セラレ、俱樂部員ノ醴金(會費等)ノ二割稅テアツタ。<sup>1)</sup>然ルニ此カ一八九〇年ニハ改メラレテ醴金ノ外、會場ノ賃賃價格ヲモ課稅標準トスルコトトナリ、醴金八千法及以上ニ、其ノ百分二十、醴金三千乃至八千法ニ其百分十、醴金二千法未滿ニ其百分五。賃賃

1) Beaulieu, Traité de la science des finances. 5 éd. I. p. 432. Léon Say Nouveau dictionnaire d'économie politique. 2 éd. II p. 32. Wagner. Fw. III. S. 782. Bilinski. Die Luxussteuer. S. 22. Graf, Das Problem der Luxussteuern. S. 191. Schäffle, Steuern. B. T. S. 316. Heckel, Fw. II. S. 291. Zeller, Die Aufwandsteuern. (Schönberg's Hb. 4 Aufl. III-I.) S. 605. Mamroth & Eheberg, Luxussteuern. (Conrad's Hwb. 3 Aufl. VI.) S. 547. Kato, Die Wohn- und Luxussteuern. S. 87. Bastable, Public finance. 3 ed. p. 501. Conrad, Fw. 9 Aufl. S. 274.

價格四千法及以上ニ其ノ百分八、賃賃價格二千乃至四千法ニ其百分四、賃賃價格二千法未滿ニ其百分二トシタ。<sup>2)</sup>處カ此カ一八九七年一九一六年ニ更ニ改メラレテ、會員醴金年額八千法マテニ年稅百分十二半、八千法以上二萬法マテニ年稅百分二十五、二萬法以上年稅百分五十ヲ課シ、會場ノ賃賃價格四千法ヲ超ヘサル部分ニ百分五、四千法乃至八千法ノ段階ニ百分十、八千法以上ノ部分ニ百分二十ヲ課スルコトトナリ、今尙ホ行ハレテ居ル(註一)

(註一) 尙ホ佛國テハ之ニ對シ入市稅ノ代リトシテ本稅ノ百分四十以內、地方附加稅ヲ許シ、別ニ其地方稅中ニ、此ニ類似シタ特別稅トシテ、てにす、ごるふ又ハ類似ノ娛樂場ノ使用又ハ賃賃稅トイフカアル。<sup>4)</sup>

(二) 俱樂部稅ノ構造——此稅ノ先例ハ上ノ如クテアルカ、倍テ之ヲ設ルトシテ如何ニ構成スルカトイフノニ、

#### (A) 課稅物件

(い) 其積極的範圍——ハ俱樂部、即チ多人數ノ者カ共同シテ一定ノ集會ノ場所ヲ有チ、其ニテ談話其他ノ娛樂ヲ爲スモノトスル。換言スレハ、社交又ハ娛樂ノ目的ヲ以テ一定ノ土地家屋ヲ使用スル人ノ團體トスル。勿論其使用スル土地建物ハ彼等ノ共有ニ屬スルト賃借ニカカルトヲ問ハヌ(註二)。マタ此ニテ狹義ノ俱樂部ノミナラス、乘馬、てにす、ごる

2) Graf, ebenda. S. 192. Mamroth & Eheberg, ebenda. S. 550. Kato, ebenda S. 87.

3) Scholz, Grundriss des französischen Steuerrechts. S. 81. Haas et Montoux, Les impôts en France. 2 éd. p. 83. Eheberg, Fw. 18 & 19 Aufl. S. 513.

4) Scholz, ebenda. S. 102-103. 104. Haas et Montoux, l. c. p. 83-4.



ふ、等々ノ其ヲモ含メテモ良イ。此ハ課稅上ノ便宜ニ從フテ如何様ニモ稅法ヲ定メ得ル。

(註二) ぼーリゆーハ、此俱樂部ヲ、市中ニ存在シテ有閑者カ來ツテ談話、讀書、娛樂スル集會ノ場所ト爲ス。<sup>5)</sup>

(ろ) 消極的範圍——トシテハ學藝、慈善ノ目的ヲ有ツト認メラルルモノヲ指摘シテ然ルヘキテアル(註三)。併シ此ハ餘程嚴格ニセスト、此目的ヲ標榜シテ遁脫スルモノヲ生スル餘程ノ注意ヲ要スル。

(註三) 現ニ佛國ニテモ大體學術及慈善協會カ除外サルル。詳シクイフト、慈善會、相互扶助會、専ラ學問文藝農業音樂ノ爲メノ協會(此等カ日々ノ集會ヲ有タサルタケニテ)、體操、射的ノ練習ノ會等、強制的ナル軍人會モ免稅サルル。<sup>6)</sup>

(B) 課稅標準——トシテハ會員ノ醜金(會費及其他ノ寄附金)ノ額ト、其會場ノ賃賃價格ト二ノモノヲ選フノカ正當テアリ、其ノ何レカ一ノミニ依ルトキニハ逃ルルコトアルヘキモノヲ擱ムノニ必要テモアル。會員ノ醜金ノミテハ非表現的ノモノタカラ逃ケラレ易ク、賃賃價格ハ表現的テ外カラ擱ミ易イケレトモ、此タケタト、又此ニ現ハルル以外ノ出費ヲ逃カスコトトモナル。更ニ進ンテ考フルト、此二ノモノヲ全體ノ大サニ於テ標準トシ差等アル稅率ヲ適用シタノテハ粗ニ過クル嫌カアル。精密ニイフナラハ、先ツ以テ之ヲ調ヘタ上

5) Beaulieu, l. c. p. 431-2.  
6) Wagner, a. a. O. S. 782. Lotz, Fw. S. 488. Mamroth & Eheberg, a. a. O. S. 550. Heckel, a. a. O. S. 291. Graf, a. a. O. S. 191. Bilinski, a. a. O. S. 22. Beaulieu, l. c. p. 432.

ニテ更ラニ會員ノ一人當リノ醜金ノ大サ、一人當リノ賃賃價格ノ大サヲ定メテ、其大小ニ應シテ差等アル課稅率ヲ、右ノ課稅標準ニ適用スルコトトスヘキテアル。夫ノ醜金ナリ賃賃價格カ大クテモ會員數カ多イナラハ、醜金及賃賃價格ハ之ニ比シ小テアツテモ會員數ノ少キモノヨリモ、能力割合ニ小ナルコトカ間々之アルカラテアル。

(C) 稅率——トシテハ比例率ヲハ物足ラヌ。況ヤ定額稅、階級稅テハ尙更ラ不満足テアル。累進率ヲ適用スルノカ選ムヘシトシテ、倍テ其累進モ、醜金ノ全額ヤ、賃賃價格ノ全額ヤノ大サニヨリテ差等ヲ附ケス、會員一人當リノ此等ノモノノ大サニヨリテ差等ヲ附ケルノカ望マシキコトハ前項ニモイフ通りテアル(註四)。

(註四) まむろーと及えーべるひハ、會員ノ醜金ニ對スル單一稅率例之百分二十八、俱樂部ノ大サ、財産狀態等ノ異ルニ對シ疑問トナル。ムシロ諸多ノ稅級ニ分ツテ得策トスト爲ス。<sup>7)</sup>

(D) 租稅主體——即チ納稅義務者ハ俱樂部トスルカ便テアル(註五)。會員ニ課シタイノテハアルカ其レテハ課稅技術上面倒ニ過キルカラ採ルコトヲ得ヌ。マタ俱樂部ニ課スルノテモ應カテ會員ニ轉嫁セラレルコトカ出來テ、本來ノ目的ニ適ウコトヲ得ル。

(註五) 佛國法ニテモ、俱樂部ヲ義務者ト爲シ、俱樂部ノ理事又ハ會計カ之ヲ代表ストシテ居ル。<sup>8)</sup>

7) Mamroth & Eheberg, a. a. O. S. 550.  
8) Wagner, a. a. O. S. 782. Graf, a. a. O. S. 191.



(E) 課稅權ノ主體及收額ノ使途——此種ノ稅ハ其性質上、國稅トスルヨリハ、地方稅ト爲シ、且ツ地方費ニ充ツルトシテモ、特ニ目的稅トシテ社會事業資金ニ供スルノカ適當トセラレル(註六)。俱樂部稅ヲ擔フモノニ於テ、此收額カ社會救濟事業ニ充テラルルコトヲ見ルトキニ一層擔ヒ易イトイフコトカアリ、ソシテ俱樂部普及ノ度合ハ全國一樣テナク、地方ニヨリ特ニ都鄙ニヨリテモ大ニ異ルカラ、全國的ニ行フノニハ不公平ノモノトイフ嫌モアル。(註七)。

(註六) しえふれーハ、社交稅ハ地方的慈善金庫ニ歸セシムルヲ可トストイフテ居ル。<sup>9)</sup>

(註七) 此稅ヲモ込メタ廣ク奢侈的消費ノ稅ニツキ、しえふれーハ、之ヲ地方ニ任カス理由トシテ三ノモノヲ舉ケテ居ル。一ハ此ノ如キ稅ニ於テ、租稅政策ノ傍ニ考察セラルル國家警察上ノ目的カ到ル處ニ同一度ニテ存シナイコト、二ニハ之カ消費者カ地方稅權ニ一層容易ニ確知セラルルコト、三ニハ異ツタ地方ニ於ケル奢侈的所有カ特段ナル租稅力ヲ同一度ニテ示サナイコトヲシテ居リ、べらふえるですモ、奢侈稅ノ合目的實行ハ地方稅ニテ一層長ク行ハルトスル。<sup>10)</sup>

### (三) 俱樂部稅ノ性質——如何トイフノニ

(A) 爭ナキ點——ハ此カ(一)ノ消費稅タトイフコトテアル。人カ俱樂部ヲ作り維持スルコトニ伴フ消費ニ、特別ノ能力ヲ認メテ課スルモノテアル。(ろ)ソシテ此カ其ノ中ノ奢侈稅<sup>11)</sup>タ

9) Schäffle, a. a. O. S. 265.

10) Schäffle, a. a. O. S. 344-345. Bela Földes, Fw. S. 513.

11) Léon Say, l. c. p. 32. Lotz, a. a. O. S. 488. Heckel, a. a. O. S. 291. Eheberg, a. a. O. S. 513. Bela Földes, ebenda. Köppe, Fw. S. 103.

ルコトモ異論カナイ。此俱樂部ヲモツコトカ萬人ニ普通ノコトタトイフマテニナレハ此稅カ奢侈稅トハサレ難イクレトモ、今日ノ處テハマタ此カ一部有閑人準有閑人ノ專有ニ屬スルタケニテ一ノ奢侈的消費ヲ課スルモノトシテ良イ。(は)或ハ之ヲ一ノ娛樂稅トモイフヲ得ル。<sup>12)</sup>學藝慈善ナトノ目的ノモノヲ除外スルニ於テ一層然リトスヘキテアル。尤モ此ハ普通ノ娛樂稅カ催ノ機會毎ニ取ル所ノ機會稅、從率稅テアルノニ對シテ、臺帳稅テアリ定期稅テアリ、恒久的ノ稅テモアル。(に)或ハ之ヲ精神的奢侈稅<sup>13)</sup>トスルニ至ツテハ、奢侈ハ凡ヘテ物質的タトイフテ反對モ出來ルカ、此ニ精神的奢侈トイフノカ、物質的ナ奢侈ニ精神的ノ意味アルモノト解スレハ、其レテモ良イ。

### (B) 爭アル點

(い) 直接稅カ間接稅カ——ニツイテハ或ハ其カ臺帳稅タカラトイフコトカラシテ直接稅タトモイヘルシ、使用稅、俱樂部ノ會場ヲ使用スル稅トイフ點カラシテ直接消費稅タトモイヘル(註八)。併シ此カ直接使用者タル會員カラシテ取ラレス、俱樂部ヲ通シテ取ルノテ其點カラシテ間接消費稅タトシテモ良イ(註九)。尤モ見様ニヨリテハ其俱樂部カラ取ルトシテモ、其俱樂部ハ部員トハ別異人テハナク、彼等 共同ニ過キヌ。其俱樂部カラ取ルノハ部

12) Scholz, a. a. O. S. 81. Kato, a. a. O. S. 87.

13) Graf, a. a. O. S. 191.

14) Bilinski, a. a. O. S. 22.



員カラ取ルノト同シテアル。タカラシテ此點カラシテモ直接消費稅ニ過キストモイヒ得ル。

(註八) ばすてーぶる、へつける、つにらー等、之ヲ直接消費稅トシテ説イテ居ル<sup>15)</sup>

(註九) しえふれーへ、社交的享樂ノ稅ハ直接負擔ノ稅トシテハ行ハレナイノカ可イトシテ居ル<sup>16)</sup>

(ろ) 特別消費稅——トイフモアルカ何ニモ之ヲ態々、特別取扱スルニハ及ハヌ。消費稅中ノ普通ノ分類ニ從ヒテ、稅ノ何レカニ入レルコトカ譯ナク出來ル。

## 第二段 俱樂部稅ノ長短

前段、俱樂部ノ何タルカノ大體ヲ説明シタカラ、是ヨリ此稅ノ長短ヲ考察シテ、其ノ採否ヲ決スルノ資料トシヤウ。

### (一) 公平課稅上

#### (A) 其長所——

(い) 稅質上——俱樂部稅ハ俱樂部トイフ奢侈的消費ヲ示ス物件ヲ課稅物件トシテ居ルカラシテ、一ノ奢侈消費稅トシテ認メルコトカ出來ル(註一〇)。其俱樂部ニ入ルコトカ一ノ奢

侈的消費トイヒ得ルシ、之カ奢侈的消費ノ場處ノ使用ヲ示シ、更ラニハ此處ニテ色々ノ奢侈的消費ヲ爲スコトヲモ示ス。奢侈稅カ一般ニ認メラルナラハ、此稅モ亦認メラレ得ル。通例之ヲ利用スル人ハ上流又ハ少クトモ中等以上ノ階級ノ人ヲ相當特別ノ稅ヲ擔フタケノ能力アル人々テアル。此稅ヲ擔ヒ得ル人々テアル。或ハ社交上已ムヲ得ス之ニ入ツテ居ルケレトモ、其ノ實力、經濟上ノ力ノ、他ノ多クノ之ニ屬スル人ニ比シ遙カニ劣ルトイフコトハアル。併シ其トテモ、此等ノ能力アル人並ミノ社交消費ニ與カルタケニテハ、能力アル人トシテ取扱ハレテモ致方モアルマイ。又社交的消費ハ別ニ強制的ノモノテハナク、人ノ生存條件ニ關スルノテモナイカラシテ、之ニ課稅アルタメニ之ヲ爲シ得ヌコトトナルカライフテ、其ハ不都合タ、公益上許スヘカラストサルヘキホトノモノテハナイ。又此社交俱樂部カ往々ニシテ下層社會ノ人ニ作ラレルコトカアリ、此カ課稅カ此種ノ人々ヲ苦シムルノテ問題トモナリ得ル(註一一)ケレトモ、併シ此場合トテモ、之ヲ作り得ナイ人ト比シテハ之ヲ作り得ル人ハ、作り得ヌ人ノ有タサル能力ヲ示ス譯テアリ、其レタケニ於テ特別ノ課稅ヲサレテモ當然テアリ、又此ノ如キモノニ課稅シテモ、此下層社會ノ人ノ關スル限り、其一人當リノ會費モ、一人當リノ賃賃價格モ、上中流人ノ作ツテ居ル其ニ比シテ

15) Bastable, l. c. p. 501-2. Heckel, a. a. O. S. 291. Zeller, a. a. O. S. 605.

16) Schäffle, a. a. O. S. 265.

17) Conrad, a. a. O. S. 70. Köppe, a. a. O. S. 103.



ハ小テアルヘク、隨フテ此カ稅額ハ低イモノテアリ、彼等ノ堪ヘラレヌトイフホトノモノテハアルマイ。

(註一〇) ぐらうふハ、凡ヘテノ社交俱樂部ハ假令往々ニシテ遠慮シタ形ニテトハイヘ、一ノ奢侈タトイフテ良イトイフテ居リ、しえふれーハ、社交ノ場處ノ如キ、需要品ノ不要トイフ性質カ課稅上ニ考慮ニ取ラレナクテハナラヌトイフテ居ル<sup>18)</sup>

(註一一) ぐらうふハ、此點ニ注意シ、茲ニ疑問トナルノハ、此遠慮シタ奢侈カ往々ニシテ貧民ヲモ惠ムトイフコトタトイフ<sup>19)</sup>

(ろ)形式上——此稅ノ課稅標準及稅率ノ作り方、定メ方ノ如何ニヨリテ、奢侈稅ノ趣旨ニ適フヤウニ爲シ得テ、公平ノ餘程ノ度合ヲ達シ得ル。即チ其釀金ノ一人當リ額ノ大小ト、會場ノ一人當リ額ノ大小トニ應シテ累進率ヲ定メ、之ヲ釀金全額及土地建物ノ賃貸價格全額ニ適用スルコトニヨリテ此趣旨ニ適ウコトヲ得ル(註一二)。

(註一二) ぐらうふハ、佛國ノ一八九〇年ノ課稅標準改正ニツキ、此カ奢侈稅ノ本質ニヨリ條件サレタル稅率ノ累進ヲ備フトイフタカ、其レテモマタ不十分テアリ、私ノイフヤウニスルノテ、初メテ能ク此目的ニ適ウト思フ。

(B) 其短所

(い)稅質上——此稅カ人稅テナクシテ、一ノ物的ノ稅テアリ、一ノ消費稅テアル爲メ、

18) Graf, a. a. O. S. 191. Schäffle, a. a. O. S. 265.  
19) Graf, ebenda.  
20) Graf, a. a. O. S. 192.

之ヲ俱樂部員カ負擔スルトシテ、其ノ全キ人的能力ニ比シテ之ニ鈞合ハヌ負擔トナルヲ免レヌトイフコトカアル。或度マテハ課稅技術上等差附ケラレテ、能力ニ應シタ負擔トハナルカ、其差等ハ俱樂部員ノ能力ニ相應シタモノトハイヘナイ。異ツタ俱樂部ノ部員ノ間ニ、及同一俱樂部ニ屬スル別異人ノ間ニ、各ノ能力、各ノ人的能力ニ相應シタ差等負擔トハ必スシモナリ得ナイ。又俱樂部ニ關係セスシテ能力ノ大イモノカアリ、何レカノ俱樂部ニ關係シテ而カモ能力ノ小イモノカアリ、俱樂部ニ屬スルモノト屬セサルモノトノ間ニモ公平ナ負擔トナルコトヲ得ナイ。併シ此ハ此稅ノ性質上已ムヲ得ヌコトテ、一般ニ物稅ヤ消費稅ノ認メラレル以上ハ、此俱樂部稅モ之ヲ認メテ良イ。

(ろ)轉嫁關係上——此稅カ課稅ノ便宜上、俱樂部員カラ直接取ラレス、俱樂部カラ取ラレテ、之ヨリシテ部員ニ轉嫁サルコトヲ期待スルノニ、此轉嫁カ必スシモ實現スルトハ保證出來ス、其爲メ立法者ノ期待ニ反シタ不公平ヲ生スルノテハナイカトモ考ヘラレル。併シ冷靜ニ考ヘルト、此稅ノ如キハムシロ期待セラレタ轉嫁ノ行ハレ易キモノトイフテ良ク(註一三)、此點ニ關スル心配ハ絶無トハイヘヌマテモ、殆ントイフニ足ラヌモノトシテ良イ。



(註一三) わぐな一ハ、此ニ於テ通例、否ナ殆ント例外ナク、各ノ會員カ全ク稅ヲ負フコトトナルテアラウトイフテ居ル<sup>21)</sup>

### (二) 財政收入上

(A) 其長所——此稅カ兎モ角モ、一ノ收入源テアリ、且ツ又、或度マテ收入ノ屈伸力ヲモ有ツテ居ル。財政需要ノ増減ニ際シテ稅率ヲ増減スルニ於テ、良ク其目的ヲ達シ得ル。必要ノ増シタ爲メニ稅率ヲ引上クルモ、課稅物件及標準カ大ニ減退シテ收額カ減少スルナトイフコトハ殆ントナイ。又或度マテ社會ノ進歩ニ伴レテ此カ課稅物件及標準カ増加シ、隨ツテ自然增收ヲ期スルコトヲ得ルトイフコトモアル。

(B) 其短所——但タ此稅ノ收額カアマリ大ナルモノテハナイトイフコトカアツテ(註一四)、此點カラ大ナ重サヲ有テ得ストイフコトハアル。併シ收額ハ假令小クテモ、今日ノ財源缺乏ノ時世ニハ決シテ無意義ノモノテハナイトモイフコトヲ得ル。

(註一四) ぼーリウーハ、此稅ノ缺點トシテ收入ノ大ナラサルコトヲ擧ケ、ばすてーぶる其他モ之ヲ指摘ス此ヲ實例カライフテモ、佛國ノ此稅採用當初ノ一八七二年ニハ三六二、三九五法テアツタカ、一八七三年ニハ一、三四二、九八四法トナリ、一八七四年ニハ一、四二三、九三二法……一八八八年ニハ一、四八〇、〇〇〇法、……降ツテ一九二五年ニハ三、五〇〇、〇〇〇法トイフニ過キナイ<sup>22)</sup>

21) Wagner, a. a. O. S. 782.

22) Beaulieu, l. c. p. 932. Bastable, l. c. p. 501. Kato, a. a. O. S. 87. Scholz, a. a. O. S. 81.

### (三) 國民經濟上

#### (A) 其長所

(い) 其積極的ナルモノ——此稅ハ之ニヨリテ或度マテ有閑階級ヲ抑制シ、彼等ヲシテ一層勤勉ナラシメ、産業ニ從ハシメルコトトナルトイフヲ得ル(註一五)。

(註一五) 佛國ノ此稅創設ノ理由ニ多少此事カアツタ<sup>23)</sup>

(ろ) 其消極的ナルモノ——而カモ此稅カ往々ニシテ多クノ稅ニ見ルヤウナ、財産元本ヲ侵蝕スルトカ、産業交通ヲ妨害スルトカイフ事カ之ナクテ濟ムトイフコトモアル。(註一六)。

(註一六) ぼーリウーハ、此稅カ商業生活ヲ妨クルコトナシトイフテ居ル<sup>24)</sup>

(B) 其短所——併シ又、此稅アルカ爲メニ人々ノ活氣ヲ鈍ラシメ、且ツ商業取引ノ進捗ヲ妨クルトイフコトカ生シ得ル。元來、人ハ年中、働イテノミ居レルモノテナク、働イテノミ居ルヘキモノテモナイ。人ハ働キツツモ慰安娛樂ヲ有タナケレハナラヌ。此稅カ眞ニ遊ンテ居ル有閑人ヲ課スルタケテハ無害有益テアルカ、此ノ大ニ活動シテ居ル人ノ慰安材料ヲモ抑制シテ、其爲メ彼等ノ活動力ヲ鈍ラシムルタケニテハ有害ナリトシナケレハナラヌ。又今日ノ經濟社會ニテハ人ト交渉スル範圍カ廣ク、此社交俱樂部ニテ談笑シテ居ル間

23) Wagner, a. a. O. S. 782. Graf, a. a. O. S. 191.

24) Beaulieu, l. c. p. 432.



ニ其取引ノ進捗スルトイフコトカ少クナイ。今此俱樂部ニ課稅スルトキハ、折角、此有益ナル取引ノ進行ヲ妨クルノ結果トナルトイフコトモアル。愈々以テ經濟ノ發達ノ上ニ望マシカラストイフモノテアル。併シ、サウハイフモノノ此稅ヲ課シタカラトイフテ、其カ爲メニ夫ノ俱樂部利用者ヲシテ其利用ヲ廢止セシメルトイフホトノモノテハアルマシク、此稅カ活動者ノ活動ヲ鈍ラシ經濟交通ノ進行圓滿ヲ妨クルトイフコトモ、大シタモノテハアルマイト思ハルル。

#### (四) 社會政策上

(A) 其長所——此稅ノ如ク大體ニ於テ有閑有產階級ヲ課稅スルモノハ、下層無產大衆ニ於テ良キ感知ヲ有タシムルトイフコトカアツテ、幾分カ社會的反感ヲ緩和スルニ足ルシ、他方、此カ收額カ社會事業費ニ向ケラレルナラハ、此點カラシテモ社會政策上有益テアルトシナケレハナラス。

(B) 其短所——併シ此稅カ單ニ有產階級ノミノ負擔トナラスシテ、下層無產階級モノ俱樂部ヲ課スルコトアルタケテハ、社會政策上遺憾ノコトトシナケレハナラス。併シ其課稅ハ自ラ輕イ負擔ニ止マリ、上層社會ノモノニ比シテハ遙カニ樂ナモノニ過キナカラウカラ、

其ヲ大シタ缺點トハイフニ及フマイ。

#### (五) 文化政策上

(A) 其長所——俱樂部カ本來社會生活ヲシテ有意義ナラシムル良キ制度トイフヘキモノテアルケレトモ、實際ニハ理想通りニ往カスシテ、此ニテ惡シキ習慣カ養ハレ、惡シキ風儀カ行ハレ、惡徳トイフヘキモノヲ増長スルコトカ少クナイ。其レタケニ於テ之ヲ抑制スヘキ課稅カ良キモノタトイヘル(註一七)。

(註一七) ぼーリゆーハ、嚴格ナル立法者ノ好ム所ノ課稅物件ノ一ハ各種ノ遊ヒタトシテ、俱樂部ヲ其一ト爲シ、ソシテ此俱樂部ハ原則上ハ良キ制度タカ實際ニハ往々ニシテ惡シキ習慣ヲ行フモノタトイフテ居ル<sup>25)</sup>

(B) 其短所——所カ此課稅ニヨリテ、文化ノ向上ニ貢獻スヘキ有意義ナル俱樂部ヲモ抑制スルノ缺點ヲ伴フ(註一八)。一部ノモノハ極メテ上品ナ良好ナ俱樂部テアリ、又一部ノモノハ、多少ノ不良分子ヲ含ムニセヨ同時ニ學藝ノ進歩、或ハ趣味ノ向上、廣ク文化ノ進展ニ資スルモノテアル。之ヲ課稅スルノハ文化政策上ハ望マシカラストモイヘル。左リトテ俱樂部中有益ナルモノヲ免稅スルトシテモ、課稅スルモノト免稅スルモノトノ分界ヲ定メルコトカ困難テアリ、強キテ之ヲ定メルトキニ、立法者ノ恣意、又ハ行政官ノ恣意ノ行ハル

25) Beaulieu, l. c. p. 431. 432.



ルノ避クヘカラサルコトトモナル(註一九)。特ニ其比較的有益ノ度ノ劣ルモノテアツテモ、之ヲ課稅ニヨリテ抑制スルトキニ、我國ノ如キ處テハ、之ニ代ルヘキ待合其他類似ノ不良ナモノノ發達ヲ進メル恐モアル。タカラ其ヨリハマタ、俱樂部ヲ自由ニ發展セシメタ方カマシタトモイフヲ得ル。尤モ更ニ進ンテ考フルトキニ、此俱樂部ニ課稅スルトシテ、之カ代用物タルヘキ待合等ヘハ其レタケ一層重イ稅ヲ課シテ、此ヘノ轉向ヲ防クトイフコトカ出來ヌコトモナイ。

(註一八) ぼーりゆーハ此稅力眞ニ有益ナル協會ニ齎ラス所ノ苦痛ヲ、此稅ノ缺點トシテ擧ケテ居ル<sup>26)</sup>

(註一九) ぼーりゆーハ、此カ多少立法者ノ獨斷タトイフテ居ル<sup>27)</sup>

(六) 課稅技術上及人民負擔上

(A) 其長所——此稅ノ課稅物件ハ一定ノ會場ヲモ有チ、多少公然ノモノタカラ之ヲ捕捉スルコトモ容易テアリ、課稅スヘキ俱樂部ト免稅サルル類似ノモノトノ限界モ左マテ六ツカシイコトテハナク(註二〇)。其課稅標準ヲ定メルノモ左マテ六ツカシイモノテナイ。其ノ特ニ會場ノ賃貸價格ノ如キ技術上之ヲ定メルコトハ他ニ先例モ少カラスシテ、全ク容易テアル(註二二)。其レニ其課稅物件ニシロ課稅標準ニシロ、俱樂部ニ就イテ行ハレテ、部員各個ノ

26) Beaulieu, l. c. p. 432.  
27) Beaulieu, l. c. p. 432.

經濟ニツイテ行ハレヌカラ、其經濟ノ内狀ニ立入ラス、彼等トシテ、負擔シ易イトイフコトモアル(註二二)。

(註二〇) ぐらーふハ、此ニテハ、租稅義務ノ限界ニ關スル解釋上ノ困難モ、一般ニ心配スルノ必要ナシトイフ<sup>28)</sup>

(註二二) ぐらーふハ、佛國ノ一八九〇年ノ改正ニ於テ會場ノ賃貸價格ヲ課稅標準ニ加ヘタコトニ關聯シテ、特ニ此賃貸價格ニ於テ、特段ナル困難ヲ伴フコトナクシテ、良ク適當ナル隱匿シ難キ外形標準カ得ラルル。最多クノ場合ニ高價ナ即チ奢侈的ナ會館カ、大袈裟ニ設備サレタ奢侈的ナ社交ノ徵證タトイフコトヲ假定シ得ルカラトイフテ居ル<sup>29)</sup>

(註二) ぼーりゆーハ、此稅カ人々ノ私生活ヲ妨クルコトナキヲ指摘シテ居リ、ぐらーふモ、此稅ニアリテハ、義務者ノ痛マシキ厄介トイフコトモ、一般ニ心配スルニハ及ハヌトイフ<sup>30)</sup>

(B) 其短所——尤モ此稅ニ於ケル課稅物件ノ範圍ヲ定メルニツキ、其除外例ヲ定メルニツキ、其ハ立法上ノミナラス、行政上ニモ多少面倒カアルシ、課稅標準ノ評定トイフコトモ或程度マテ六ツカシク其カラシテ遁脫ノ餘地アリトモイヘルノテアルカ、併シ此種ノ事ハ結局多少ハ何ノ稅ニモ免レヌ事テアツテ、根本的重大ナ點ニ於テ並ニ他ノ諸ノ點ニ於テ此稅カ承認サレルトイフナラハ、此ニイフ點ノ如キハ全ク忍ビ得ヘキモノトイハナクテハナラナイ。

28) Graf, a. a. O. S. 191.  
29) Graf, a. a. O. S. 192.  
30) Beaulieu, l. c. p. 432. Graf, a. a. O. S. 191.



## 結 論

以上要之、俱樂部稅ハ一ノ奢侈的消費稅テアリ、娛樂稅ノ特殊ナルモノトモイフヘク、公平課稅上、財政收入上、國民經濟上、社會政策上、文化政策上、課稅技術上、或度マテ缺點ナキヲ得ヌ所テハアルカ、併シ同時ニ右ノ凡ヘテノ見地カラシテ、相當辯護シ得ヘキモノヲ有ツ所テアリ、現ニ佛國ニ先例モアルノタカラ、之ヲ我國ノ如キニ、移シ作ルノモ不都合テハナイ。之ヲ作ルトシテ、其構造ハ佛國ノ例ヲ參照シテ、更ニ、或度ノ改良ヲ加ヘ、特ニムシロ地方稅トシテ地方ノ社會改良資源ニ供スルノカ最適切ノヤウニ思フ。

## 第六部 租稅制度

## 第十二編 其後ノ國稅改正

昭和二年三月末、稅法ニ一部改正カ行ハレタ。其ハ登録稅ト印紙稅ト砂糖消費稅ト關稅トニ於テアル。其爲メ第七卷ニ掲ケタ本邦國稅大觀ニ次ノ改訂ヲ加ヘテ置ク。

(一) 登録稅——(A) 課稅物件ノ(イ) 積極的範圍ハ不動産登記ヲ初メトシ、一定ノ諸多ノ官簿ニ於ケル登記又ハ登録。(ロ) 消極的範圍ハ政府自己ノ爲メニスル登記又ハ登録ヲ初メトシテ、諸ノ列舉サレタルモノトスル。(B) 納稅義務者ハ登記又ハ登録 申請者テアリ、(C) 課稅標準及稅率ハ、(イ) 比例率ナルカ多ク、其ニモ(1) 從價比例ナルカ多イ。其最高率ハ千分四十五、最低ハ千分一トサル。(2) 從量比例ナルカ多少アル。例之、其低イ處テ、船舶登録除籍ノ每十噸五錢、高イ處テ、砂鑛區設定新規登録ノ採取區域、河床ハ每二里迄、其他每十萬坪マテ、拾五圓ノ如シ。(ロ) 定額率ナルモ多イ。高キハ一件二百圓、低イノハ拾錢テアル。(ハ) 特殊累進ナルノカアル。例之、地上權永小作權賃借權ノ存續ノ長短ニヨル千分一ヨリ千分二



十マテノ累進ノ如シ。

(二) 印紙稅——(A) 課稅物件ノ(イ) 積極的範圍ハ財産權ノ創設、移轉、變更若クハ消滅ヲ證明スヘキ證書帳簿、及財産權ニ關スル追認又ハ承認ヲ證明スヘキ證書ノ作成トシ、(ロ) 消極的範圍ハ、(1) 金額ノ小額ナルノ故ニ免稅サレルモノ例之、壹圓未滿ノ物品切手、拾圓未滿ノ一定ノ列舉サレタル證書(此ニ免稅點カアル譯タ)。(2) 官公署ニ關スルノ故ニ又ハ非營業ナルノ故ニ免稅サレルモノ例之、官廳又ハ公署ヨリ發スル證書帳簿、非營業受取書。(3) 社會政策上ノ理由カラ免稅サレルモノ、慈善又ハ公共事業ノ爲メニスル寄附ニ關シ官廳又ハ公署ニ提出サル、證書、產業組合ノ發スル出資證券若クハ貯金通帳又ハ住宅組合ノ發スル出資證券、貯金通帳、積金通帳、又ハ積金證書(貯蓄銀行法第一條ノ貯金又ハ積金ニツキ發スルモノニ限ル)、農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券、質札又ハ質物通帳(質屋營業者ノ發スルモノニ限ル)、勤務通帳、乘車券、乘船券、各種入場券。(4) 營業上ノ支障ヲ顧慮シテ特ニ免稅トシタルモノ、賣買仕切書、物品又ハ有價證券ノ賣買契約證書、送狀、小切手。(5) 附屬的ノモノトシテ免稅サレルモノ例之、主タル債務證書ニ併記シタル擔保契約書。(B) 納稅義務者ハ證書、帳簿ノ作成者トシ、(C) 課稅標準及稅率ハ、(イ) 階級率ヲ課スルモノハ、證

書ハ一通毎ニ、帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ金高ノ大小ニ應シテ課スルモノテ、不動産、鐵道財團、軌道財團、又ハ船舶ノ所有權移轉ニ關スル記事、消費貸借ニ關スル證書、請負ニ關スル證書、運送ニ關スル證書、備船契約書ニツキ、貳錢ヲ最低トシ壹圓ヲ最高トスル。(ロ) 定額率ヲ課スルハ同シク證書ハ一通毎ニ、帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ(1) 貳錢ヲ課スルモノ委任狀、(2) 參錢ヲ課スルモノ約束手形爲替手形其他、(3) 五錢ヲ課スルモノ預金以外ノ通帳、(4) 五拾錢ヲ課スルモノ判取帳トスル。

(三) 砂糖消費稅——(A) 課稅物件ノ(イ) 積極的範圍ハ内地消費ノ目的ニテ製造場又ハ保稅地域ヨリ引取ラルル砂糖、糖蜜、糖水テアリ、(ロ) 消極的範圍ハ政府ノ承認ヲ受ケ外國輸出ノ目的ニテ引取ラルル砂糖糖蜜糖水、政府ノ承認ヲ受ケ砂糖糖水又ハ酒精製造ノ原料トシテ引取ラルル砂糖及糖蜜、政府ノ承認ヲ受ケ飲食スヘカラサル處置ヲ施シ引取ラルル糖蜜、政府ノ承認ヲ受ケ消費稅ヲ課セラレタル砂糖ニテ製造スル糖水、朝鮮ニ移出スル砂糖トスル。

(B) 納稅義務者ハ引取人、(C) 課稅標準及稅率ハ引取高ニ對シ百斤ニツキ、壹圓乃至拾圓ノ稅ヲ課スル。砂糖ニツイテハ色相和蘭標本ニヨリテ差等ヲ附スル。一種ノモノカラ見レハ從量比例テハアルカ、異ツタ品等ノ砂糖ノ間ニハ特殊累進カ行ハレテ居ル譯テアル。(D) 特別



宥恕トシテ、煉乳原料ノ砂糖ニツキ稅相當金額ノ下付ヲ請求スルヲ得。輸出菓子、糖果ニ就キ、之ニ含有スル甘蔗糖百斤當リ五圓ノ下付ヲ請求スル得ル。

(四)關稅中ニモ砂糖ノ稅率カ改メラレ、其他若干ノ物品ニツイテ改正カ行ハレタ。ソシテ今度ノ關稅改正中ニ、關東州生産ニ係ル一定ノ物品ノ特惠關稅ニ於テ、從來ノ免稅ノ外、減稅ニ止マルノモ生シタ。

## 第十四編 現行地方稅制度

(一)大綱——地方稅ハ道府縣稅ト市町村稅トヨリ成ル。何レモ特別稅ト附加稅トヨリ成リ、其主要稅ハ人稅ト物稅トヨリ成ル。道府縣ノ附加稅ハ、所得稅、地租、營業收益稅、鑛業稅、砂鑛區稅、取引所營業稅ニ對スルモノテ、其特別稅ハ、特別地稅、家屋稅、營業稅、雜種稅トスル。市町村ノ附加稅ハ道府縣稅ニ對スル其ト國稅ニ對スル其トヨリ成リ、道府縣稅ニ對スルモノトシテハ特別地稅、家屋稅、營業稅、雜種稅ニ對スルモノテ、國稅ニ對スルモノトシテハ、(所得稅)、地租、營業收益稅、鑛業稅、砂鑛區稅、取引所營業稅ニ對スルモノテアル。市町村ノ特別稅トシテハ戶數割、雜種稅カアル。府縣テハ地租附加稅、特別地稅、家屋稅、營業收益稅附加稅、營業稅(此外ニ鑛業稅、砂鑛區稅、取引所營業稅ノ附加稅モアリ)ヲ主タル物稅トシテ、之ニ配スルニ所得稅附加稅トイフ人稅ヲ以テシ、別ニ雜種稅ヲ附帶シテ居ル。市町村テハ地租附加稅、特別地稅附加稅、家屋稅附加稅、營業收益稅附加稅、營業稅附加稅(外ニ鑛業稅、砂鑛區稅、取引所營業稅ノ附加稅カアル)ヲ主タル物稅トシテ、之ニ配スルニ戶數割(例外的ニ所得稅附加稅)トイフ人稅ヲ以テシ、別



ニ雜種稅附加稅ト特別ナル雜種稅トカ附帶サレテ居ル。

(二)特別稅(本文中、特ニ府縣ノミヲ指スモ、其ハ凡ヘテ道ニモ當ル)

(A)道府縣特別稅

(い)特別地稅——(1)課稅物件ハ國稅ニ於ケル免稅點以下ノ田畑テアリ、(2)課稅標準及稅率ハ、北海道ニテハ法定地價百分二・六以內、府縣ニテハ法定地價百分三・七以內トス。一定ノ場合、內務大藏大臣ノ許可ヲ得テ制限外課稅ヲ爲シ得ル。其他、國稅ニ準スル。

(ろ)家屋稅——(1)課稅物件(其積極的範圍ハ住家、倉庫、工場其他ノ各種ノ建物トシ、(b)消極的範圍ハ一時ノ使用ニ供スル家屋、賃借價格一定額以下ノ家屋、公益上其他ノ事由ニヨリ課稅ヲ不適當トスル家屋ニ就キ府縣之ヲ定メル。農業倉庫、私立學校ノ建物ハ課稅物件ヨリ除ク。(2)納稅義務者ハ家屋所有者トシ、(3)課稅標準、(a)原則ハ家屋ノ賃借價格トシ、其ハ貸主カ公課、修繕費其他家屋ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ニテ家屋ヲ賃借スル場合ニ、賦課期日ノ現狀ニヨリ貸主ノ收得スヘキ金額ノ年額。(b)例外(昭和四年度限り特例)トシテイ)建物ノ構造、坪數、用途、敷地ノ地位ニヨリ家屋ニ等差ヲ設ケテ賦課スルヲ得ル(或ハ府縣自ラ之ヲ定メ、或ハ府縣カ市町村ニ配賦シテ市町村ヲシテ之ヲ定メ

シメル)。(ロ)府縣ハ內務大藏大臣ノ許可ヲ得テ別ノ方法ニ依ルコトヲ得ル。(4)賦課率(a)原則、賃借價格ニ對スル其ハ、府縣カ內務大藏大臣ノ許可ヲ受ケテ之ヲ定メル。(b)例外トシテ其他ノ標準ニ依ル場合ニハ、其豫算總額ニツキ內務大藏大臣ノ許可ヲ要スル。(5)課稅方法、(a)家屋稅ノ賦課期日後建築サレタル家屋ハ、工事竣成ノ翌月ヨリ月割賦課。(b)地方稅法ニ基キ家屋稅ヲ賦課セサル家屋又ハ法律ニヨリ家屋稅ヲ賦課スルヲ得サル家屋カ、家屋稅ノ賦課期日後、之ヲ賦課シ得ヘキモノトナリタルトキハ其翌月ヨリ月割賦課。(c)家屋稅ノ賦課期日後、家屋カ滅失シ其他家屋トシテノ效用ヲ失ヒタルトキ、地方稅法ニ基キ家屋稅ヲ賦課セサル家屋又ハ法律ニヨリ家屋稅ヲ賦課スルヲ得サル家屋トナリタルトキハ、納稅義務者ノ申請ニヨリ其月迄月割賦課。尤モ本稅賦課後右ノ事實ヲ生スルモ其賦課額ヲ變更セス。(6)配賦ノ場合、(a)府縣カ家屋稅總額ヲ管内市町村ニ配當スル場合ニハ、其總額ノ半額ハ、豫算ノ屬スル年度ノ前年度始メニ於ケル市町村內宅地々價ニ、他ノ半額ハ、豫算ノ屬スル年度ノ前年度始ニ於ケル市町村ノ戶數(法人ノ本店及支店ノ數ヲ含ム)ニ比例シテ配當スル。(b)府縣費ノ全部ノ分賦ヲ受ケタル市ニテハ前記(3)ノ(b)、(4)ノ(b)準用。

(は)營業稅——(1)課稅物件(a)積極的範圍イ)運河業、棧橋業、船舶碇繫場業、貨物陸揚場



業、兩替業、湯屋業、理髮業、寄席業、遊技場業、遊覽所業、藝妓置屋業、(ロ)國稅營業收益稅ヲ課スヘク列舉サレタル個人營業ニシテ免稅點以下ノモノ、(b)消極的範圍(イ)政府ノ發行スル印紙切手類ノ賣捌、度量衡ノ製作修覆又ハ販賣、自己ノ採掘ノ又ハ採取シタル鑛物ノ販賣、新聞紙法ニ依ル出版、營業收益稅法施行地外ニ在ル營業場ニテ爲ス營業、個人ノ自己ノ收穫シタル農產物林產物畜產物若クハ水產物ノ販賣又ハ之ヲ原料トスル製造(但シ特ニ營業場ヲ設ケテ爲ス販賣又ハ製造ヲ除ク)、法人營業、營業收益稅法八條ニヨリ營業收益稅ヲ免稅サレタル重要物產製造業者、(ロ)専ラ行商又ハ露店營業ヲ爲スモノ、公益上其他ノ事由ニヨリ課稅ヲ不適當トスルモノニシテ府縣ノ定ムルモノ。(2)納稅義務者ハ營業者、(3)課稅標準(a)營業純益カ、(b)收入金額(賣上金額、請負金額、報償金額ヲ含ム)、資本金額、營業用建物ノ賃賃價格、若クハ從業者ノ數カ、(c)定額カニヨリ、三種ノモノトモニ凡ヘテ當分ノ内、內務大藏大臣ノ許可ヲ要スル。(4)賦課額、(1)ノ(a)ノ(ロ)ノ營業ノハ國稅營業收益稅ノ最低額未滿トスル。(5)課稅方法、(a)完全又ハ不完全賦課、(イ)年稅又ハ期稅タル營業稅ノ賦課期日後、納稅義務ノ發生シタルモノニハ、其發生ノ翌月ヨリ月割賦課。其賦課期日後、納稅義務ノ消滅シタルモノニハ其消滅シタル月迄月割賦課、其賦課後營業ノ承

繼アリタルトキハ、前營業者ノ納稅ヲ後ノ營業者ノ其ト見做シテ此等ニ依ラス。(ロ)月稅タル營業稅ノ賦課期日後、其月十五日迄ニ納稅義務發生シタルトキハ、其營業稅ノ全額、十六日以後發生シタルトキ又ハ十五日迄ニ消滅シタルトキハ其半額ヲ賦課スル。(b)府縣相互間ノ賦課、一府縣ニテ納稅義務者消滅シ、他府縣ニテ發生シタルトキハ、其義務ノ發生シタル府縣ハ、其消滅シタル府縣ニテ賦課シタル部分ニツキ營業稅ヲ賦課スルヲ得ス。(c)營業稅ニ配賦課稅ヲ行ハス。府縣稅ノ全部ノ分賦ヲ受ケタル市カ直接課スルコトハアル。(d)其他賦課方法ニツキテハ當分、內務大藏大臣ノ許可ヲ要スル。

(ニ)雜種稅——(1)課稅物件(a)其積極的範圍(イ)船、車、水車、市場、電柱、金庫、牛馬、犬、狩獵、屠畜、不動産取得、漁業、遊藝師匠遊藝人相撲、俳優藝妓其他之ニ類スル者、演劇其他ノ興行、遊興、流木(木流、流材、流竹木、木材川下、木材川流等ヲ含ム)、立木伐採(立竹木伐採ヲ含ム)、棧(馬棧ヲ含ム)、煽風機(旋風器、扇風機等ヲ含ム)、傭人(雇傭ヲ含ム)、代書人(代書業、代書等ヲ含ム)、溫泉(鑛泉、鑛泉使用、鑛泉湯槽、溫泉場、鑛泉浴場、鑛泉溫泉、溫泉內湯、鑛泉場等ヲ含ム)、筏、玉突臺(球戲臺ヲ含ム)、廣告、鵜(鵜使ヲ含ム)、船舶取得、段別割、觀覽、遊漁ノ中ニツキ府縣ニテ取捨スルヲ得ル。(ロ)



其他特別ノ必要アルトキ内務大藏大臣ノ許可ヲ受ケテ賦課スル。(b)消極的範圍、(イ)公益上其他ノ事由ニヨリ不適當トスルモノ、府縣ニテ之ヲ定メル。(ロ)特例、特ニ不動産取得ニツキ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル不動産ノ取得、法人ノ合併ニ因ル不動産ノ取得、信託財産ニシテ委託者カ信託行爲ニヨリ信託利益ノ全部ヲ享受スヘキ不動産ヲ委託者ヨリ受託者ニ移ス場合ニ於ケル不動産ノ取得(但シ當該不動産ニ就キ其後受益者ヲ變更シタル場合及信託法第二十二條ニヨリテ固有財産ト爲シタル場合ニハ、其時ニ不動産ノ取得アリタルモノト見做シテ本稅ヲ課スル)、信託ニツキ受益者又ハ歸屬權利者ノ不動産ノ取得、信託ノ受託者交迭ノ場合ニ於ケル新受託者ノ不動産ノ取得。更ラニ住宅ノ改良又ハ其供給緩和ノ目的ニテノ小住宅ヲ建築スルモノノ不動産取得。ソレカラ遊興ニ對シ消費金額ノ全部ヲ標準トシテ賦課サルモノハ遊興者一人當リ一回ノ消費金額貳圓ニ滿タサルモノ、觀覽ハ入場料一人一回拾五錢以内ノモノ。傭人ハ專ラ營業又ハ職業ニ從事スルモノ並ニ家事ト營業職業トニ兼ネ從事スルモノ(家事用ノ僕婢ノミニ課スルコトトナル)トス。電柱稅ハ賦課期日直前一年分ノ事業年度ノ利益配當年六分未滿ノトキハ課セス。(2)納稅義務者、(a)船、車、水車、電柱、金庫、牛馬、犬、屠畜ニアリテハ所有者、(b)市場ハ經營者、(c)狩獵ハ免許ヲ受

クル者、(d)不動産取得ハ取得者、(e)遊藝師匠等ハ其人、(f)演劇等ノ興行ハ興行ヲ爲ス者、(g)遊興ハ遊興ヲ爲ス者トス。(3)課稅標準、賦課率又ハ賦課額ハ府縣ニテ之ヲ定メルカ、之ニ制限アリ。(a)電柱稅ハ年稅ニテ、(イ)木柱本柱一本ニツキ七拾錢以内、(ロ)木柱支柱一本ニツキ前記制限額ノ半額以内、(ハ)鐵柱一本ニツキ木柱本柱ノ制限額ノ一倍半以内、(ニ)鐵塔一基ニツキ木柱本柱ノ制限額ノ三倍以内(但シ特別事情アレハ内務大藏大臣ノ承認ヲ受ケテ鐵塔ニ對シ前記制限ヲ超ヘテ賦課スルヲ得)。(b)遊興稅ハ(イ)消費金額ノ全部ヲ課稅稅率トスルトキハ消費金額ノ百分五以内、(ロ)消費金額ノ一部(花代ノ類)ヲ標準トスルトキハ消費金額ノ百分七以内。(c)狩獵稅ハ狩獵法第八條ニ規定スル一等及二等ニ當ルモノハ國稅壹圓ニツキ拾參錢以内、同三等ニ當ルモノハ國稅壹圓ニツキ拾錢以内トスル。(d)不動産取得稅ハ不動産價格ノ千分七以内。(e)觀覽稅ハ遊興稅ノイヲ準用。(4)課稅權者、(a)船ハ主タル碇繫場所在府縣(主タル其ナキトキ又ハ之ニツキ異議アルトキハ内務大藏大臣之ヲ定メル)。(b)車ハ主タル定置場所在府縣(之ニツキ前記船、同様ノ括弧内ノ註ナキヲ遺憾トス)、(c)水車、電柱、金庫、市場、不動産取得ハ所在地府縣、(d)牛馬犬ハ飼育地府縣、(e)屠畜ハ屠殺地府縣、(f)狩獵、遊藝師匠等ハ其人ノ住所地府縣(遊藝師匠以下ハ住所地ニテ課セサルト



キハ、三月以上滞在ノ府縣)、(g)興行、遊興ハ行爲地府縣トス。(5)課税方法、(a)同一人ニシテ遊藝師匠、遊藝人、相撲、俳優、藝妓其他之ニ類スル者ノ二以上ニ該當スルトキハ、其一ニツキ課ス。税額異ルトキハ多キニ從フ。(b)漁業ニツキテハ當分從來ノ例ニ依ル。(c)其他、前記、營業税ノ(5)ノ(a)(b)準用。

### (B) 市町村特別税

(い) 戸數割——(1)課税物件及納税義務者(a)積極的範圍ハ一戸ヲ構フル者又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者トス。(b)消極的範圍、公益上其他ノ事由ニヨリ賦課ヲ不適當トスルモノハ市町村ニテ之ヲ定メル。(2)課税標準ハ所得ト見立トスル。(a)見立ハ總額ノ十分二ヲ超ユルヲ得ヌ特別事情アルトキハ當分ノ間、十分四マテトスルヲ得。(b)所得ハイ)人的ニハ、義務者ト生計ヲ共ニスル同居者ノ所得ヲ義務者ノ所得トスル。義務者ヨリ受クル所得ハ除ク。(ロ)地方間ニハ同一人ニ數市町村ニテ戸數割ヲ賦課スル場合ニハ、各其市町村ニ於ケル所得ヲ其者ノ標準所得トスル。分別シ難キモノハ關係市町村ニ平分スル。戸數割ヲ納ムル市町村以外ノ地ニ於ケル所得ハ住所地市町村ニ於ケル所得トスル。凡ヘテ此等ニツキ關係市町村ノ間ニ異議アルトキハ、一府縣内ニ止マルモノハ府縣知事、數府縣ニ渉ルモノハ内務大藏大臣

之ヲ定メル。(ハ)物的ニハ、(一)軍人從軍中ノ俸給手當、扶助料及傷痍病者ノ恩給又ハ退隱料、旅費學資金法定扶養料及救助金、營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得、日本ノ國籍ヲ有セサル者ノ外國ニ於ケル資産營業又ハ職業ヨリ生スル所得ヲ除キ、(二)所得計算ノ方法ハ、營業ニ非ル貸金ノ利子並ニ公債社債預金貯金ノ利子ハ前年中ノ收入金額、俸給給料歳費年金恩給退隱料及此等ノ性質ヲ有スル給與ハ前年中ノ收入金額(但シ前年一月一日ヨリ引續キ支給ヲ受ケタルニ非ルモノハ、其年ノ豫算年額)。賞與又ハ賞與ノ性質ヲ有スル給與ハ、前年三月一日ヨリ其年二月末日迄ノ收入金額。法人ヨリ受クル利益若クハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ハ前年三月一日ヨリ其年二月末日マテノ收入金額(但シ無記名株式ノ配當ハ同期間内ニ支拂ヲ受ケタル金額)。山林ノ所得ハ、前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額。其外ノ所得ハ前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額(但シ前年一月一日ヨリ引續キ有シタルニ非ル資産營業又ハ職業ノ所得ハ其年ノ豫算年額)。信託財産ニツキ生スル所得ハ其所得ヲ、信託ノ利益トシテ享受スヘキ受益者カ信託財産ヲ有スルモノト見做シテ計算シ、控除スヘキ經費ハ、種苗、蠶種肥料ノ購買費、家畜其他ノモノノ飼養料、仕人品ノ原價、原料品ノ代價、場所物件ノ修繕料又ハ借入料、場所物件又



ハ業務ニ係ル公課、雇人ノ給料其他收入ヲ得ルニ必要ナルモノニ限り、家事上ノ費用及之ニ關聯スルモノヲ除ク。(三)右ニヨリ算出シタル所得金額壹萬貳千圓以下ナルトキハ、其所得中、俸給給料歳費年金恩給退隱料賞與及此等ノ性質ヲ有スル給與ニツイテハ其十分一、六千圓以下ナルトキハ同十分二、參千圓以下ナルトキハ同十分三、千五百圓以下ナルトキハ同十分四、八百圓以下ナルトキハ同十分五ヲ控除スル。(四)斯クシテ計算サレタル金額參千圓以下ナルトキニ、義務者及之ト生計ヲ共ニスル同居者中、年度開始ノ日ニ於テ十四歳未滿若クハ六十歳以上ノモノ又ハ不具癱疾者アルトキハ、義務者ノ申請ニ依リ、所得千圓以下ノトキハ一人ニツキ百圓以内、所得貳千圓以下ノトキハ一人當リ七拾圓以内、所得參千圓以下ノトキニハ一人當リ五拾圓以内ヲ控除スル。(五)尙一定ノ所得ニハ減損更訂ヲ許ス。(3)制限規定トシテ、市ニテハ其總額、當該年度ニ於ケル市税豫算總額ノ百分ノ三十七ヲ超ユルヲ得ス。町村ニテハ同上百分六十七ヲ超ユルヲ得ス。尤モ此等ハ特別必要アルトキ、内務大藏大臣ノ許可ヲ得テ制限超過課税ノ途アリ、

(ろ)雜種税——(1)此ハ府縣稅附加稅タルコト多カルヘキモ、ママ市町村特別稅タルコトカアル。特別稅ノトキニハ大體、府縣稅ニ準スルカ、(2)制限トシテ、(イ)市町村ノ附加又ハ

特別電柱稅ハ、市、木柱本柱一本ニツキ參圓ニ相當スル額以内、町村、木柱本柱一本ニツキ一圓五十錢ニ相當スル金額以内。木柱支柱、鐵柱、鐵塔ニ對スル制限ハ、前記府縣ノ制限ヲ準用スル(特別ノ事情アルトキハ、附加稅ニツキテハ府縣知事ノ承認ヲ受ケ、特別稅ニツイテハ内務大藏大臣ノ許可ヲ受ケ、鐵塔ニ對シテ前記制限ヲ超エテ賦課スルヲ得)。尤モ賦課期日直前一年分ノ事業年度ノ利益配當年六分未滿ノトキハ之ヲ課セサルコトトスル。(ロ)遊興稅ハ、消費金ノ全部ヲ課稅標準トスルトキハ、府縣カ之ヲ課セサルトキハ消費金額ノ百分十以内、府縣稅ノ附加稅トスルトキハ其課率ヲ通算シテ消費金額ノ百分十以内、消費金額ノ一部(花代ノ類)ヲ標準トスルトキハ、府縣ノ課セサルトキハ消費金額ノ百分十四以内、府縣稅ノ附加稅トシテ課スルトキハ、通算シテ消費金額ノ百分十四以内トスル。(ハ)不動産取得稅ハ府縣稅ノ附加稅タルト市町村特別稅タルトヲ問スハ、不動産價格ノ千分十二以内トスル。

(三)附加稅(本文中、府縣ニツイテイフモノハ道ニモ當ル)

(A)道府縣ノ國稅附加稅

(い)地租附加稅——宅地租百分三十四以内、其他ノ地稅百分八十三以内。尤モ制限外課



税ノ途ハアル。

(ろ) 營業收益税附加税——本税百分四十一以内トシ、此税ニテハ國税本税ニテ資本利子税額控除ヲ爲ササルモノヲ營業收益税額ト見做ス。尙ホ限外課税ノ途アリ。

(は) 所得税附加税——此ニテハ第二種ヲ除ク。第一種所得税ニテハ第二種所得税ヲ控除セサルモノヲ第一種所得税額ト見做ス。尙限外課税ノ途アリ。

(に) 鑛業税附加税——鑛産税ハ百分十、試掘鑛區税ハ百分三、採掘鑛區税ハ百分七以内トシ、限外課税ナシ。

(ほ) 砂鑛區税附加税——本税ノ百分十以内トシ、限外課税ナシ。

(へ) 取引所營業税附加税——本税ノ百分十以内トス。限外課税ナシ。

(B) 市町村ノ附加税

(い) 其國税附加税

(1) 地租附加税——宅地租百分二十八、其他地租百分六十六以内トシ、限外課税ノ途ハアル。

(2) 營業收益税附加税——本税百分六十以内。限外課税ノ途アリ。

(3) 所得税附加税——通例ハ認メス。戸數割ヲ實行シ難キ市町村ニテ特ニ許可ヲ受ケテ百分七以内課スルコトヲ得。府縣費ノ全部又ハ一部ノ分賦ヲ受ケタル場合ニモ市町村カ之ヲ課スル場合アリ。尙、限外課税ノ途ハアル。

(4) 鑛業税附加税——鑛産税ハ百分十以内、試掘鑛區税ハ百分三以内、採掘鑛區税ハ百分七以内トシ、限外課税ナシ。

(5) 砂鑛區税附加税——本税百分十以内トシ、限外課税ナシ。

(6) 取引所營業税附加税——本税百分十以内トシ、限外課税ナシ。

(ろ) 其道府縣税附加税

(1) 特別地税附加税——(a) 百分八十以内。限外課税ノ途アリ。(b) 府縣費全部ノ分賦ヲ受ケタル市、又ハ其一部ノ分賦ヲ受ケタル市町村ニハ別段ノ定メアリ。

(2) 家屋税附加税——(a) 戸數割ヲ賦課スル市町村ニ於ケル其家屋税附加税ノ賦課率

ハ、イ) 本税百分五十以内ヲ原則トシ、ロ) 特別ノ必要アル場合、内務大臣ノ許可ヲ受ケ

テ右ノ制限ヲ超過シ百分十二以内ニテ課税スルヲ得。ハ) 更ニ一定ノ場合ニハ兩大臣ノ許可

ヲ受ケテ其制限以上ニモ課税シ得ル。(b) 兩大臣ニ於テ戸數割ヲ賦課シ難シト認メタル市町



村ニテ賦課スヘキ家屋税附加税ハイ原則トシテ一市ニテハ、其總額カ當該年度ノ市税豫算總額ノ百分三十六以内トシ、併シ所得稅附加税ヲ賦課スル場合ニハ、當該年度ノ市税豫算總額ノ百分三十以内トスル。(二)町村ニテハ、其總額カ當該年度ノ町村税豫算總額ノ百分六十以内トシ、所得稅附加税ヲ賦課スル場合ニハ當該年度町村税豫算總額ノ百分五十五以内トスル。(ロ)特別必要アルトキハ兩大臣ノ許可ヲ受ケテ制限外ノ課稅ヲ爲シ得ル。

(3) 營業稅附加税——(a)原則ハ本稅百分八十以内トシ、(b)特別必要アルトキ府縣知事ノ許可ヲ受ケテ制限ヲ超ヘテ課稅スルヲ得。

(4) 雜種稅附加税——(a)一般ニハイ原則ハ本稅總額ノ百分八十九以内トシ、(ロ)特別必要アルトキ府縣知事ノ許可ヲ受ケテ制限外ニ課稅シ得ル。(b)特ニ電柱稅、遊興稅、不動產取得稅ノ附加稅ニツキテハ特別ノ規定アリ、其點ハ市町村特別雜種稅ノ部ニ既ニ附記シタ通リテアル。

(四) 地方間課稅ノ標準

(A) 府縣相互間——(イ)納稅者ノ府縣外ニテ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若クハ其收入又ハ府縣外ニテ營業所ヲ定メタル營業若クハ其收入ニ對シ府縣稅ヲ課スルヲ得サルコ

ト、(ロ)住所滞在カ同時ニ府縣ノ内外ニ渉ル者ノ前記以外ノ收入ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキ其收入ヲ各府縣ニ平分シテ其一部ニノミ賦課スルコト、(ハ)府縣ノ内外ニ涉リ營業所ヲ定メテ爲ス營業又ハ其收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ、關係府縣ニテ營業收益稅附加稅、所得稅附加稅、鑛產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ、關係府縣知事協議ノ上、其歩合ヲ定メ、協議調ハサルトキハ、內務大臣ニテ之ヲ定メルコト、鑛區又ハ砂鑛區カ府縣ノ内外ニ渉ル場合ニ鑛區稅又ハ砂鑛區稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ鑛區又ハ砂鑛區ノ屬スル地域ノ面積ニヨリ本稅額ヲ分割シ其一部ニノミ賦課スルコト。

(B) 市町村相互ノ間——(イ)納稅者ノ市町村外ニテ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若クハ其收入又ハ市町村外ニテ營業所ヲ設ケタル營業若クハ其收入ニ對シテハ市町村稅ヲ賦課スルヲ得サルコト、(ロ)住所滞在カ市町村ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非ルモノニ對シ市町村稅ヲ賦課セントスルトキハ、其收入ヲ平分シ其一部ノミニ賦課スルコト。此住所又ハ滞在カ其時ヲ異ニシタルトキハ、納稅義務ノ發生シタル翌月ノ初メヨリ其消滅シタル月ノ終マテ月割ヲ以テ賦課スルコト。但シ賦課後、義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生スルモ賦課額ヲ變更セス。其ノ新ニ住所ヲ



有シ又ハ滞在スル市町村ニテハ賦課ナキ部分ニノミ賦課スル。ソレカラ住所滞在カ同一府縣内ノ市町村ノ内外ニ渉ル者、其住所又ハ滞在ノ時ヲ異ニシタル場合ニ於テ、其者ニ對シ戸數割(附加稅)ヲ賦課セントスルトキモ之ニ準スル。(ハ)市町村ノ内外ニテ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ、市町村長ハ關係市町村長ト協議ノ上其本稅額ノ歩合ヲ定メ、協議調ハサルトキハ府縣知事之ヲ定メ、其數府縣ニ渉ルモノハ内務大臣之ヲ定メルコト。ソシテ此場合、直接ニ收入ヲ生セサル營業所アルトキハ、他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト認メテ之カ歩合ヲ定メル。府縣ニ於テ數府縣ニ渉ル營業又ハ其收入ニ對シ既ニ(營業稅附加稅)營業收益稅附加稅又ハ所得稅附加稅賦課ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ、其歩合ニ依ル本稅額ヲ其府縣ニ於ケル本稅額ト見做ス。(ニ)鑛區又ハ砂鑛區カ市町村ノ内外ニ渉ル場合ニ於テ、鑛區稅砂鑛區稅ノ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ、鑛區又ハ砂鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニヨリテ其本稅額ヲ分割シ其一部ニノミ賦課スルコト。市町村ノ内外ニ於テ鑛業ニ關スル事務所其他ノ營業所ヲ設ケタル場合ニ於テ、鑛產稅ノ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ、ムシロハノ例ニ從ヒ、市町村長間ノ協議ニヨリ歩合ヲ定メル。鑛區カ營業所々在ノ市町村ノ内外ニ渉ル場合亦同シ。

## 第十五編 地方稅問題

(一)目下我邦ノ政治問題トシテ世間ノ注意ノ焦點トナツテキル地租委讓問題ニツイテ考察シテ見ヤウト思フカ、コレヲ述フル前ニ一應、地方稅體系ノ理想ハ何處ニアルカ、現行ノ地方稅體系ハトウナツテキルカ、カラシテ述ヘテカカラウト思フ。地租委讓問題ノ本體ハコレヲ豫備的説明ナクシテハ理解シ兼ネルカラテアル。

サテ地方稅體系ヲトウスルノカ最モヨイカトイフノニ、ソレニハ地方稅ニオケル人稅物稅ノ關係ト特別稅附加稅ノ關係ト二ノ大キナ問題ヲ述ヘルコトヲ要スル。先ツ人稅、物稅ノ關係カライフト、國稅テハ人稅ヲ根幹トシ、コレニ物稅ヲ配シテ輔佐セシメルノカ適當テアリ、地方稅テハ物稅ヲ中心トシテ人稅ヲシテコレヲ助ケシムルノカ選ムヘシトスル。ソノ譯ハ、國稅テハ能力原則ニヨリ、能力ニ適應シタ租稅ヲ備ヘルコトカ肝要ナルカ、地方稅テハ能力原則ノミニヨラス、或程度マテ利益原則ヲ加味シ、コノ地方ノ施設及ヒ發達ニヨリテ特別ノ利益ヲ受クルカ如キ物體ニ特ニ重キ負擔ヲ課スルヤウナ租稅體系ヲ選ム



ヘシトスルカラテアル。ソコテ交通税ヤ消費税ノヤウナ附帶的ノ税ヲ暫ラク別トシ、イハユル直接税タル基本的ノ税ニテハ、國税トシテハ、所得税ヲ根幹トシテコレニ配スルノニ財産税カ、特別所得税カ(土地家屋資本及ヒ營業ヘノ)、收益税カ(齊シク土地家屋資本及ヒ營業ヘノ)、コノ二ノ中ノ何レカ一ヲシカモ所得税ニ比シテハ低イ程度ノ率ニテ課スルノカ適當テアリ、地方税トシテハ、地租、家屋税、營業税トイフ三物税(ココニテハ資本利子税ヲ除クノカ至當)ヲ中心トシテ、コレニ配スルノニ所得税(國税タル)ノ附加税カ、地方特別税タル戸數割カノ中ノ一ヲ以テシ、後者ノ重サヲ前者ヨリモヤヤ輕ク定メルノカ適當テアル。ソシテ戸數割ハムシロ市町村トイフヤウナ下級團體ニ、所得税附加税ハ府縣トイフ上級團體ニ適スル。尤モ戸數割カ下級團體ニ適スルトイウテモ、大都市ナトテハ行ヒ難ク隨ツテコレニテモ所得税附加税ヲ以テコレニ代ラシメルヨリ外ナイトイフコトモアル。ソレカラ附帶税トシテノ交通税消費税ノ範圍テハ、國税ニハ色々ノ好財源カ見ツケ易イケレトモ、地方税ニハ大シタヨイモノカ乏シイ。我國テハ雜種税トシテコレヲ纏メテキルカソノ主ナルモノハ不動産移轉税、使用税、娛樂税ナトテアル。

次ニ特別税附加税ノ關係ニツイテハ、コレハソノ何レカ一方ノミニヨラウトイフ考ヘモ

アルノタカ、コノ二ノモノ何レニモ長短カアルカラコレヲ併用シ、採ラルヘキ各ノ税ニツイテ、附加税トスルノカヨイトセラルルモノハ附加税トシ、特別税トシタカヨイトスルモノテハ特別税トスルノカ選ムヘキテアル。コノ二ノモノニ各長短アリトイフノハトウイフコトカトイフト、附加税タト税制カ簡單ニナリ全國統一的トナツテ概觀シ易イトイフコトカアリ、地方團體トシテハ徵稅費ヲ費フコト少クシテ割合ニ大キナ純收額ヲ得ルコトカ出來、國家ノ立場カライフテモ、地方團體ヲシテ國税ノ正確ナル査定ニ利害ヲ有タシメ、コレヲシテ助成セシメルトイフコトカアル。トコロカ反面カライフト、附加税タト中央集權カソノ度ヲ失シハセヌカトモ考ヘラレ、地方々々ニオケル特殊ナル事情ヲ考慮シ難イトイフコトモアリ、特ニ國税タト課稅標準カ時勢ノ進運ニ伴ハス陳腐トナツテキルノニ地方カコレニ附帶シタ税ヲ課スルノ外ナシトイフ不都合カアリ、一ノ税ニ附加税カアマリニ多クツイテキルト、ソノ納稅義務者ヲシテ一層多クコレヲ遁脫セシメルコトヲ促ストイフコトモアリ、附加税ノ徵收ノ容易トイフコトカ、地方團體ヲシテソノ經費ノ支出ニ不注意ナラシムルトイフコトモアル。タカラシテ二ノ税種ヲ併用スルトシテ、所得税ハ地方トシテハ附加税ヲ課スルカ適當テアリ、地租家屋税ハ地方ノ特別税トスルニ適シ、營業税ハ國税ノ



附加税トシタ方カ良イトイヒ得ル點モアルケレトモ、地方特別税トシテモ行ヘヌコトハナク、同種税タル地租家屋税ヲ地方特別税トスルナラハ、營業税ヲモ地方特別税トスル方カ良イトイフコトニナル。

(二) ソコテ、現行ノ地方税體系ハトウナツテキルカトイフト、先ツ道府縣テハ物税トシテハ、特別地税、地租附加税、家屋税、營業税、營業收益税附加税(外ニ鑛業税、砂鑛區税、取引所營業税等ノ附加税カアリ得ルカ、ソレハ重要ナモノテハナイ)ヲモチ、人税トシテ所得税附加税ヲモツ。ソシテ附帯税トシテ雜種税カアル。今少シク詳説スルト、特別地税ハ國税地租ノ免税點(個人タル義務者ノ住所地市町村及ヒソノ隣接市町村内ニオケル小作ニ附セサル田畑地價ノ合計金額ソノ同居家族ノ分ヲ合算シテ貳百圓未滿ナルヘキ田畑地租ヲ免セラル)以下ニアル田畑ニ對シ、北海道ニテハ地價百分二・六以内、府縣ニテハ地價百分三・七以内ヲ課スルモノテアル。勿論、限外課税ノ途ハアル。地租附加税ハ、宅地租百分三十四以内、ソノ他ノ地租百分八十三以内ヲ課シ、勿論限外課税ノ途ハアル。家屋税ハ家屋ノ賃貸價格ヲ課税標準トシ、(尤モ例外トシテ昭和四年度限り、建物ノ構造、坪數、用途、敷地ノ地位ニヨリ家屋ニ等差ヲ設ケテ課スルヲ得、更ニ許可ヲ得テ別ノ方法ニヨルコ

トヲ得)家屋所有者ニ課スル、コレニツキ府縣費全部ノ分賦ヲ受ケタル市カ直接ニ家屋税ヲ課スルコトカアル。府縣カソレ自身ノ家屋税總額ヲ管内市町村ニ配當スル場合ニハ、ソノ總額ノ半分ハ豫算ノ屬スル年度ノ前年度始メニオケル市町村内宅地々價ニ、他ノ半分ハ豫算ノ屬スル年度ノ前年度始メニオケル市町村ノ戶數ニ比例シテ配當スル。營業税ハ營業收益ノ賦課ヲ受ケサル營業者及ヒ營業收益税ヲ賦課セサル營業ヲナスモノニ課税スルノテ、ソレハ國税營業收益税ヲ課スヘク列舉サレタル個人營業ニシテ免税點(純益四百圓)以下ニアルモノ、並ニ運河業、棧橋業、船舶碇繫場業、貨物陸揚場業、兩替業、湯屋業、理髮業、寄席業、遊技場業、遊覽所業、藝妓置屋業ニ課スルコトニナル。課税標準ハ營業純益カ、又ハ收入金額(賣上金高、請負金額、報償金額)資本金額、營業用建物ノ賃貸價格、從業者ノ數カ、マタハ定額カ、三ノ中ノ何レカニ依ル、府縣費全部ノ賦課ヲ受ケタル市カ直接ニコレヲ課スルコトカアル。營業收益税附加税ハ、本税百分四十一以内トシテ、限外課税ノ途ハ別ニアル。コノ附加税テハ國税本税ニテ資本金子税額ノ控除ヲナササルモノヲ營業收益税額ト見做ス、ソレカラ所得税附加税ハ本税百分二十四以内ヲ課ス。ココニテハ第二種所得税ヲ除ク。第一種所得税ニテハ、第二種所得税ヲ控除セサルモノヲ第一種所得



税額ト見做ス。ソレカラ雜種税ノ課目ハ船、車、水車、市場、電柱、金庫、牛馬、犬、狩獵、屠畜、不動産收得、漁業、遊藝師匠、遊藝人、相撲、俳優、藝妓ソノ他コレニ類スルモノ、演劇ソノ他ノ興行、遊興、流木、立木伐採、棧、煽風機、傭人、代書人、温泉、筏、玉突臺、廣告、鵜、船舶取得、段別割、觀覽、遊漁ナトテアル。

次ニ市町村税ハ、物税トシテ特別地稅附加税、地租附加税、家屋稅附加税、營業稅附加税、營業收益稅附加税ヲモチ（外ニ鑛業稅、砂鑛區稅、取引所營稅ヘノ附加稅カアリ得ル）、人稅トシテ特別稅タル戶數割ヲモツ。所得稅附加稅ハ、通例ハ認メラレナイカ、戶數割ヲ實行シ難キ市町村ニテ許可ヲ受ケテ本稅ノ百分七以内課スルヲ得ル。府縣費ノ全部マタハ一部ノ分賦ヲ受ケタル場合ニモ市町村カ之ヲ課スルコトカアル。コノ外ニ附帶稅トシテ府縣雜種稅ノ附加稅ヲ課シ、又ハ特別稅トシテ雜種稅ヲ課スル。詳シクイフト、市町村ノ特別地稅附加稅ハ、本稅ノ百分八十以内トシ、府縣費ノ全部ノ分賦ヲ受ケタル市、マタハソノ一部ノ分賦ヲ受ケタル市町村ニハ別段ノ定メカアル。地租附加稅ハ、宅地租ハ本稅ノ百分二十八、ソノ他地租百分六十六以内、營業收益稅附加稅ハ、本稅ノ百分六十以内トスル。何レモ限外課稅ノ途ハアル。戶數割ハ一戶ヲ構フルモノ、マタハ獨立ノ生計ヲ營ム

者ニ課シ、義務者ノ資力ヲ標準トシ、ソノ資力ハ所得額ト資産ノ狀況トニヨル。ツマリ所得ト見立トニヨリ、ソノ見立ハ總額ノ十分二ヲ超ユルヲ得ヌ。特別ノ事情アル市町村ニテハ當分ノ間、十分四マテトスルヲ得ル。ナホコノ戶數割ヲ取ルニツイテノ制限カアル。コレハ市ニテハソノ總額カ當該年度ニオケル市稅豫算總額ノ百分三十七ヲ超エテハナラヌ。町村ニテハ當該年度ノ町村稅總額ノ百分六十ヲ超エテハナラヌトイフノテアリ、尤モコレニ限外課稅ノ途ハアル。ソレカラ市町村ノ家屋稅附加稅ハ(1)戶數割ヲ課スル市町村ニオケルソノ賦課率ハ、本稅百分五十以内ヲ原則トシ、限外課稅ノ途ハ別ニアル。(2)戶數割ヲ課シ難キ市町村ニテ課スヘキ家屋稅附加稅ハ(A)原則トシテハイ市ニテハソノ總額ハ當該年度ニオケル市稅豫算總額ノ百分三十六、所得稅附加稅ヲ賦課スル場合ニハ、當該年度ニオケル市稅豫算總額ノ百分三十以内トスル。(ロ)町村ニテハソノ總額ハ、當該年度ニオケル市稅豫算總額ノ百分六十、所得稅附加稅ヲ賦課スル場合ニハ當該年度町村稅豫算總額ノ百分五十五以内トスル。(B)例外トシテ特別必要アルトキ許可ヲ得テ制限外課稅カ出來ル。市町村ノ府縣營業稅附加稅ハ原則トシテ本稅ノ百分八十以内、府縣種稅附加稅ハ原則トシテソノ總額カ本稅總額ノ百分八十九以内トシ、何レモ限外課稅ノ途ハアル。



(三)右現行地方税制ヲ批評シテ見ルト、人税ノ部ニテ府縣テハ所得税附加税、市町村テハ戸數割ヲモツコトトシ、例外トシテ市町村ニモ所得税附加税ヲ有タシメタノハ宜シイ。ソレカ府縣テハ物税ニ比シテ輕クナツテキルノモヨイトシテ市町村ニオイテ市ニテハソノ總額カ當該年度ノ市税總額ノ百分ノ三十七ニ限ツテキルカラ、マタヨイケレトモ、町村ニテ當該年度町村税總額ノ百分ノ六十ヲモツテ制限トシ、從ツテ人税カ物税ヨリモ重クナリ得ルノハ遺憾テアル。併シコレハ實際上、急激ニ現狀變化ノ行ヒ難キモノカアルノテ、コレモ先ツ許スヘキコトトシテ、特ニ遺憾ナコトハ、物税ノ中ニ特別税ト附加税トノアハセ用ヒラレテキルコトテアル。尤モ家屋税ハ府縣ノ特別税トサレ、地方特別税トナツテハキルカ、地租ト營業税トニテハ、國税ノ附加税ト地方ノ特別税トカアル。コレハムシロ全部、地方特別税トシタ方カヨク、スナハチ今日國家ノモツ地租及ヒ營業收益税ヲ地方ニ委讓シテ、地方ヲシテ從來ノ特別税タル特別地稅及ヒ營業税ト一緒ニシテ特別地方物税ヲ仕組ムコトトスルノカ選ムヘキテアツテ、コレニヨリテコレラノ税カ一層、時世ノ變化ニ從ヒ適切ナル課税標準ヲモチ得ルコトトナリ、コレカ從來ヨリモ一層公平ナル税トモナリ、ソシテ地方ニオイテ必要トスル施設ノタメノ財源ヲ供スルコトモ出來、地方ノ施設及ヒ發達ニ

ヨリテ特別ナル利益ヲ受クル物件ニ特別ナル課税ヲ適當ニ負ハシメルコトモ出來ル。或ハコノ新財源ノ得ラルルタメ地方財政ノ膨脹ヲ來タシ、地方經費ノ濫費ヲ生セスヤトモイフカ、ソレハ一面ニハ地方財政ノ監督及ヒ統制ヲ一層嚴重ニシテ抑制スルコトカ出來ルシ、他方、實際地方カ必要適切ナル費用ニ向ケルタケテハ、恰モンノ財政ノ膨脹シ得ルコトヲ以テ有益トシナケレハナラス。シカノミナラス、コレラノ國税カ委讓サレタタメニ、地方ニ餘裕ヲ生スルタケテハ、市町村、ナカンツク、町村ニオケル人税タル戸數割ヲ大イニ輕減スルコトカ出來、前ニ舉ケタヤウナ、現狀テハ、町村テハ戸數割トイフ人税ノ總額カ全税額ノ百分ノ六十トイフ制限トナリ、隨ツテ人税ノ方カ物税ヨリモ重イトイフコトニナツテキルノヲ逆轉セシメテ、人税ヲシテ物税ヨリモ輕キモノトナラシムルコトモ出來ル。ソシテコノ戸數割トイフノカ可ナリ貧シイ人々ニモ課セラルル可能性アル税タトイフコトニオイテ、コレヲ輕クシ得ルトイフコトハ選ムヘキモノトサレナケレハナラス。

タタシカシ、國ノ立場カライウテソノ地租及ヒ營業收益税ヲ地方ニ委讓スルトキニ、一億一千七百萬圓トイフ大キナ缺陷ヲ生スル。コレヲトウシテ埋メルカトイフ心配ヲ伴フカ、コレニツイテハ國税ノ體系トシテ、一般所得税ノ傍ニ財産税ヲ設クルコト、並ニ一般歲



計ニ節約ヲ行フコトニヨリテ合理的ニコレカ穴埋メヲナシ得ルト思フ。財産税ニツイテハソレ自身辯護シ得ヘキ諸ノ理由ヲモツカ今コレヲ他ノ場合ニ譲ルトシテ、財産税カ、イヤタトイフナラハ、所得税ノ根本的改造ニヨリテコレニ代ルヘキ方法ヲ講スルコトモ出來ルシ、マタ地租及ヒ營業收益税ヲ地方ニ譲ル以上ハ、殘サレタル資本利子税ヲモ考慮ニ入レテ、財産税ヲ新設シテコレニ統一スルナリ、所得税ノ改正ニヨリテ代ルヘキ方法ヲ講スルトイフコトハ、是非トモ行ハナケレハナラヌコトテアル。マタ資本利子税ヲモ地方ニ移サナクテハナラヌテハナイカトモイフカ、コノ税ハ地方税タルニハ適セヌ。國稅トシテハ存立セシメテモ良イカ、地方税トシテハ設置シテハナラナイ。動的資本ハ土地ヤ家屋ノ如ク或ル地方ト離ルヘカラサル關係ニアルノテナク、地方的ニハ分別シ難キ物件テアリ、特ニ或地方カラ特別利益ヲ受ケルトイフホトノモノテモナイ。他地方ヘノ移動モ自由ナモノテアツテ何トシテモ地方税ノ物件タルニハ不適當タ。ソレカラ地租ノ地方委讓ニツイテハ、コレハ我カ國家團體トモ離ルヘカラサル關係アル税テ、コレヲ地方ニ移スノハ國家ノ土台ヲ危フクスルモノタトカ、國體ヲ紊ルモノタトカイフ論者カアルカ、國カラ地方ニコレヲ移ストイフコトモ、ソレハ日本カラ外國ニ移スノテハナイ。地方トハ國家ノ有機的全體ノ

一節ニ過キヌ。頭ニ冠ツテヲツタ帽子ヲ脱イテ手ニ持ツコトニシタトイフノニ外ナラヌ。或ハ左手ニ持ツテキタ物ヲ右手ニ持チカヘタトイフコトテアル。ソレモ一層適當ナ方ヘ移シタトイフノタ。コレマテ左手ニすてつきヲ持ツテキタノヲ、右手ニ持チカヘタトイフノテ、すてつきヲ持ツノニハコノ方カ一層適當ノヤウタ。カクシタタメニ何ウシテ日本ノ國家ノ基礎カ危フクナルノテアラウカ。地租ヲ國カラ地方ニ移シタタメニ國家カ危フクナルトイフ論者ハ、餘程、日本ノ國家ヲ信用シナイ人ト見エル。我カ國家ハソナコトテ危フクナルホトノ基礎薄弱ナ國家テハナイト私ハ確信シテキル。或ハコノ地租カ我カ邦ニ古クガラアルカラ、ソノママニシナケレハナラヌトモイフカ、古キ制度ニ手ヲ着ケテハナラヌトイフノハ無理テアル。我カ國ニ於テ地租カ永イ間、國稅トシテ重キヲ成シタノハ、ソレハ單ニ我カ國カ永イ間、農業時代ヲ追ウテキタカラテ、今ノヤウニ經濟カ進歩シ複雑ニナツテ來ルト、國稅トシテハモツト他ノ税、ソレハ所得税ヤソノ他、諸々ノ税カ重要トナリ得ルノテアツテ、最早、地租ニノミ執着シテハアレナイ。モシソレ地租カ我カ邦ニ神代ノ昔カラアツタトカイフニ至ツテハ、歴史ノ據ルヘキモノハナイヤウタ。

(四) トコロカ今度、政府カ地租ヲ地方ニ委讓シヨウトイフノハ、右ニイフヤウニ地租モ營業



収益税モ共ニコレヲ地方ニ委譲スルノテハナク、單ニ地租ノミヲ地方ニ移シ、營業収益税ヲ國ニ殘シ、隨ツテ國税ノ基本税トシテハ所得税ヲ中心トシテ資本利子税及ヒ營業収益税(ソノ他、モロモロノ税ハアルカ基本税ノ問題トシテハ暫ラク措イテヨイ)ヲ配シテ補完税トスルコトニナリ、地租カ地方ニ移サルルタケテハ、コノ税カ一層適當ノ場處ニ置カルルコトトナリ、地方施設ニ一財源ヲ加へ、地方税改良ノ餘地ヲモ與ヘル(例ヘハ、特ニ戸數割ノ輕減ノ如キ)トイフノテ、一層良クナルトハイヘルカ、國税ノ體系ヲ破壊スルコトニナルトイフコトト國ノ財政ニオイテ地租ヲ失ツタタメノ六千七百萬圓ノ缺陷ヲ生スルトイフコトトニオイテ非難ヲ受ケナケレハナラナイ。六千七百萬圓ノ缺陷ニツイテハ、經費節約ト他歲入ヲ現制ノママトシテモ生スルコトアルヘキ自然增收トニヨツテ補填セラレルトイフコトモイヘル。ソノ方ハ何トカナシ得ルトシテキ國税體系ヲ破壊スルトイフ非難ハ何トシテモ、一應避ケルコトハ出來ナイ。ソレハトウイフノカトイフト、國ノ直接基本税トシテ、所得税ト營業収益税及ヒ資本利子税トコノ三税ヲ置クトキニ、齊シク財産的所得テアリナカラモ、資本(動的)所有者ト營業者トノミカ、特別ニ重イ負擔ヲナスノハ不都合タトイフコトニナル。資本所有者カ重イ負擔ヲスルノハマタ忍フヘキコトアルトシテモ、營

業者ノヤウニ半ハ財産的所得者テアリ、半ハ勤勞所得者テアルモノニ地主ヤ家主ノ如キ純然タル財産的所得者ヨリ重ク課税スルノハ不都合タトシナケレハナラス。特ニコノ營業者ノ中ニハ財産ニヨルヨリモヨリ多ク勤勞ニヨリテ所得ヲ擧ケテキルモノカアリ、大所得者ノミテハナクテ、可ナリ小サナ所得者モアルノニ、コレラノモノニ、大所得者タル地主、家主ニ比シテ一層重ク課スルノハ、能力原則ニ反シ、社會政策ニモ反スルトシナケレハナラス。コノ點ニオイテコノ案ハ重大ナル缺點ヲモツ。トイウテ來ルト、コノ案ハ根本的ニ不都合ノモノトサレナケレハナラスヤウタカ、シカシ辯護スレハ辯護ノ出來ヌコトテハナイ、試ミニ代辯ヲシテ見ヨウ。ソレニモ二ツノ方法カアル。政府ハソノ何レヲ選フノカ知ラヌカ、答ヘハ二ツアリ得ル。一ハコノ案ヲモツテ暫定的ノモノトナシ、ヤカテ理想案ニ達スルノ過渡手段トシテ説明スルノテアリ、他ハコノ案自體ヲ最後ノ決定的ノモノトスルノテアル、第一カライフト政府ハ國税トシテハ一般所得税ト財産税トヲモツテ直接基本税ヲ作ルコトヲ理想トシ、他日コレニ到達スルヲ期スルケレトモ、物事ハ急激ニ變更スヘキテナイカラ、シハラク先ツソノ一部ヲ行ヒ、コノ際ハ地租ノミヲ委譲シ、コレニテ地方税ノ改良ヲ行ヒ、地方財政ヲ緩和シヨウト思フ。ソシテ國税ニテハ右地方税整備ヲ計ツ



タ後ニ至ツテ、根本的大改革ヲ行ヒ、即チ第二段トシテ營業收益税ヲ地方ニ委譲シ、以テ地方財政ノ完成ヲ計リ、國税ニオイテ輕度ノ財産税ヲ起シ、資本利子税ヲ廢止スル。カクテコノ國及ヒ地方税ヲ通シテノ大改革ヲ行フマテノ過渡時代ニオケル多少ノ不備ハ終局ノ完成ノタメニハ忍ンテ可成リトイフノテアル。

第二ノ辯明ハコノ新シキ案ソノモノヲ一ノ決定案トスルノテアルカ、然ルトキハ、租税制度ニオケル體系論ヲ、國ニツイテト地方ニツイテト別々ニ見スシテ、國及ヒ地方ヲ通シテ、一括シテ見ルノ主義ヲ採ルトナシ、ココニテ特ニ財産的所得ノ重課ニ重キヲ置キ、ソレヲ國、地方ヲ通シテ期スルトシテ今、地租ヲ地方ニ委シ、シカモ營業收益税、資本利子税ヲ國ニ殘ストシテモ、國ニアル營業收益税、資本利子税ト、地方ニアル地租、家屋税(及ヒ右營業收益税ノ附加税、並ニ地方特別ノ營業税)トヲ通シテ、一般所得税(及ヒソノ附加税並ニ戸數割)ニ對立シテ、財産的所得ヲ重課スル趣旨ヲ達スルモノタトモ辯明シ得ラレル。ソシテコレヲ諸税ノ重サニツイテハ適當ニ按配シナクテハナラヌコトイフマテモナイ。マタコノ案ニテ地租ト家屋税トヲ地方ニ置キ、營業收益税ト資本利子税トヲ國ニ置クノハ、コレハソレノ税ノ課税物件ノ性質カラ區別シタノテ、土地ト家屋トハ全ク地

方的ニ分別シ得ルモノテアリ、地方ノ發達及ヒ施設ニヨリテ特別ノ利益ヲ受クルコトノ強イモノテアルカラ、コレハムシロ地方ニ置キ、動的資本利子税ト營業收益税トハ地方的ニ分別シ難キモノカ少クナク、國家全體のニ(否間々國際的ニサヘモ)可動テアリ、ソレヲト或地方トノ利益關係カ、土地ヤ家屋ヤニ比シテハ指示シ難イモノテ、ムシロ全國的ノ課税物件トスヘキノユエニコレヲ國ニ置クノテアル。

勿論、營業ノ中ニハ一地方限リノ營業カアリ、或地方トノ特別關係ノ指示シ得ルモノモアルケレトモ、中ニハ又他地方トノ關係ノ錯雜セルモノカアル。本店ト支店トノ關係、本工場ト分工場トノ關係ノ如キタメニ、一營業ヲ全ク或地方的ノモノトシテ分別シ難キコトカアリ、コレヲ別トシ、單ニ一ノ店ノミニツイテ見テモ、ソノ販路カ他地方ニワタリ、ソノ材料ヤ勞力ヤ資本ヤヲ他地方ニ仰クトイフコトモアツテ、可ナリ多ク他地方ノ利益ヲモ受クルトイフコトカアリ、精密ニイフト、一地方限リノモノトシテ簡單ニ取扱ヒ惡イ營業カ少クナイ。シカラハトテ、營業中ニツイテ一地方限リトイヘルモノト、然ラサルモノトヲ區別シテ別扱ヒヲスルトイフノモ面倒テアリ、カツ精確ナ區別ノ出來難キトコロタカラ、ムシロ營業ニハ地方的、全國的ノ意味ノ少カラヌコトニモトツキ、之ヲ國ノ課税物



件トスルトイフノモ、強チ不當ヲハナイトイヘル。他方、精密ニイフト、土地ヤ家屋トテモノノ所在地方ノミナラス、全國家ノ施設及ヒ發達ニモ負フトイフコトハアル。シカシコレラノ物ハ、ソノ所在ノ地方ニ負フモノカ一層ニ著大テアリ、ソシテ特ニ地方的ニ分別シ得ルモノタカラシテ、コレヲ地方ニ置クノテアル。或ハ國ノ税體系ノミカラ見テ、新シキ案ハ、國ノ收益税體系、直接税體系ヲ不完全トスルモノタトイフコトヲ飽クマテモ説クモノカアリ得ルカ、然ラハ從來ノ制度カ完全テアツタカトイフノニ、サウテハナク、從來、所得税ヲ補フノニ、地租營業收益税、資本利子税ヲモツテシ、コレニテ家屋税ヲ缺イテヲツタノテアリ、ソレハ家屋税カ地方的ノモノタカラ地方ニ委ストシテ、國ニテコレヲ缺イタノテアル。コノ新制度案ニ反對スル人カコノ舊制度ノ立案者テアリ、賛成者テアツタトスルト、地租ト家屋税トヲ缺イタ收益税制度ノ不完全ハカリヲ責メルコトハ出來ナイヤウタ。

(五)地租ヲ地方ニ移ストシテ、コレカ課税標準ノ決定ヲ市町村ニ當ラシムルカ、府縣ニ當ラシムルカカ問題ニナル。一層頻繁ニコレカ訂正ヲ行ヒ、時勢ノ變化ニ急速ニ追隨シ得ルカタメニハ、市町村ニ當ラシメル方カ選フヘキコトトナルカ、シカルトキハ府縣トシテハ市

町村ノ定メタ標準ニ對シテ附加税ヲ課スルコトトナラサルヲ得ヌ。シカルトキハマタ、市町村カ成ルタケソノ負擔ヲ輕クシヨウトシテ課税標準ヲ過小ニ見積リ、且ツ、コノ間ニ各ノ市町村ノ手加減カ異ナリ、不公平ヲ生スルコトニモナル。府縣ニ當ラシメルトキハ、各市町村間ノ關係ハ公平ニナルカ、シカシ多少時勢ニ遅レタ標準トナルコトヲ免レナイ。マタ市町村ニ任セタヨリモ多少事情ニ適切ナラサルノ憾モアラウ。テコレハ一長一短アリテ、何レニシテモヨイト思フカ、何レヲシテ當ラシメルトシテモ、一方ノ地方團體ノミニ全ク委スコトナク、主トシテコレニ當ル團體ノ仕事ニ對シテ他種團體ノ參加スル仕組トシナケレハナラス。特ニ各市町村カ當ル場合ニハ、是非トモ、府縣當局者カコレニ參加シナケレハナラス。

委讓サレタル地租ノ課税標準ヲ賃貸價格トスルカ、時價トスルカニモ問題カアル。コレト並行シテ課セラルル家屋税ノ標準カ賃貸價格トセラルルノトノ權衡カライヘハ、賃貸價格ノ方カヨイヤウテモアルカ、私ハ時價ニヨルトシタ方カ、一層ヨクソノ土地ノ物的能力ヲ示スヤウニ思フ。土地ノ持主ニトリテソノ土地ノ收益ハ、賃貸價格トイフヤウナ有形收益ノ外ニソノ地價ノ騰貴ニヨル隠レタル收益ナトモアツテ、土地ノ時價ハコレヲモ代



表シテキル。コレヲ選ンタ方カヨイト思フカ、シカシ地租トシテハ賃貸價格ニヨルトシテ  
置イテ、別ニ土地ノ自然増價ハコレヲ土地増價税テ取ルトシテモヨイ。特ニ國税トシテ財  
産税ノ如キモノヲ持ツトキニハ、地租ニテモ時價ニヨルトスルヨリハ、コノ方ハ賃貸價格  
トイフヤウナ財産税トハ異ナツタ標準ヲ採ツタ方カ、課税政策上良イトイフコトカアル。



租稅研究總索引



## 租稅研究總索引

自 第 一 卷  
至 第 八 卷

論 文 索 引 P. 1—10

著 者 及 著 書 索 引 P. 11—95

事 項 索 引 P. 96—145

注意、I II III 等ハ卷數、1 2 3 ハ各卷ノ頁數ヲ示ス。

### 論 文 索 引

- (1) 總論文ヲ、租稅一般、所得稅、財產稅、收益稅、交通稅、消費稅、地方稅、特殊的課徵物、租稅制度ノ九部ニ分チ、各部中同種論文ヲ纏メ、同種論文ハ發表ノ順次ニ依リ排列シ、之ニ從ヒ全卷ヲ通讀シテ、體系的理解ヲ得ベキヲ期セリ。
- (2) 同一論文ニシテ、數部ニ關スルモノハ、各部ニ掲出シ、(再)トシテ、ソノ旨ヲ明ニセリ。
- (3) 例之、(1920. I. 經論)ハ、經濟論叢ニ於ケル發表ノ西曆年月ヲ示ス。



(2)

## 第一部 租税一般

### 第一 租税ノ本質及目的

租税ニ於ケル強制ト任意	(1917. 12. 經論) I	59 74
租税ノ目的ト實體	(1927. 1. 經論) VIII	1 24
勤勉獎勵目的ノ課税	(1927. 5. 經論) VIII	25 48

### 第二 租税原則

租税ニ於ケル給付能力ノ原則	(1921. 8. 經論) III	30 51
給付能力原則ノ適用	(1921. 9. 經論) III	52 75
租税配分ニ於ケル公益逆比原則	(1923. 1. 經論) IV	1 24
租税負擔ノ一般ト租税ノ民衆化	(1922. 7. 經論) IV	25 50
すみずノ租税原則	(1924. 1. 經論) V	110 123

### 第三 租税體系

租税ニ於ケル補完作用	(1921. 11. 經論) III	1 29
財經調査會ノ税制整理案ト之ニ對スル私見一斑	(1924.) V	302 353
整稅案ノ一缺點トシテノ負債利子ノ問題	(1925. 10. 經論) VII	28 51

### 第四 租税ノ給付能力

經常財産税ト租税給付能力(再)	(1920. 5. 經論) II	1 32
純理上ヨリ見タル財産重課ノ理由	(1921. 6. 經論) III	76 100
營業ノ租税給付能力	(1921. 7. 經論) III	101 122
交通税ノ捕捉スヘキ給付能力	(1922. 8. 經論) IV	124 154

(3)

## 第五 納税義務者

納税義務者トシテノ國家	(1923. 2. 經論) IV	73 104
納税義務者トシテノ地方團體	(1923. 2. —) IV	105 123
納税義務者トシテノ内蔵	(1923. 4. 經論) V	1 24

## 第六 累進

消費税ニ於ケル累進課税(再)	(1920. 3. 經論) II	154 167
累進課税ノ根據	(1920. 9. 經論) III	123 149
累進課税ノ弱點	(1920. 10. 經論) III	150 172
相續税ニ於ケル特殊累進(再)	(1922. 12. 經論) IV	200 216

## 第七 租税ノ限度

租税ノ限度	(1920. 7. 8 經論) III	173 194
-------	---------------------	------------

## 第八 租税ノ回避

租税ノ逃脱	(1923. 11. 經論) V	25 54
地租ノ轉嫁(再)	(1924. 2. 經論) V	163 184
所得税ノ轉嫁(再)	(1924. 3. 經論) V	124 146
不景氣ト租税	(1924. 4. 經論) V	55 84

## 第九 租税ノ公正

租税立法ニ於ケル階級打算的態度	(1922. 5. 經論) IV	51 72
租税ノ公平ト利益團體ノ組織	(1924. 6. 經論) VI	1 24
物價ト租税ノ不公平	(1925. 4. 經論) VI	25 49
課税ト時ノ元素	(1925. 5. 經論) VI	50 71



(4)

租稅公正ノ實現難 (1925. 11. 經論) VII 52  
71

### 第十 重複課稅

重複課稅ノ本質 (1926. 1. 經論) VII 72  
98  
國際課稅ノ主義論爭 (1926. 2. 經論) VII 99  
128  
國際營業ノ課稅 (1926. 3. 經論) VII 129  
155  
國際課稅ニ於ケル人及證券ノ所在 (1926. 4. 經論) VII 156  
179  
交通稅及消費稅ニ於ケル重複課稅 (1926. 5. 經論) VII 180  
201

### 第十一 免 稅

最小活資ノ免稅 (1916. 11. 經論) I 75  
12. 經論) I 124  
國債利子及官吏俸給ノ免稅(再) (1925. 7. 經論) VI 148  
174  
公益上ノ免稅 (1925. 8. 經論) VII 1  
27  
公益團體ト課稅(前段) (1927. 7. 經論) VIII 49  
66

### 第十二 企業ト租稅

官業問題(官業カ租稅カ) (1917. 1. 2. 經論) I 1  
58  
投資ト租稅 (1924. 5. 經論) V 85  
109

## 第二部 所得稅

### 第一 一 般

所得稅ニ於ケル所得ノ意義 (1917. 9. 經論) I 125  
10. 經論) I 151  
所得稅ニ於ケル所得ノ統一課稅 (1918. 5. 6. 經論) I 151  
187  
所得稅ノ弱點 (1921. 10. 經論) III 195  
214

(5)

所得稅ノ轉嫁 (1924. 3. 經論) V 124  
146

所得本體ノ不明確又ハ捕捉難ニ基ク不公平課稅

ノ可能 (1924. 7. 經論) VI 72  
100

### 第二 特殊問題

額面超過額ハ所得稅ヲ課スヘキ所得ナリヤ (1922. 1. —) III 365  
368  
課稅ニ於ケル家族事情ノ考慮 (1925. 3. 經論) VI 101  
125  
勞働者所得ニ對スル特別課稅 (1925. 6. 經論) VI 126  
147  
國債利子及官吏俸給ノ免稅 (1925. 7. 經論) VI 148  
174  
所得申告遺漏ノ補完方法 (1927. 6. 經論) VIII 72  
95  
不在者課稅論 (1926. 10. 經論) VIII 96  
118

## 第三部 財產稅

### 第一 經常財產稅

經常財產稅ト租稅給付能力 (1920. 5. 經論) II 1  
32  
經常財產稅ノ利弊 (1920. 6. 經論) II 32  
54  
無收益財產ノ課稅 (1925. 9. 經論) VII 202  
225  
財產稅ニ於ケル都鄙ノ對立 (1925. 12. 經論) VII 226  
245

### 第二 臨時資本稅

臨時資本稅ト公平負擔 (1919. 3. 經論) II 55  
87  
臨時資本稅ノ利弊 (1919. 5. 經論) II 88  
117  
臨時資本稅ノ課徵方法 (1919. 6. 經論) II 118  
130



(6)

## 第四部 收益税

### 第一 地 租

地租ノ時勢順應力	(1917. 11. 經論) I	189 208
地租ト地方團體トノ關係(再)	(1920. 12. 經論) III	247 266
土地課税新案	(1923. 12. 經論) V	147 162
地租ノ轉嫁	(1924. 2. 經論) V	163 184
地租ノ不公平可能	(1924. 10. 經論) VI	175 196
地租ト營業稅トノ對立ニ關スル考察	(1925. 1. 經論) VI	222 246

### 第二 營業 税

營業稅ヲ賦課スヘキ營業ノ範圍	(1917. 8. 經論) I	208 223
營業稅ノ課税標準	(1918. 3. 4. 經論) I	223 254
營業稅ノ課税標準	(1927. 8. 經論) VIII	137 162
營業ノ租税給付能力(再)	(1921. 7. 經論) III	101 122
營業稅ノ不公平可能	(1924. 12. 經論) VI	197 221
國際營業ノ課税(再)	(1926. 3. 經論) VII	129 155

### 第三 資本利子税

資本利子税設定ノ氣運	(1916. 7. 經論) I	254 281
資本利子税ノ缺點	(1926. 6. 經論) VII	246 269
資本利子税ト地方附加税	(1926. 7. 經論) VII	270 290

### 第四 家 屋 税

地方家屋税ノ當否(再)	(1926. 8. 經論) VII	291 314
-------------	-------------------	------------

(7)

家屋税ノ本質

(1926. 12. 經論) VIII 119  
136

## 第五部 交通 税

### 第一 一 般

交通税ノ捕捉スヘキ給付能力	(1922. 8. 經論) IV	124 154
交通税ノ本質	(1922. 9. 經論) IV	155 179
交通税ノ長短	(1922. 11. 經論) IV	180 199
交通税及消費税ニ於ケル重複課税(再)	(1926. 5. 經論) VII	180 201

### 第二 相 續 税

相續税批評ノ重點	(1918. 7. 8. 經論) I	283 309
相續税ト財産課税	(1918. 9. 經論) I	309 323
相續税ノ課税方法	(1918. 11. 經論) I	328 351
相續税ニ於ケル特殊累進	(1922. 12. 經論) IV	200 216
相續税ノ經濟政策觀	(1923. 5. 經論) V	185 206
相續税ノ能力原則上ノ弱點	(1925. 2. 經論) VI	247 277

### 第三 軍 事 税

國防税ノ本質	(1916. 8. 經論) I	351 368
國防税ノ當否	(1916. 9. 經論) I	368 405
戰時利得税ノ永續性	(1919. 1. 2. 經論) I	405 426

### 第四 印紙税及廣告税

印紙税廢止論	(1927. 2. 經論) VIII	163 185
--------	--------------------	------------



(8)

廣告稅論

(1927. 3. 經論) VIII 186  
212

## 第六部 消費稅

### 第一 一般

消費稅カ生産者ニ及ホス影響ノ社會政策的考察	(1920. 2. 經論) II	131 153
消費稅ニ於ケル累進課稅	(1920. 3. 經論) II	154 167
賣上稅ノ本質及長所	(1923. 6. 經論) V	230 255
賣上稅ノ缺點	(1923. 7. 經論) V	256 277
交通稅及消費稅ニ於ケル重複課稅(再)	(1926. 5. 經論) VII	180 201
消費稅ニ於ケル砂糖稅ノ地位	(1926. 9. 經論) VIII	235 256

### 第二 使用稅及奢侈稅

奢侈稅ノ辯難	(1917. 5. 經論) I	427 450
奢侈稅ノ本質及其構造	(1917. 6. 經論) I	451 466
住居稅ト公平負擔	(1919. 7. 經論) II	183 202
住居稅ノ本質及其構造	(1919. 8. 經論) II	203 224
住居稅ノ利害ト高級住居稅ノ提案	(1919. 9. 經論) II	225 243
遊興稅	(1919. 10. 國雜) III	353 364
綜合的奢侈稅ノ批評	(1923. 8. 經論) V	207 229
娛樂稅ノ重要	(1924. 8. 經論) VI	310 332
娛樂稅ノ構成	(1924. 11. 經論) VI	333 356
奢侈課稅トシテノ關稅	(1924. 9. 經論) VI	278 309
俱樂部稅論	(1927. 4. 經論) VIII	257 274

(9)

## 第三 酒稅及專賣

酒稅ノ矛盾及不徹底	(1918. 1. 經論) I	466 487
酒ノ政府專賣ト公益	(1920. 4. 經論) II	168 182
監專賣ノ不當及其改造	(1918. 2. 經論) I	488 510
消費稅ノ理想トシテノ專賣	(1926. 11. 經論) VIII	213 234

## 第七部 地方稅

### 第一 一般

地方稅問題	(1927. 6. 大朝) VIII	295 312
雜種稅ノ分析及其整理	(1916. 4. 經論) I	533 561

### 第二 地方人稅

戶數割及戶別割	(1916. 2. 經論) I	511 532
地方稅トシテノ所得稅ノ重要	(1921. 2. 經論) III	289 312
地方所得稅ニ於ケル他地方交渉ノ問題	(1921. 3. 經論) III	313 329
地方所得稅ニ於ケル特別稅對附加稅	(1921. 4. 經論) III	330 352
不在者課稅論(再)	(1926. 10. 經論) VIII	96 118

### 第三 地方物稅

地方稅トシテノ地租ノ課稅標準	(1920. 11. 經論) III	215 246
地租ト地方團體トノ關係	(1920. 12. 經論) III	247 266
地租ニ於ケル特別稅對附加稅	(1921. 1. 經論) III	267 288
間地稅ノ觀察點	(1921. 9. 經論) V	278 293



(10)

資本利子税ト地方附加税	(1926. 7. 經論) VII	270
		290
地方家屋税ノ當否	(1926. 8. 經論) VII	291
		314

## 第八部 特殊の課徴物

### 第一 特別課徴

特別課徴ノ本質	(1919. 10. 經論) II	244
		267
特別課徴ノ課額ノ決定	(1919. 11. 經論) II	278
		282
特別課徴ノ利害並ニ其當否	(1919. 12. 經論) II	283
		298

### 第二 準 税

手数料決定上ノ二問題	(1920. 1. 經論) II	299
		316
公益團體ト課税(後段)	(1927. 7. 經論) VIII	66
		71

## 第九部 租税制度

本邦國税制度要綱	(大正 12 年 初) IV	217
		310
本邦地方税制度要綱	(大正 12 年 初) IV	311
		336
其後ノ租税改正	(大正12年3.4月公布) V	294
		301
其後ノ租税改正	(大正 14 年 7 月) VI	357
		358
改税後ノ本邦國及地方税體系	(大正 15 年 3 月) VII	315
		339
其後ノ國税改正	(昭和 2 年 3 月 31) VIII	275
		278
現行地方税制度	(昭和 2 年 7 月 現行) VIII	279
		294

(11)

## 著者及著書索引

- (1) 本書引用ノ著書、論文、其他ノ刊行物ヲ著者(著者、刊行者不明ナルトキハ、書名又ハ論文題目)ノ Alphabet 順ニ排列ス。
- (2) 同一著者ノ著書、論文ハ、必ズシモ出版年次ニ依ラズ、本書引用ノ順ニ排列ス。
- (3) 例之、  
Seligman (Edwin Robert Anderson) 1861-  
Essays in Taxation (1895) 8ed. 1915 10ed. 1925.  
ハ著者ノ full name 及生(歿)年次、著書第一版出版年次及本書引用ノ各版出版年次ヲ示ス。

Ackermann (Friedrich) 1866-

Thüringer Gemeindesteuern. 1912.

I	526,	II	211, 215,
III	306,	VIII	100, 117,

Adams (Henry Carter) 1851-

The Science of Finance. An investigation of public expenditures and public revenues. N. Y., 1899.

I 5, 7, 8, 10, 12, 86, 126, 132, 151, 156, 198, 243, 247, 286,



(12)

- 311, 347, 349, 506, 509,  
II 7, 16, 22, 86, 249, 253, 294,  
III 31, 57, 86, 92, 131, 138, 142, 143, 145, 146, 147, 164, 166, 182,  
186, 231,  
IV 14, 58, 63, 82, 86,  
V 218, 286,  
VII 32, 41, 214, 256,

Adams (Thomas S.)

The income and excess-profits taxes (Financial mobilization for war 1917)

- I 419,

Adickes-Falk

Das Kommunal-abgabengesetz (1894) 6 Aufl. 1922

- VII 140, 144, 149,

Altrock (Walther von) 1873-

Gedanken über die Reichserbschaftssteuer vom Standpunkt des ländlichen Grundbesitzes. Berl., 1908.

- I 344,

Americus

Municipal taxation in the United States (The Local Government Review. Vol. III No. 15, 1911.)

- I 552, 553,

Antoni (Georg) 1862-

(13)

Die Steuersubjekte im zusammenhalte mit der Durchführung der Allgemeinheit der Besteuerung nach den im Deutschland geltenden Staatssteuergesetzen, (Finanz Archiv. 5 Jg II. 1888.)

- I 89, 100, 103, 109, 121,  
IV 30, 31, 33, 40, 47, 82, 88, 90, 102, 107, 108, 110, 112, 116,  
117,  
V 5, 10, 13, 15, 18, 19,

Arnold (Sydney)

A capital levy. The problems of realisation and valuation (Economic Journal. June, 1918)

- II 58, 59, 85, 86, 87, 89, 92, 122, 126, 127, 129,

Asch (Bruno)

Gemeindefinanzen und Steuern in Preussen. 1924.

- VII 140, 144, 149, 150, 282, 310,

Auerbach

Die Luxusumsatzsteuer, ein neuer Weg für die Verbrauchsbesteuerung (Zeitschrift f. g. Stw. 76 Jg. 1 & 2 Hft)

- V 209, 210, 211, 212, 215, 220, 222, 232, 238, 242, 276, 286, 287,

Auerswald (Arno)

Beiträge zur Lehre von der einzigen Steuer. 1922

- VII 305, 307, 309,  
VIII 76,



(14)

**Avebury (John Lubbock)**

Staat und Stadt als Betriebsunternehmer. Berlin, 1909.

I 18, 19, 24, 30, 35, 42, 43, 46, 47, 48, 52, 56,

**Bamberger (Georg)**

Kriegsgewinn- und Kriegserbschaftssteuer. 1916.

I 407, 409, 415, 417,

**Bancroft (Hugh) 1879-**

Inheritance taxes for investors. 1917.

I 333, 337, 343, 350,

**Bastable (Charles Francis) 1855-**

Public finance (1893). 3ed. 1903.

I 2, 3, 6, 10, 11, 13, 27, 31, 36, 50, 52, 54, 56, 60,  
64, 73, 80, 81, 84, 94, 99, 102, 146, 148, 156, 158, 164, 190,  
193, 195, 203, 222, 232, 235, 237, 240, 241, 245, 251, 257, 270, 277,  
278, 302, 308, 311, 314, 326, 327, 333, 337, 341, 347, 348, 349, 353,  
367, 437, 439, 441, 443, 444, 446, 447, 464, 467, 470, 471, 472, 473,  
480, 481, 491, 496,

II 4, 10, 16, 22, 34, 49, 62, 75, 82, 84, 86, 91, 145, 173,  
186, 187, 199, 214, 216, 233, 235, 246, 248, 257, 258, 259, 260, 261,  
263, 264, 274, 286, 294, 296, 303, 304, 314,

III 8, 9, 26, 27, 28, 31, 40, 49, 52, 57, 60, 61, 68, 127,  
132, 139, 147, 152, 153, 161, 162, 166, 167, 186, 189, 192, 194, 198,  
217, 218, 220, 225, 232, 242, 244, 250, 256, 258, 265, 273, 275, 283,  
292, 300, 308, 332, 338,

IV 13, 15, 18, 20, 42, 49, 60, 63, 69, 77, 127, 139, 156, 165,

(15)

168, 191, 192, 194, 195, 203, 207,

V 67, 68, 69, 70, 71, 79, 97, 99, 110, 111, 112, 115, 130, 136,  
143, 144, 151, 152, 188, 194, 209, 221, 224,

VI 12, 18, 51, 53, 55, 56, 62, 142, 143, 182, 183, 185, 189, 199,  
204, 219, 225, 227, 230, 232, 241, 251, 256, 270, 272, 274, 286, 288,  
290, 292, 293, 304, 305, 307, 332,

VII 46, 47, 97, 100, 103, 118, 119, 176, 205, 231, 258, 263, 266, 267,  
284, 285, 295, 297,

VIII 7, 19, 239, 240, 250, 258, 264, 268,

**Baum (Philipp)**

Ueber die Wirkung der Reform des bayrischen Gewerbesteuergesetzes vom  
Jahre 1899. 1904.

VI 207, 208, 220, 225, 226, 237, 240,

VIII 147, 148, 149, 151,

**Bayerisches Gewerbesteuergesetz (Finanz Archiv. XXIX)**

I 224,

**Bechtolsheim (Ernst v.)**

Ein Reichsgetreidemonopol. Münch., 1918.

VIII 220, 226, 231,

**Becker (Enno) 1869-**

Die Reichsabgabenordnung (2. Aufl. 1922.) 4. Aufl.

VII 158, 190,

**Becker (Ministerialrat. Darmstadt)**



(16)

Kommunalbesteuerung im Grossherzogtum Hessen (Schriften des Vereins für Sozialpolitik, Gemeindefinanzen I. 1908.)

III 223, 233, 235, 243, 316, 347,  
VII 273, 274,

Bela Földes

Finanzwissenschaft I Aufl. 1920

V 65, 67, 68, 72, 93, 104, 105, 107, 112, 116, 126, 128, 129, 141,  
151, 152, 154, 161, 165, 169, 174, 175, 179, 180, 182, 187, 209, 210,  
275,  
VI 3, 11, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 65, 66, 87, 89, 92, 93,  
95, 103, 107, 108, 129, 134, 137, 138, 145, 161, 178, 179, 182, 183,  
184, 185, 193, 195, 204, 205, 207, 208, 219, 220, 221, 226, 227, 228,  
236, 245, 267, 271, 275, 288, 326, 353, 354,  
VII 2, 4, 6, 12, 13, 17, 20, 23, 25, 36, 46, 47, 48, 49,  
50, 86, 93, 215, 239, 249, 250, 251, 254, 256, 258, 259, 261, 263,  
266, 296, 299, 311,  
VIII 5, 12, 20, 34, 66, 75, 76, 77, 78, 80, 81, 82, 83, 84,  
86, 87, 88, 89, 91, 111, 120, 122, 124, 126, 129, 130, 131, 132,  
133, 151, 152, 161, 168, 174, 175, 179, 181, 183, 210, 218, 222, 226,  
229, 230, 234, 262,

Beman (Lamar Taney)

Selected articles on current problems in taxation N. Y., 1921.

V 231, 232, 234, 235, 236, 237, 238, 239, 241, 242, 243, 245, 246, 247,  
249, 250, 253, 254, 257, 258, 260, 261, 262, 263, 264, 265, 268, 269,  
270, 271, 272, 273, 274, 275,

Bergius (Carl Julius) 1804-1871.

(17)

Grundsätze der Finanzwissenschaft, mit besonder Beziehung auf den Preussischen Staat. 1865.

I 13, 21, 43, 49, 54, 56, 163, 195, 196, 211, 257, 276, 326, 327,  
348, 429, 438, 442, 477, 491, 492, 497,  
II 138, 191, 193, 194, 199, 214, 251,  
III 48, 68, 107, 119, 127, 133, 158, 161, 317,  
IV 140, 192, 196,  
V 209, 228, 251, 264, 272,  
VIII 53, 56,

Berner (Arthur)

Das Wesen der Steuern insbesondere der indirekten. 1905

I 429,  
IV 140, 141, 142, 143, 146, 152, 158, 159, 176, 182, 190, 192, 197, 198,  
V 219, 255, 260, 272,

Besson (Emmanuel)

Traité pratique des impôts cédulaires et de l'impôt général sur la revenu, au courant de la législation la plus récente, avec barèmes pour le calcul des droits et des réductions. Paris, 1922.

VII 42, 118, 124, 167,  
VIII 87,

Biersack (Heinrich Ludwig)

Ueber Besteuerung, ihre Grundsätze und ihre Ausführung. 1850

I 159, 194, 216, 240, 276, 471, 484, 489, 492, 497,  
II 134, 176,  
III 40, 69, 70, 71, 225, 240, 242, 244, 265,



(18)

V 209, 217, 225,

**Bilinski (Leon Ritter von) 1846-**

Die Luxussteuer als Korrektiv der Einkommensteuer. 1875

Die Gemeindebesteuerung und deren Reform. 1878

- I 428, 429, 430, 437, 438, 439, 440, 442, 443, 444, 448, 449, 453, 454,  
456, 458, 465, 551, 553, 556, 559,  
II 249, 251, 253, 266, 267, 271, 275,  
III 218, 245, 258, 269, 271, 272, 276, 281, 282, 284, 285, 286, 298, 300,  
301, 302, 305, 308, 316, 332, 347,  
IV 133,  
VI 284, 286, 290, 293, 304,  
VII 273, 275, 295,  
VIII 100, 115, 121, 122, 258, 260, 263,

**Birnbaum (Bruno)**

Die Gemeindlichen Steuersysteme in Deutschland, Berl., 1914

Die Selbständigen Gemeindesteuersysteme in Deutschland, Berl., 1914.

- I 120, 514, 525, 554, 555, 556, 558, 560,  
II 201, 213, 215, 216, 217, 218, 219, 222, 246, 248, 254, 264, 265, 273,  
275, 276, 288, 291, 292, 305, 307, 310, 313, 314 315,  
III 218, 223, 227, 228, 229, 230, 235, 239, 240, 242, 245, 246, 254, 265,  
266, 270, 272, 275, 276, 279, 283, 287, 292, 316, 322, 323, 327, 351,  
352,  
IV 99, 102,  
VI 316, 317, 324, 326, 328, 336, 346, 354,  
VII 140, 144, 149, 272, 273, 274, 275, 278, 279, 289, 290, 302, 309,

**Bischof (A.)**

(19)

Katechismen der Finanzwissenschaft 4Aufl. Lpz., 1885.

I 545,

**Bissegger (Ernst)**

Die Erbschaftssteuer und ihre Bedeutung für Volkswirtschaft und Sozialpolitik. 1923.

VIII 63,

**Blakey**

The new income tax. (The American review. 1914.)

I 78,

**Blumenstein (Ernst) 1876-**

Schweizerisches Steuerechts. 1926,

VIII 61, 63, 91, 94,

**Blunden (G. H.)**

Local taxation and finance (1894) 2 ed. London.

III 303, 312,

**Bocquet (Lucien)**

L'impôt général sur le revenu. Paris, 1916.

La réforme des impositions locales. Paris, 1921.

I 421,

VI 150,

VIII 151, 153, 154,



(20)

**Böckh (August)**

Die Staatshaushaltung der Athener. II. 1817

I 76, 190,

**Bodenheimer (Constant)**

Zur Frage einer eidgenössigen Steuer auf Tabak und Branntwein. 1878

II 137, 138, 141, 142, 173,

**Boethke und Arlt**

Handbuch des Steuerrechts. 1926.

VIII 62, 91, 188, 192,

**Boivin**

Contributions directes etc. 1897.

VII 60,

**Boldt**

Das Interesse als Grundlage der Gemeindebesteuerung (Gemeindefinanzen II, I)

III 223, 233, 234, 238, 255, 260, 279, 292, 294, 295, 297,

VII 278, 281, 285, 286,

**Borgh (Richard, van der) 1861-**

Finanzwissenschaft (1902) 5 Aufl.

1. Allgemeine Abteilung

2. Besondere Abteilung (Steuerlehre) 1920

(21)

I 2, 6, 10, 15, 21, 27, 36, 80, 84, 109, 117, 133, 151, 190,  
193, 194, 217, 241, 303, 316, 332, 343, 348, 477,  
II 8, 27, 37, 51, 60, 75, 110, 134, 135, 166, 167, 174, 179, 249,  
253, 257, 261, 264, 265, 266, 272, 273, 293, 303, 304, 313,  
III 8, 27, 57, 58, 65, 70, 74, 86, 98, 99, 126, 127, 172, 186,  
231, 237, 250, 254, 255, 261, 266, 275, 297,  
IV 17, 40, 41, 69, 76, 147, 152, 156, 159, 177, 203, 207  
V 67, 111, 218, 225, 252, 253, 260,  
VI 8, 10, 11, 13, 128,  
VII 247, 249, 251, 252, 258, 264, 267, 269, 284,  
VIII 4, 5, 128, 129, 131,

**Borstorff**

Die Wehrsteuer, in Zeitschrift für die gesammte Staatswiss., 42 Bd.

I 357, 358, 360, 366, 390, 391, 395,

**Boucard (Max), et Jèze (Gaston)**

Cours élémentaire de science des finances et de la législation financière française. 1904

I 66,

**Briefs (Goetz) 1889-**

Untersuchungen zur klassischen Nationalökonomie. Mit besonderer Berücksichtigung des Problems der Durchschnittsprofitrate. Jena, 1915.

V 114,

**Brown (Harry Gunnison) 1880-**

The Economics of taxation. N. Y., 1924



(22)

VII 258, 260, 263, 264,

Brüning (Helmuth von)

Vorschläge zur Reform der Einkommenbesteuerung in Preussen 1907

I 114, 116, 117, 118, 120, 122, 144, 162, 174,

VI 107, 108, 113,

VIII 76, 89,

Buchan (John.) 1875-

The law relating to the taxation of foreign income. Lond., 1905

VII 92, 93, 97, 110, 126,

VIII 112,

Bücher (Karl) 1847-

Gewerbe (Conrad, Hwb. 3 Aufl. IV)

I 215,

Buck (Ludwig)

Die Besteuerung der Kriegsgewinne (Finanz Archiv. XXXIII Jg. 1916)

I 407, 409, 414, 415, 418, 422,

Cadoux (Gaston)

Les finances de la ville de Paris de 1798 a 1900 Paris, 1900

I 559,

Cannan (Edwin) 1861-

(23)

The history of local rates in England London, 1896.

I 554,

Clabaugh (William)

Income and profits taxes. N. Y., 1920.

VI 75, 83, 84, 86, 90, 93,

Cohn (Gustav.) 1840-1919

System der Finanzwissenschaft. 1889

Die Steuerreform im Kanton Zürich und der Bundeshaushalt der Schweiz,  
in Finanz Archiv. I. Jg. I Hft.

Grundlegung der Nationalökonomie. 1885.

Volkswirtschaftliche Aufsätze. 1882.

I 8, 27, 81, 83, 99, 101, 106, 140, 156, 192, 194, 248, 254, 303,  
308, 311, 316, 321, 348, 354, 367, 376, 436, 475, 476, 485,

II 8, 18, 28, 41, 49, 61, 66, 74, 92, 134, 145, 258, 260, 293,  
310,

III 8, 14, 23, 48, 142, 148, 186, 297, 303,

IV 56, 57, 69, 71, 134, 146, 148, 150, 164, 169, 173, 175,

V 10, 23, 48, 217, 251,

Colson (C.)

Cours d'économie politique, Professe a l'école nationale des ponts et  
chaussées. Paris, 1901-1903. Livre 5.

I 526, 527, 548,

Combat (F. J.)



(24)

L'impôt sur les bénéfices de guerre. Paris, 1916.

La taxe sur le chiffre d'affaires et la taxe de luxe. Paris, 1921.

I 407, 409,

V 240, 246, 247, 253, 274, 276,

VIII 168, 177, 185,

#### Commons

A Progressive tax on bare land value (Political Science quarterly, March, 1922)

IV 3, 8, 14, 21,

V 288,

#### Conrad (Johannes E.) 1839-1915

Grundriss der Finanzwissenschaft (1899) 2Aufl. 1900. 9Aufl. 1923.

I 5, 7, 40, 45, 50, 53, 55, 84, 87, 97, 104, 114, 116, 117, 131, 158, 162, 163, 165, 169, 177, 193, 195, 202, 215, 216, 238, 241, 242, 243, 258, 268, 269, 314, 315, 321, 341, 343, 347, 446, 453, 464, 467, 470, 477, 479, 481, 492, 493, 494, 496, 497, 502, 503, 504, 505, 506, 507, 547,

II 10, 48, 65, 75, 110, 119, 132, 134, 135, 138, 144, 145, 173, 176, 188, 190, 192, 193, 195, 206, 217, 221, 224, 302, 314,

III 8, 57, 65, 70, 73, 74, 79, 86, 87, 89, 98, 132, 148, 152, 153, 155, 159, 164, 165, 171, 172, 186, 255, 265, 266, 292, 295, 297, 308,

IV 101, 108, 140, 153, 154, 165, 170, 178, 182, 183, 185, 186, 189, 197, 203,

V 4, 5, 21, 65, 77, 94, 98, 104, 108, 125, 126, 141, 142, 144, 164, 169, 172, 175, 177, 183, 184, 210, 251, 252, 261, 271, 272, 273, 287,

(25)

VI 8, 13, 18, 58, 59, 60, 82, 83, 92, 93, 106, 108, 115, 116, 135, 165, 166, 167, 170, 171, 179, 183, 185, 187, 195, 207, 208, 214, 216, 226, 227, 229, 237, 238, 239, 250, 256, 264, 286, 301, 305, 306, 328, 346, 352, 353, 354, 356,

VII 32, 36, 46, 48, 49, 74, 84, 87, 106, 183, 203, 206, 239, 247, 252, 255, 264, 295, 303, 306, 310, 313,

VIII 6, 7, 15, 17, 58, 69, 75, 76, 80, 81, 82, 122, 124, 129, 147, 148, 168, 169, 171, 173, 174, 179, 188, 193, 194, 197, 198, 203, 204, 206, 207, 209, 210, 217, 220, 225, 227, 229, 231, 238, 240, 242, 248, 258, 264,

#### Cossa (Tuigi) 1831-1896

Grundriss der Finanzwissenschaft. 1882. (Elementi di scienza delle finanze 三版 Ehberg 譯)

I 7, 35, 36, 39, 151, 162, 164, 165, 194, 215, 221, 235, 237, 239, 242, 303, 308, 322, 326, 332, 442, 490, 492, 495, 496, 501, 503, 504, 505,

II 8, 28, 38, 41, 48, 49, 60, 98, 147, 186, 188, 191, 192, 199, 211, 216, 217, 233, 303, 310, 314,

III 8, 17, 24, 27, 70, 71, 98, 145, 149, 153, 199, 256, 265, 334, 343,

IV 69, 76, 129, 135, 146, 156, 159, 176, 185, 187, 195, 198, 203, 207,

V 23, 194, 197, 217, 218, 228, 249, 260,

#### Creanga (G. D.)

Die Finanzen Rumäniens. (Finanz Archiv XXIX 1912.)

I 476,

#### Crobaugh



(26)

International comity in taxation (Journal of Political Economy. April, 1923)

VII 100, 127, 128, 131, 137, 141, 169, 185, 196, 197,

Cunow (Heinrich) 1862-

Praktische Steuerpolitik oder Steuerdogmatik? Berl., 1916

VIII 220, 221, 222, 227,

Dalton (Hugh)

Principles of public finance. Lond., 1923. (楠井隆三氏邦譯アリ)

V 65, 66, 68, 69, 95, 97, 104, 126, 134, 142, 164, 169, 173, 174,  
179, 183,

VI 8, 10, 226,

VIII 220, 225, 229,

Dawson (William Harbutt) 1860-

Municipal life and government in Germany. London, 1914.

I 529, 530, 551, 553, 554, 555, 559, 560,

II 185, 211, 213, 216, 218, 219, 222,

III 228, 243,

Department of Commerce and Labor

Municipal Taxation in European Countries.

I 548, 552, 553, 554, 555,

II 211, 213, 214, 217, 218, 219, 220, 222, 223,

Desbats (A. Gabriel)

(27)

Le budget municipal. Paris, 1895.

I 559,

Dewitz (Otto von)

Erbzuwachssteuer als Besitzsteuer. Berl., 1912.

I 330,

V 206,

Dierschke (Josef)

Progressive Besteuerung des Grossbetriebes bei einigen Verbrauchssteuern.  
1903

II 133, 135, 136, 137, 138, 140, 141, 142, 147, 150, 152,

Dietzel (Heinrich) 1857-

Englische und preussische Steuerveranlagung. Münch., 1919.

V 26, 29, 37, 40, 42, 43, 49,

VI 56, 65, 138, 143,

Döhling (Ernst)

Vergleich der bestehenden Wehrsteuern. Würzburg, 1909.

I 366, 378, 392,

Döpner (Erich)

Geschichte der württembergischen Kommunalsteuerreform, 1903. Stuttg.,  
1907.

I 551, 554, 556, 558, 560,



(28)

Dühring (Eugen)

Kritische Geschichte der Nationalökonomie und des Sozialismus. 4 Aufl. Lpz., 1900.

V 114,

Dunn (Samuel Orace) 1877-

Government ownership of railways (1913) N. Y., 1915.

I 3, 9, 22, 24, 26, 41,

Durand (Edward Dana) 1871-

Taxation versus bond issues for financing the war (Financial mobilization for war, 1917)

The finances of New York City. N. Y., 1898.

I 423, 552, 558,

Eheberg (Karl Theodor von) 1855-

Finanzwissenschaft. 9 Aufl. 1908. 18 und 19 Aufl. 1922, (大竹虎雄氏邦譯アリ)

Gewerbsteuer (Conrad, Hwb. d. Stw. 3 Aufl. IV)

Wehrsteuer (Conrad, Hwb. 3 Aufl. VIII)

Art. Steuern (Conrad Hwb. 2 Aufl. VI)

Steuer (Conrad, Hwb. 3 Aufl. VII.)

I 7, 8, 18, 19, 24, 25, 27, 28, 45, 72, 73, 109, 132, 148, 169, 170, 180, 191, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217, 230, 235, 236, 238, 240, 241, 242, 244, 257, 258, 261, 262, 269, 270, 276, 278, 280, 293, 302, 303, 315, 316, 317, 319, 321, 326, 332, 333, 337, 343, 344, 348, 354, 358, 361, 365, 378, 384, 388, 390, 393, 394, 396, 397, 401,

(29)

413, 441, 444, 445, 446, 447, 452, 453, 467, 470, 479, 480, 484, 485, 487, 489, 490, 495, 496, 497, 503, 506, 507, 539, 544, 545, 547,

II 4, 8, 13, 17, 18, 23, 25, 49, 60, 62, 65, 75, 110, 134, 135, 166, 174, 177, 182, 185, 186, 188, 192, 193, 195, 205, 210, 213, 216, 217, 219, 220, 222, 223, 226, 233, 246, 250, 254, 257, 259, 261, 264, 266, 272, 273, 307, 311, 312,

III 7, 8, 14, 17, 26, 27, 28, 32, 36, 42, 48, 52, 58, 74, 79, 86, 89, 98, 99, 126, 130, 131, 133, 142, 152, 153, 157, 175, 176, 186, 199, 217, 221, 225, 231, 237, 242, 243, 254, 255, 256, 265, 266, 270, 275, 276, 277, 279, 280, 281, 283, 285, 295, 297, 298, 340, 352,

IV 13, 20, 29, 41, 76, 77, 79, 96, 107, 114, 131, 140, 142, 146, 148, 153, 154, 156, 158, 159, 162, 164, 166, 169, 170, 171, 174, 175, 182, 183, 185, 188, 189, 192, 195, 196, 197, 198, 203, 213,

V 4, 15, 32, 37, 47, 49, 52, 63, 65, 67, 72, 73, 104, 105, 107, 111, 115, 129, 150, 152, 153, 154, 156, 163, 164, 175, 188, 189, 194, 210, 214, 225, 247, 251, 252, 260, 261, 271,

VI 8, 11, 13, 18, 52, 58, 60, 65, 66, 86, 107, 108, 114, 115, 116, 117, 119, 120, 141, 144, 150, 152, 153, 167, 169, 170, 179, 180, 182, 183, 185, 186, 189, 190, 193, 195, 200, 207, 209, 216, 218, 219, 220, 224, 227, 228, 232, 234, 235, 239, 242, 251, 256, 270, 287, 288, 292, 304, 305, 321, 342, 346, 350, 353, 356,

VII 4, 5, 8, 17, 18, 21, 23, 25, 36, 37, 46, 47, 48, 50, 75, 76, 83, 84, 87, 90, 95, 118, 127, 138, 158, 249, 250, 251, 252, 254, 258, 259, 263, 266, 267, 268, 276, 289, 296, 302, 307,

VIII 5, 6, 8, 12, 13, 19, 61, 73, 76, 78, 82, 83, 88, 89, 120, 121, 126, 128, 129, 130, 131, 132, 134, 147, 151, 152, 160, 168, 169, 174, 179, 183, 193, 194, 197, 199, 202, 217, 218, 219, 225, 227, 229, 230, 231, 236, 238, 240, 242, 243, 244, 245, 249, 251, 259, 262,

Ehrler (Jos.)

Die Gemeindebesteuerung im Grossherzogtum Baden (Schriften des Vereins



(30)

für Sozialpolitik, Gemeindefinanzen I, 1909)

II 246, 257, 263, 266, 267, 273, 286, 288, 293, 303,

Eichelmann (*Direktor des Statistischen Amtes  
der Stadt Strassburg*)

System der Gemeindebesteuerung in Elsass-Lothringen. (Gemeindefinanzen I  
1908)

III 269,

Eisenhart (Hugo) 1811-1893

Die Kunst der Besteuerung. Berlin, 1868.

I 112, 114, 131, 151, 159, 191, 195, 203, 216, 221, 250, 429, 435, 449,  
465, 480,

II 186, 188, 191, 194, 199, 210, 212, 216, 217,

III 132, 138, 155, 156, 161, 171, 186,

IV 47, 53, 129, 132, 134, 172, 193,

V 253,

Elkan (Georg)

Die Preussische Zeitungssteuer. Jena, 1922.

VIII 188, 189, 198, 199, 209, 211, 212,

Elsas-Lothringensches Gesetz betreffend d. Gewerbesteuer (Finanz Archiv.  
XIV)

I 235,

Eras (Wolfgang)

Das Branntweinmonopol. 1886.

(31)

II 176, 177,

VIII 229, 230, 234,

Erler (Friedrich) 1883-

Die Vergnügungssteuer. Berlin, 1921.

VI 315, 316, 317, 318, 349, 352, 353,

Fabian Research Department

A revolution in the income tax.

I 152, 153, 159, 161,

VIII 76, 87, 88, 92,

Favareille

Un impôt sur les dépenses somptuaires. Revue politique et parlementaire.  
(10. Février, 1917)

I 460,

Fersch (Hans)

Die Wehrsteuer. (Finanz Archiv. 28Bd, 1911)

I 354, 355, 357, 358, 359, 360, 361, 373, 378, 380, 392, 397, 400,

Fillebrown

The A B C of taxation. 1916.

V 172, 193,



(32)

Fischer (Julius)

Das Steuerwesen des Deutschen Reiches. Stuttg., 1924.

- VI 164,
- VII 9, 19, 21, 22, 205, 223,
- VIII 173, 181,

Fischer

Der Krieg und das sozialistische Werden (Annalen für soziale Politik und Gesetzgebung IV Bd. 1 & 2 Hft)

- I 1,

Fitz (Hermann)

Die Weinsteuern vom Standpunkte der Gerechtigkeit. 1908.

- I 467, 480, 485, 487,
- II 164,

Föhrenbach (Otto)

Finanzpolitik der Besitzlosen und Steuermoral. 1919

- V 31, 37, 42, 47, 53,
- VII 239, 243,

Friedberg (Robert) 1851-

Die Besteuerung der Gemeinden, Berl., 1877.

- I 551, 560,
- III 297, 307, 311,
- IV 87, 117,

(33)

VII 284, 285,

Fry

The local taxes.

- I 527,

Fuisting (Bernhard)

Grundzüge der Steuerlehre. Berl., 1902.

- I 80, 94, 109, 111, 115, 119, 126, 127, 128, 144, 149, 150, 151, 162, 170, 177, 179, 180, 190, 193, 194, 197, 201, 204, 214, 215, 221, 224, 225, 226, 227, 231, 235, 241, 243, 250, 254, 293, 294, 295, 314, 317, 319, 340, 343, 346, 348, 427, 441, 465,
- II 8, 16, 26, 31, 48, 50, 66, 82, 84, 185, 190, 209, 210, 213, 222,
- III 3, 9, 17, 24, 27, 48, 57, 58, 69, 73, 86, 98, 99, 133, 138, 149, 152, 156, 158, 163, 184, 198, 200, 209, 254, 265, 270, 273,
- IV 40, 44, 48, 53, 55, 59, 60, 70, 132, 134, 156, 162, 174,
- V 64, 65, 104, 116, 152, 154,
- VI 9, 34, 65, 85, 86, 87, 89, 91, 97, 133, 153, 187, 194, 196, 207, 217, 218, 225, 227, 228,
- VII 2, 36, 47, 48, 50, 209, 215, 222, 233, 243, 284, 295, 313,
- VIII 5, 6, 19, 20, 58, 69, 121, 123, 129, 147, 148, 160,

福田德三氏

社會政策と階級闘争 (1922)

- IV 56,

Garnier (Joseph)



(34)

Traité d'économie politique géd. Paris, 1889.

I 544,

Garr (Max)

Die Ineratensteuer, 1909.

VIII 187, 189, 194, 197, 199, 200, 202, 203, 204, 205, 209, 210, 211, 212,

Gärtner (F. W.)

Ueber die Einkommensbegriff (Finanz Archiv. XV Bd. 1898.)

I 126, 127, 128, 138,

Gauthier (A. -E.)

La réforme fiscale par l'impôt sur le revenu. Paris, 1908.

I 89,

Gebhard (W.)

Die Heranziehung der Spekulationsgewinne zur Einkommensteuer. 1904

I 144, 414, 416,

George

Increased efficiency &c. (Public Administration and Partisan Politics, The Annals of the American Academy of Politic. and Soc. Science, Vol, LXIV March, 1916)

I 37

Gerloff (Wilhelm) 1880-

(35)

Steuerwirtschaft und Sozialismus. Lpz., 1922.

VIII 14, 22, 28, 29, 35, 43, 184,

Getz (Paul)

Das Branntweinmonopol als Besteuerungsform, 1897.

II 135, 18, 171, 173,

VIII 223, 229, 233,

Ginsberg (Edgar)

Die deutsche Branntweinbesteuerung. 1903.

II 135,

Gneist (Rudolf)

Die preussische Finanzreform durch Regulierung der Gemeindesteuern. Berl., 1881.

I 536,

Goebel (Robert)

Die Erbschaftssteuer. Wien, 1906

I 332, 337,

Goldscheid

Finanzwissenschaft und Soziologie (Weltwirtschaftliches Archiv. 9 Bd. 3 Hft)

IV 56,

Görres (Karl)



(36)

Bestimmungen über die Vergnügungssteuer. Baden, 1922.

VI 315, 317, 318, 342, 345, 349, 352,

Gothein (Georg)

Reichsbergbaumonopol ? 1916.

VIII 222, 226, 229, 233,

Grabein (Max)

Beiträge zur Geschichte der Lehre von der Steuerprogression (Finanz Archiv

XII Jg. 2 Bd; XIII Jg. 1 Bd, 1895-6)

III 124, 128, 132, 146, 148,

Grabower (Rolf)

Die Geschichte der Umsatzsteuer und ihre gegenwärtige Gestaltung im In-  
land und im Ausland. Berl., 1925.

VIII 168, 173, 174,

Graf (Franz)

Das Problem der Luxussteuern. Berl., 1905

I 434, 447, 448, 449, 454, 458,

II 186, 187, 192, 193, 194, 195, 217, 218, 219, 224, 230, 239, 242,

VI 286, 287, 288, 290, 291, 292, 294, 304, 305, 338,

VIII 258, 259, 260, 261, 263, 266, 269, 273,

Graham (J. C.)

(37)

Taxation (local and imperial) and local government. 3ed. Lond., 1899. (4ed.  
1906)

III 312,

Grice (J. Watson)

National and local finance. London, 1910.

I 527, 554,

II 248,

Grotefend (G. A.)

Grundsätze des Kommunalsteuerwesens. 1874.

III 323, 351,

VII 158,

VIII 116,

Gruntzel (Josef) 1866-

Grundriss der Finanzwissenschaft (1920) 2 Aufl. 1922.

III 40,

IV 31, 33, 41, 49, 54, 56, 60, 70, 71, 77, 82, 90, 121, 165,  
169, 201, 206, 207,

V 4, 23, 66, 69, 72, 77, 78, 94, 98, 99, 104, 105, 107, 126,  
129, 132, 134, 142, 143, 145, 175, 176, 182, 183, 184,

VI 9, 10, 34, 66, 119, 167, 170, 179, 180, 184, 185, 187, 199, 204,  
208, 219, 220, 221, 226, 229, 230, 235, 245, 248, 252, 256, 269,

VII 2, 4, 7, 46, 48, 50, 204, 205, 215,

VIII 217, 223, 224, 225, 227, 229, 232, 234,

Gully (H. J.)



(38)

Income tax up to date, including an explanation of the excess profits duty and embodying budget resolutions for the current income tax year (1918-19)

- I 408, 425,
- VI 115, 139, 146,
- VII 21,

Guyot (Yves)

Where and why public ownership has failed. (transl. by H. F. Baker, N. Y. 1914.)

L'impôt sur le revenu. Paris, 1887.

- I 3, 9, 12, 13, 18, 19, 22, 24, 31, 32, 35, 37, 39, 40, 41, 51, 92, 131, 151, 158,

Haristoy (Just)

L'impôt sur le revenu. Paris, 1910.

Finances d'après-guerre et conscription des fortunes, Paris, 1918,

- I 130, 177, 527,
- II 8, 26, 28, 56, 71, 104, 105, 111, 112, 113, 114, 116,
- III 198,
- VI 60, 66, 106,

Harilng (Otto v.)

Eine Wehrsteuer für Deutschland. Berl., 1910.

- I 357, 369, 378, 381, 392, 405,

Hartmann (Richard)

Das Reichselektrizitätsmonopol, Berl., 1917.

(39)

VIII 220, 222, 223, 225,

Hass (A. Lucien) et Monteux (Benjamin)

Les impôts en France. Par., 1921 2éd.

VIII 255,

Hauff (Albert)

Beiträge zur Wehrsteuer, Berl., 1905.

- I 354, 358, 363, 378, 381, 382, 383, 385, 386, 388, 390, 392, 395, 401, 402.

Haussmann (Fritz)

Die neue Steuerreform und ihre Bedeutung für die Wirtschaft. Berl., 1925,

VIII 168, 173,

Heckel (Max von) 1865-1913.

Lehrbuch der Finanzwissenschaft. Leipzig, 1907. (II Bd. 1911.)

Wehrgeld, Wehrsteuer, im Elster Wb. d. Vw. 2 Aufl. II Bd.

Salz und Salzsteuer (Conrad's Hwb. 3 Aufl. VII)

Steuer, im Elster Wb. 2 Aufl. II

Branntweinsteuer (Conrad's Hwb. 3 Aufl. III)

Mietsteuer (Conrad, Hwb. 3 Aufl. I)

Gebühren (Conrad. Hwb. 3 Aufl. IV)

Betrachtungen über das Princip der Steuer (Finanz Archiv. 25 Jg. II Bd.)

Zur Lehre von den Verkehrsteuern (Finanz Archiv 7 Jg. 2 Bd.)

Die Einkommensteuer und die Schuldzinsen. Lpz., 1890.

- I 7, 15, 24, 26, 36, 66, 70, 72, 73, 78, 83, 85, 87, 91, 93, 110, 111, 116, 120, 122, 125, 128, 140, 148, 149, 151, 153, 156,



- 162, 168, 169, 170, 181, 193, 199, 200, 202, 203, 205, 210, 211, 212,  
214, 216, 217, 231, 237, 241, 242, 258, 259, 260, 262, 268, 278, 279,  
280, 286, 293, 314, 321, 332, 337, 347, 354, 357, 358, 360, 361, 364,  
365, 377, 378, 383, 390, 396, 397, 432, 433, 437, 441, 444, 445, 446,  
448, 452, 453, 455, 466, 467, 470, 476, 480, 481, 484, 485, 487, 489,  
490, 491, 492, 497, 503, 506, 544, 547,
- II 7, 8, 26, 28, 29, 48, 60, 62, 64, 75, 92, 147, 150, 157,  
162, 164, 166, 174, 177, 178, 179, 185, 187, 188, 192, 193, 194, 199,  
201, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217,  
218, 219, 222, 223, 224, 226, 233, 235, 239, 246, 250, 259, 265, 272,  
311, 313, 315,
- III 3, 4, 8, 9, 13, 14, 17, 23, 24, 27, 32, 54, 57, 65,  
69, 70, 71, 74, 79, 86, 127, 155, 158, 159, 163, 175, 184, 189,  
199, 217, 227, 232, 243, 255, 256, 266,
- IV 6, 8, 13, 14, 15, 28, 30, 31, 33, 34, 69, 76, 80, 92,  
107, 127, 129, 130, 132, 134, 139, 140, 144, 146, 148, 150, 152, 153,  
158, 160, 167, 169, 171, 172, 174, 175, 177, 182, 186, 201, 203, 207,  
213,
- V 4, 6, 30, 47, 67, 68, 93, 97, 105, 115, 126, 132, 151, 152,  
154, 156, 157, 158, 163, 174, 175, 176, 182, 188, 189, 192, 210, 233,  
241, 262,
- VI 8, 9, 10, 11, 13, 18, 54, 58, 59, 60, 77, 86, 91, 93,  
106, 119, 178, 179, 180, 183, 184, 185, 186, 187, 188, 193, 195, 200,  
207, 208, 209, 216, 217, 218, 224, 225, 226, 227, 228, 234, 237, 241,  
250, 256, 264, 284, 285, 286, 287, 288, 289, 290, 293, 296, 299, 300,
- VII 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 83, 84,  
89, 97, 169, 247, 249, 251, 264, 266,
- VIII 5, 11, 17, 19, 53, 61, 69, 121, 122, 123, 188, 189, 194, 258,  
260, 262, 264,

Hedemann (Justus Wilhelm) 1878—

Gedanken über Gerechtigkeit (Archiv f. Rechts- und wirtschaftsphilosophie  
X Bd. 2 Hft)

IV 69, 70,

Heinrich (Hugo)

Die Erbschaft und ihre Besteuerung. Bonn, 1911.

I 338,

Helferich (Johann Alfons Renatus von) 1817-1892

Ueber die Einführung einer Kapitalsteuer in Baden. (Zeitschrift für die-  
gesamte Staatswissenschaft. 24 Bd. 1846.)

Allgemeine Steuerlehre. im Schönberg Hb. 2 Aufl. III.

I 256, 261, 268, 276, 277, 545,

II 65,

Helft (Ernst)

Beiträge zur Frage der technischen Ausgestaltung der deutschen Einkommen-  
besteuerung. München. 1907.

I 92, 115, 143, 152,

VI 34, 44, 65, 66, 107,

111, 113, 114,

VII 2, 16, 20, 21, 23, 36, 38, 41,

Helpenstein (Franz)

Stellung und Wesen der Gewerbesteuer, 1926.

VIII 157, 158, 160,



(42)

Hennebique

Taxe militaire, en Say, Dictionnaire des finances. 1889.

I 353, 355, 358, 383,

Hensel (Albert) 1895-

Steuerrecht. Berl, 1924.

VI 36, 38, 41, 43, 44, 45,

VII 4, 5, 7, 8, 10, 23, 205, 207,

Herbst (Carl)

Billiger Zucker und Hebung des Verbrauchs durch Herabsetzung und Differenzierung der Zuckersteuer. Lpz., 1907.

VIII 240, 247, 253,

Herfurth (L.)

Das preussische Kommunalsteuer-Notgesetz vom 27. Juli 1885. (Finanz Archiv. III Jg. 1886)

IV 73, 103,

Hermann (Friedrich Benedikt Wilhelm von) 1795-1868

Das Besitzsteuerproblem in Deutschland und in Frankreich in seiner heutigen Lösung. 2 Aufl., 1870.

Staatwirtschaftliche Untersuchungen 1 Aufl. 1832.

I 72, 129, 264,

II 9,

Higgs (Henry) 1864-

(43)

A Primer of National Finance. London, 1919.

IV 17,

V 214, 223, 224, 251, 260, 276, 277,

VII 61, 67, 70,

Hirschfeld (Erwin)

Die Warenumsatzsteuer. 3 Aufl., 1916.

VIII 179, 181, 184,

Hobson (John Atkinson) 1858-

Taxation in the new state. London, 1919.

IV 4,

V 67, 174, 222, 226, 273,

VI 9, 13,

VII 35,

VIII 29, 173, 176, 178, 183, 184,

Hock (Karl von)

Die öffentlichen Abgaben und Schulden, Stuttgart, 1863.

I 159, 195, 240, 242, 446, 457, 505,

II 65, 147, 166,

III 128, 153, 221, 224, 227, 231, 232, 233, 237, 242, 244, 265,

IV 30, 52, 58, 62, 150, 164,

V 30, 31, 49, 52, 57, 64, 67, 77, 78, 94, 104, 105, 106, 107, 108, 126, 129, 139, 142, 143, 144, 145, 169, 174, 175, 176, 179, 180, 181, 183, 270,

VI 4, 8, 9, 10, 11, 12,

VII 61, 70,



(44)

Hoffmann (Alexander) 1879-

Der Gerechtigkeitsgedanke in der Reichseinkommensteuer (Zeitschrift für Sozialwissenschaft Neue Folge. XII Jg. 1 & 2 Hft März, 1921)

IV 1,

Hoffmann (Johann Gottfried) 1765-1847

Die Lehre von den Steuern, als Anleitung zu gründlichen Urteilen über das Steuerwesen, mit besonderer Beziehung auf den preussischen Staat, Berl., 1840.

I 193, 194, 211, 303, 429, 438, 441, 444, 446, 447, 477, 480, 493, 496, 497, 500, 503,

II 135, 137, 141, 176, 193, 195, 214, 224, 232, 233, 236, 237, 239,

III 193,

IV 5, 6, 22, 139,

V 209, 208,

Hoffmann (*Mitglieder der Staatwirtschaftlichen  
Facultät in Tübingen*)

Die verschiedenen Methoden der rationellen Gewerbebesteuerung (Zeitschrift f. d. g. Staatw. 1850)

Die Zulässigkeit einer landwirtschaftlichen Gewerbebesteuerung neben der Grundsteuer (Zeitschrift f. g. Stw. 1854.)

I 212, 213, 214, 215, 222, 223,

Hog (Hermann) und Arens (Richard)

Die preussische Gewerbebesteuerung. 3 Aufl. Berl., 1926

VIII 138,

(45)

Holmes (George E.)

Federal income tax (1918.) 6 ed. 1925.

I 408, 421, 425,

VI 84, 89, 90, 91, 93, 94, 96, 114,

VII 19, 43, 125, 168,

VIII 53, 61, 63, 82,

Hommelsheim (Robert)

Die Erbschaftsabgabe. Wesen, Begründung, Kritik und Geschichte der Erbschaftsabgabe. 1909.

I 287, 289, 290, 292, 293, 302, 304, 309, 310, 311, 315, 316, 317, 318, 321, 332, 333,

V 199,

VI 256, 260, 264, 268, 269, 270, 274, 275,

VII 185, 186, 214, 232, 240, 241,

本多精一氏

地方財政問題(1911)

I 512, 525, 549,

Hook (A.)

A tax on capital and redemption of debt (Economic Journal, June, 1918)

II 57, 58, 59, 61, 70, 86, 92, 98, 99, 106, 110, 111,

Hunke (Ernst)

Die Entwicklung von Einkommensteuer und Einkommen in England. (1904)

I 169,



(46)

Inheritance tax laws (61st Congress. 1st Session. Doc. N. 114)

I 321, 342,

Instruction du Ministère des Finances du 5 avril 1916 relatif à l'application de l'impôt général sur le revenu, en Revue de science et de législation financière. Tome XIV. No. 2.

I 78,

Jastrow (J.) 1856-

Finanzen (1921) 2 Aufl. 1922.

V 48,

Jensen (Jens P.)

Problems of Public Finance. N. Y., 1924.

VI 26, 34, 44, 45, 52, 55, 56, 70, 106, 108, 114, 141, 150, 155, 163, 167, 169, 170, 225, 226, 229, 230, 233, 240, 248, 256, 260, 267, 269, 277,

VII 6, 7, 10, 12, 17, 25, 26, 35, 61, 69, 118, 126, 131, 143, 169, 170, 171, 205, 217, 221, 222, 231, 244,

VIII 5, 12, 17, 53, 56, 59, 61, 98, 106, 116, 117, 147, 151, 153, 158, 168, 173, 174, 184, 229, 230, 233, 236, 253,

Jèze (Gaston)

Les finance de guerre de l'Italie. Paris, 1916.

(47)

I 403,

Jones (Robert)

The nature and first principle of taxation. London, 1914.

I 61,

II 60,

IV 4, 17, 47, 69,

VI 53, 55, 58,

VII 53, 63,

VIII 20, 29,

Jordan-Mallinckrodt (Hans) u. Haussmann (Fritz)

Wiederaufbau u. Steuerpolitik. Berlin, 1921.

VI 36,

Journal des économistes 76 Année Tome IV

I 409,

Juliusberger (Fritz)

Steuerstrafrecht. Gemeinverständliche Abhandlung über aktuelle Steuerfragen, insbesondere die Steuerhinterziehung. Berlin, 1919.

V 48,

Kahn (Otto Hermann) 1867-

Some suggestions on tax revision. 1920



(48)

V 23, 34, 44,

Kaizl (Josef)

Finanzwissenschaft. Wien, 1900-I.

Die ehre von der Ueberwälzung der Steuern. Lpz., 1882.

I 7, 19, 21, 27, 32, 35, 45, 109, 429, 545,

III 48, 62, 74, 89, 98, 116,

IV 33, 41, 80, 86, 88, 91, 152, 164, 175,

V 70, 94, 107, 112, 113,

Kambe (Masao) (著者) 1877-

Die Entwicklung d. jap. Steuerwesens von Altertum b. z. Gegenwart  
(Finanz Archiv. XXIII Bd. 1906)

經濟論集 (1912)

租稅通論 (1912)

財政經濟及社會問題叢書第一冊財政問題 (1920)

土地增價稅論 (1912)

時事經濟問題 (月刊)

財政學要論 (1925)

累進稅論 (譯、Seligman の項參照)

穀物關稅論 (1909)

租稅研究 (各卷)

I 191,

III 126, 180, 253, 267,

IV 51,

V 25, 155, 290, 291, 234,

VI 91,

VII 29, 73, 152,

VIII 2, 20, 165, 166, 168, 186, 188, 195, 196, 197, 198, 203, 204, 243,  
252,

(49)

Kato (Haruhiko)

Die Wohnungs- und Luxussteuern.

II 185, 195, 197, 201, 206, 218, 228, 233, 235,

VI 288, 315, 317, 321, 326, 331, 347, 354,

VIII 258, 259, 263, 268,

Kaufmann (Richard von) 1850-1908

Die Kommunal финанzen. Grossbritannien, Frankreich, Preussen. Leipzig 1906.

I 550, 551, 553, 558, 559,

IV 92, 102,

V 7,

VI 317,

VII 284, 311,

Kelly

Customs tariffs of the world 1925. Lond., 1925

VIII 255,

Kennan (Kossuth Kent)

Income taxation, methods and results in various countries 1910.

I 78, 116, 120, 121, 130, 131, 162, 169, 170, 185,

III 198, 199,

VI 65, 108,

VIII 75, 87, 89, 93,

Keussler (Johannes von)

Die Staatswohnungssteuer in Russland (Finanz Archiv. XI 1894)



(50)

II 318.

Kleinwächter (Friedrich, von) 1838-

Zwei steuertheoretische Fragen (Finanz Archiv 3. Jahrg., Bd. 2.)  
Lehrbuch der Finanzwissenschaft. Lpz., 1922.

- I 194, 195, 196, 201, 259, 277,  
VI 62, 73, 87, 89, 92, 93, 96, 98, 100, 119, 120, 121, 124, 133,  
135, 141, 181, 184, 208, 219, 220, 225, 226, 227, 228, 232, 236, 250,  
256, 261, 262, 290, 291, 294, 303, 315, 344, 356,  
VII 3, 12, 17, 18, 25, 32, 41, 46, 47, 48, 49, 50, 60, 61,  
62, 66, 83, 91, 92, 204, 207, 210, 217, 221, 249, 259, 260, 268,  
269, 296,  
VIII 17, 61, 62, 75, 78, 83, 85, 104, 111, 122, 123, 128, 129, 131,  
132, 151, 152, 160, 161, 168, 181, 194, 202, 210, 223, 227, 236, 240,  
243, 247, 249, 250,

Klose (Walther)

Die Finanzpolitik der preussischen Grossstädte. Berlin, 1907.

- I 548, 551, 554, 555, 558, 559, 560,

小林丑三郎氏

地方財政學 (1912)

- I 512, 523, 525, 544, 549, 553,

Koenig (Gustav)

Die Meldung bei der Veranlagung der persönlichen Steuern (Finanz  
Archiv. II 1885)

(51)

I 72, 73, 279,

Köppe (Hans) 1861-

Die Reichssteuerreform von 1913. (Finanz Archiv. XXXI Jg. 1914)  
Finanzwissenschaft. 1919

- I 414, 416,  
VI 134, 135, 137,  
VII 18, 206, 284, 285,  
VIII 193, 194, 239, 245, 262, 264,

Konstam (Edwin Max) 1870-

The law of income tax (1921) 3 ed. (Including the act of 1925) London, 1926.

- VIII 61,

Kössler (Hans)

Kapitalrentensteuergesetz vom 14 August 1910 sowie Einführungsgesetz 1911.

- I 258,

Kutzer (Th.)

Die öffentlich-rechtlichen Einnahmen der Gemeinden in Bayern (Schriften  
des Vereins für Sozialpolitik, Gemeindefinanzen I 1908)

- II 248, 299, 305, 310,

協調會

俸給生活者職工生計調查報書 (1925)

- VI 137,



(52)

Labussière (Félix)

Des droits d'octroi. Exemptions résultant pour les chemins de fer et les tramways de leur caractère d'intérêt général. Paris, 1907.

I 560,

Landry (Ad.) et Nogaro (B.)

La crise des finances publiques en France, en Angleterre, en Allemagne. Paris, 1914.

I 414,

Landsberg (O.)

Die Entwicklung des Gemeindeabgabenwesens in den preussischen Städten (Verein für Sozialpolitik, Gemeindefinanzen I. Bd. 1)

I 120, 526, 529,

II 245, 253, 273, 275, 291, 292, 305, 310,

III 349, 352,

VII 289,

Langdon (Adolph Max)

The excess profits duty, the excess mineral rights duty. 1916

I 408, 413,

Lange (M. E.)

Local taxation in London. 1906.

I 552, 554, 555,

Lauterbach (Eugen)

(53)

Staats- und Kommunalbesteuerung in Deutschland, England, den Vereinigten Staaten von Nordamerika u. den englischen Kolonien. Berl., 1906.

III 334, 440, 345, 346,

Lawrence (F. W. Pethick) 1871-

A levy on capital. Lond., 1918.

II 55, 56, 59, 72, 74, 75, 91, 93, 94, 99, 101, 102, 104, 108, 110, 111, 116, 119, 121, 122, 124, 127, 128, 130,

Lechtape (Heinrich)

Die Frage der Steuergerechtigkeit. 1920.

VIII 11,

Lehr (Julius) 1845-1895 (1894?)

Kapitalisierungssteuer, Zinsrentensteuer und Doppelbesteuerung. (Zeitschrift für die gesammte Staatswissenschaft 33. Bd. 1877)

I 256, 269,

Leisigang

Das Wehrgeld oder die Ausgleichsbelastung der nicht dienenden Wehrpflichtigen. (Jahrbuch f. Nationalökonomie u. Statistik 32Bd. 1879.)

I 354, 357, 359, 360, 364, 382,

Léon Say (Jean Baptiste) 1826-1896

Les solutions démocratiques de la question des impôts. (1886)

Nouveau dictionnaire d'économie politique 2<sup>ed</sup>.



(54)

VII 67,  
VIII 258, 262,

Leroy-Beaulieu (Paul) 1843-1916

Traité de la science des finances (1877) 5éd.

I 8, 10, 13, 16, 18, 19, 21, 24, 73, 92, 100, 104, 126, 152,  
158, 162, 190, 195, 203, 213, 229, 231, 232, 241, 257, 277, 289, 293,  
299, 346, 442, 446, 467, 476, 489, 490, 491, 493, 496, 497, 499, 500,  
503, 525,  
II 5, 52, 65, 114, 134, 158, 173, 185, 186, 187, 191, 193, 194, 196,  
199, 201, 212, 217, 218, 219, 224, 226, 233, 235,  
III 7, 8, 13, 24, 26, 28, 32, 38, 42, 71, 79, 128, 132, 148,  
152, 153, 155, 161, 166, 167, 170, 175, 178, 184, 198, 199, 220, 237,  
238, 242, 263, 269, 275, 280, 299,  
IV 18, 40, 49, 76, 130, 146, 159, 182, 183, 185, 187, 198,  
V 64, 69, 71, 79, 93, 106, 194, 221, 270, 275,  
VI 9, 12, 56, 62, 132, 133, 136, 144, 151, 152, 153, 155, 158, 161,  
179, 181, 182, 188, 189, 193, 207, 220, 223, 229, 235, 256, 286, 288,  
289, 291, 292, 294, 295, 305,  
VII 49, 61, 62, 214, 248, 259, 261, 267,  
VIII 17, 147, 151, 154, 238, 239, 240, 242, 248, 258, 260, 268, 269, 271,  
272, 273,

Lewin (David)

Das Branntweinmonopol in Russland. 1908

II 176, 177, 179,  
VIII 218, 227, 229,

Lindahl (Erik)

(55)

Die Gerechtigkeit der Besteuerung. Eine Analyse der Steuerprinzipien auf  
Grundlage der Grenznutzentheorie. 1919.

VI 29, 34, 36, 82, 83, 86, 87, 89, 92, 93, 95, 98, 100, 108,  
113, 114,  
VII 60,

Linhoff (Albrecht)

Indirekte Steuern oder nicht? 1875.

I 438,  
V 209, 224, 252, 270, 273, 276, 277,

Linz (Ernst)

Grundriss der Einkommens- und Vermögenssteuern nach dem Stand vom  
August 1922. 2 Aufl. 1922.

VI 74, 115,  
VII 50,

Lippert (Gustav) 1864-

Das Alkoholmonopol. Eine Darstellung u. Besprechung des Alglaveschen  
Projektes, des österreichischen u. deutschen Entwurfes sowie der Schwei-  
zer u. russischen Gesetzgebung. Wien. 1904.

II 166, 174, 176, 177, 178, 179, 182,  
VIII 217, 218, 219, 225, 226, 227, 232,

Lissner (Julius)

Die Zukunft der Verbrauchssteuern in Deutschland. Stuttg., 1914

I 435, 474,



(56)

V 211,  
VIII 239, 240,

Lohmann (Walther)

Die besondere direkten Gemeindesteuern in Preussen. 1913.

I 525, 526,  
III 279, 351,  
VIII 121, 147, 149, 153, 157,

Lotz (Walther) 1865-

Finanzwissenschaft. Tübingen, 1917.

III 14, 15, 24, 32, 36, 39, 53, 54, 55, 199, 200, 207, 255, 266,  
269, 279, 286, 309, 311, 327, 328, 351,  
IV 6, 7, 13, 28, 33, 34, 56, 76, 85, 86, 121, 122, 125, 148,  
154, 164, 176, 192, 203,  
V 4, 5, 9, 13, 17, 71, 78, 93, 105, 116, 130, 133, 134, 142,  
143, 151, 156, 159, 175, 177, 179, 183, 192, 197, 224, 249, 264,  
VI 9, 10, 12, 13, 65, 66, 67, 82, 83, 86, 87, 92, 107, 116,  
119, 124, 164, 165, 166, 167, 170, 171, 173, 183, 184, 185, 193, 204,  
208, 219, 228, 260, 268, 270, 272, 286, 288, 289, 293, 298, 299, 300,  
305,  
VII 3, 4, 7, 12, 21, 36, 46, 50, 59, 66, 67, 70, 75, 78,  
83, 84, 87, 90, 91, 92, 97, 111, 127, 138, 158, 180, 197, 208,  
218, 231, 249, 251, 252, 254, 255, 260, 261, 265, 266, 278, 285, 294,  
295, 296, 297, 299, 300, 310, 311,  
VIII 5, 6, 11, 15, 19, 34, 86, 89, 91, 99, 115, 122, 123, 135,  
175, 217, 219, 220, 225, 229, 230, 232, 260, 262,

Lücker (Heinrich)

(57)

Die Entwicklung und die Probleme des Gemeindeabgabenwesens in den  
Städten und grossen Landgemeinden der preussischen Industriebezirke  
(Verein für Sozialpolitik, Gemeindefinanzen II Bd. III Tl.) 1910.

I 530,  
II 266, 292,  
III 223, 309,

Lutz (Harley Leist) 1882-

Public finance. N. Y., 1924.

VII 74, 76, 85, 87, 92, 97, 190, 268,  
VIII 5, 17, 169, 234,

Mair (Erich)

Die Reform der Gemeindesteuern. 1924

VII 152, 282,

Mamroth (Karl)

Luxussteuern (Conrad's Hwb. 3 Aufl. VI)

I 434, 436, 442, 444, 445, 446, 452, 453, 456, 457, 459, 464,  
VIII 258, 259, 260, 261,

Mangoldt (Hans Karl Emil, von) 1824-1868

Volkswirtschaftslehre. Stuttg., 1868.

I 136,

滿鐵經濟資料 (大正十一年十一月)



(58)

IV 23,

Marcinowski (L.)

Die Wehrsteuer im Deutschen Reich, ihre geschichtliche Entwicklung, politische, finanzielle und wirtschaftliche Bedeutung. Berl., 1881.

I 355, 378, 381, 388, 390, 393, 397,

Marcuse (Paul)

Das neue Reichssteuerrecht. Kurzgefasste Gesamtdarstellung der neuen Reichssteuern. Berl., 1924.

VI 27, 36, 38, 41, 43, 44, 164,

VII 19, 20, 21, 23, 50,

Marsh (Benjamin C.) 1877-

Taxation of land values in American cities : the next step in exterminating poverty. N. Y., 1911.

II 195, 215, 216, 218, 229,

Matthiass (Bernhard)

Die römische Grundsteuer. 1882.

I 190,

Mayer (Otto)

Die direkten Gemeindesteuern in den grösseren badischen Städten u. ihre Reform in den Jahren 1906 u. 1910 im Vergleich mit dem preussischen Gemeindesteuer-system. 1913.

(59)

III 297, 316,

VII 273, 278, 287, 295, 302,

VIII 102, 115,

Mayr (Georg von) 1841-1925

Zur Theorie der indirekten Steuern. Stuttg., 1918

IV 163, 164, 172, 173, 174, 177, 194,

V 221, 247, 253,

VI 9, 290, 293, 294,

VIII 168, 177, 216, 224, 227, 234, 236, 239, 241, 244, 250,

明治財政史編纂會

明治財政史 第五卷(明治三十七年)

III 176,

Meisel (Franz) 1853-

Wo steht die deutsche Finanzwissenschaft? (Zeitschrift f. g. Stw. 74 Jg. 3Hft. 75. Jg. 1 & 2 Hft)

IV 56, 61, 69, 70,

Melczer (Karl)

Grundzüge der Finanzwissenschaft. 1923.

VI 58, 183, 264, 271,

VII 204,

Mellon (Andrew W.)

Tax tion : The people's business. London, 1924.